
最高の人形師と人形遣いの才を持つ者は世界を廻る（タイトルは仮です）

Sun

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

最高の人形師と人形遣いの才を持つ者は世界を廻る（タイトルは仮です）

【ISBN】

ISBN

【作者名】

SUN

【あらすじ】

主人公は天才的な人形師だった。ある日主人公は邪神に殺され、さまざまな能力（おもに人形系統の技術）をもらい世界を廻る。

主人公設定（転生前）（前書き）

見なくても問題がないです。

主人公設定（転生前）

【名前】

更櫻 さらつき
更紗 さらな

【容姿】

性別は男だが見た目は女で人形のようにならうに整った容姿でひとつ芸術のよう。

瞳は碧眼、髪は薄めの紫、髪型は基本アリス・マーガトロイドの髪型で多少髪を伸ばした感じ、

【能力（才能）】

- 1、 物作りA：物を創る才能。もしも魔術などがある世界に生ま
れていてその方面で才能を發揮すれば宝具クラスのものを作れた。
- 2、 改造の才能A：改造する才能。もしも魔術などがある世界に
生まれていてその方面で才能を發揮すれば物を改造し宝具クラスの
ものを作れた。
- 3、 人形師EX：人形を作る才能。たとえどの世界に生を受けて
もその世界で最高の人形師になれるほどの才能。またたとえ人形を
作るために必要なものの適正がない場合でも人形を作る場合は無視
できる。
- 4、 人形遣いEX：人形を遣う才能。たとえどの世界に生を受け
てもその世界で最高の人形遣いになれるほどの才能。またたとえ人
形を遣うために必要なものの適正がない場合でも人形を遣う場合は
無視できる。

【備考】

昔から何かを知ると作るのと壊すのがすきだった（壊すものに自分の作ったものだけは入らない）。

幼少からその容姿で人形みたいなこと言われ本人もその自覚があった。

10歳の時人形の展覧会を見に行きその時自分に似た人形を見て人形を作り始め13歳にはその筋では知らないものはいないと言わるほどになった。

人が苦手という訳ではないがあまり人と接するのは得意ではない。その容姿から男に襲われかけたことが多々あり男性は苦手でそのためか作る人形は殆ど女性。

プロローグ

「どうも突然ですがここは邪神の神殿です」

「…………本当にこきなりですね」

「まあそり言わずに」

私は気がついたときにはよくわからない美しい神殿にいた。
そして私の前には美しい褐色の肌の少女がいた。

「で、あなたは？」

「神やら邪神やら天使やら悪魔を光と闇に分けたら闇の絶対神、あるいは悪魔やら邪神の神と言つたといふですね」

「…………なぜ私はここに？」

「私が殺したからです」

「…………理由を聞いても？」

「だつてもつたいないんじゃないですか」

「もつたいないですか？」

「はい。あなたの入形師と人形遣いの才能はあらゆる世界でもトップの才能なのに貴方の世界には神秘も不思議も何もない。だから色々な世界をトリップや転生してもらおうと思いまして…………あと私の暇つぶしで」

後者が本命の気がしますね。

しかし私の趣味は人形作りと読書。読書は漫画なども含むのだからＳＳＳものも読む、そこから考えてこうこうのは考えてても無駄ですね。それに神秘とかは興味がありますし、

「分かりました」

「本当にですか！ ではテンプレのほしい能力を行ってください」

「本当にテンプレですね。いくつまでですか？」

「物で数が決まりますね。物によつては少なく、物によつては多い。言つてくれれば私の方でその後無理かどうか言います」

「そうですかでは、まず型月の蒼崎橙子の人形師としての技術、ネギまのエヴァンジエリンの人形に関する能力と技術、東方のアリス・マガトロイドの人形に関する能力と技術、ローゼンメイデンの人形師・ローゼンの技術、NARUTOのサソリの傀儡の技術、泣空ヒツギの死者蘇生学の泣空ヒツギの技術と能力？ まあ魂を見るやつなど、アスラクラインの機巧化人間を作るために技術、そらのおとしものの大ダイダロスの技術」

「ふむ、人形系ですね」

「次に王の財宝。ああ別にギルガメッシュの財宝は入つてなくていいです。ただ得た技術をふるうために必要なもの（人形の材料など）と資金に宝石などを少々入れておいてください。それと別空間にある屋敷を、あと人や物を解析し見えないものを見る魔眼」

「うーん、王の財宝はギルガメッシュの財宝がないからそこまでではないんで問題ないんですけど、ダイダロスの技術はきついですね。なにか減らすかダイダロスの技術を劣化させます」

「・・・・・では劣化させてください。というかそれだけなんですか？ 結構頼んだと思いますけど。」

「分かりました。まあ能力は普通なら無理なんですけどほとんどの人形系なんであなたの才能なら問題ないんですよ。だってその世界に行つて人形作りをすればその領域にたどりつくか越えられますからね。

「そうそう、おまけで各世界の魔術や魔法などの資質が行けば宿るようにしておきますね。だたし資質は宿るが相性はあるので最高ではその世界最高の才能ですけど最悪使えても使えないよりましクラス

になります。あと行つた世界で同行させたいものがいたらその人物の許可があれば同行出来るようにしておきます。

あと世界の旅は転生かトリップは私が決めますけど死んだらいつたんここに戻つて次の世界です。

それと「本人と寸分違わぬ人形」は貰つた能力も使用でき死んだ時点での能力などはすべて反映されて作った人形の身体に転生する形になります。なんであなたが死んでなくても他の世界に行きたくなつて私も同意したら他の世界に行きますので「本人と寸分違わぬ人形」で生きながらえていて飽きたら言つてください。こちらに呼びますから、

しかし死んだら戻るといつても寿命や病気、悪意のないあるいは悪意があつても貴方を対象とした事故等以外でつまり戦闘などで殺された場合はそのまま終わり、貴方は消えますのでお気をつけて、もちろん「本人と寸分違わぬ人形」があれば別なんで殆ど大丈夫でしょうけど、

それにそんなに死にたくないければ吸血鬼などになつてもらつてもかまいませんがその場合次がトリップならそのままですけど転生ならいつでも好きな時にその状態になれます（なつたら元が戻れる類のもの以外は戻れない）けど生まれた種族です

「分かりました」

「では、能力・・・・まああなたは殆ど技術ですけどを『与えます』

す

邪神が手をこちらに向けると身体が光に包まれた。すると頭に激痛が走つた。

「あ、ああああああああああ！」

「・・・・あなたのは大半が技術だつたんで脳に負担がかかります。あ、安心してください。脳の容量を無限にしておいたので問題ないです」

…………」「いつ絶対忘れてましたよ。

「はあ、はあ、

・・・・・・あとは忘れている」とはありますかね？」

「はいー。」

「はー、早く続きを始めてください。あ、私は人形を作らないと戦えないのに初めは原作とかのない平和な世界にしてください」「あ、そうですね。

はい。では」

また邪神が手をかざすと私の足元に穴があいた。

「あ」

あ？ あつて言いましたか？

「次お会いできる日を心待ちにしていますよ」

そう言い残し私は穴に落ちて行つた。

「・・・・・どうしよ。

あつ、死んだ時資質があつたのか直死の魔眼を宿してゐる。これを強化しておいてそれで許してもらおう。まあ脳の容量を無限に下から精神力とか関係なく死線と死点を見ても痛くもかゆくもないんだけど常に見えてても邪魔だしね。切り替えが出来るよ」とか少々強化しておこう。

それにもこの人才能豊富すぎませんか？ 人形以外にも適性を得たので行く世界によつてはかなりの才能を授かりますよ。てか極

端ですね。才能のあるものは極めることが出来るほどの才能、それ以外は中堅のもあるにはあるけど他は無いよりもまし程度なんて」

主人公設定（11月10日修正）

【名前】

更紗

【容姿】

性別は男だが見た目は女で人形のように整った容姿でひとつ芸術のよう。

瞳は紫眼、髪は薄い紫、髪型はアリス・マーガトロイドが髪を伸ばした感じ、

【生まれ持つての才能】

- 1、 物作りの才能A：物を作る才能。もしも魔術などがある世界に生まれていてその方面で才能を發揮すれば宝具クラスのものを作れた。
- 2、 改造の才能A：改造する才能。もしも魔術などがある世界に生まれていてその方面で才能を發揮すれば物を改造し宝具クラスのものを作れた。
- 3、 人形師EX：人形を作る才能。たとえどの世界でもその世界で最高の人形師になれるほどの才能。またたとえ人形を作るためには必要なものの適正がない場合でも人形を作る場合は無視できる。
- 4、 人形遣いEX：人形を遣う才能。たとえどの世界でもその世界で最高の人形遣いになれるほどの才能。またたとえ人形を遣うために必要なものの適正がない場合でも人形を遣う場合は無視できる。

【神からもらつたもの】

- 1、蒼崎橙子の人形師としての技術：神が微妙に強化した。強化内容は「本人と寸分違わぬ人」形で当然のこと神に貰つた能力も使用でき死んだ時点での能力などはすべて反映される。ぶつちやけ人形が活動すると言うより作つた人形の身体に転生するが正しい。
- 2、エヴァンジェリンの人形に関する技術、
- 3、アリス・マーガトロイドの人形に関する能力と技術、
- 4、人形師・ローゼンの技術、
- 5、サソリの傀儡の技術、
- 6、泣空ヒツギの技術と能力？
- 7、機巧化人間を作るために技術
- 8、ダイダロスの技術（劣化）：そらのおとしもののダイダロスの技術だがさすがに強力すぎ他のものをへらさなければならないので劣化させた状態でもらつた。
- 9、人形師の蔵：王の財宝に得た技術をふるうために必要なもの（人形の材料など）を入れた蔵。そのため人形の蔵と改名した（王の財宝はバビロニアの宝物庫とそれに繋がる鍵剣で持ち主の蔵と空間を繋げる能力を持つ。蔵も中身も所有者の財の量に準するため、何もない人が使つても何の意味がない。ギルガメッシュは生前自分の蔵に「宝具の原典」を含めた大量の財宝を収めており、王の財宝でそれらを空間を繋げて自在に取り出したり、射出することが出来る）。
- 10、人形師の屋敷：人形師の屋敷：屋敷の鍵を回すと扉が現れ入ることが出来る（出るまでに数秒かかるため回避には使えない）。また屋敷の鍵をどこかの鍵穴に入れ鍵を開け（鍵は鍵に合わせて変化する。またそれが電子キーでも問題ない）ドアを開けると屋敷につながる。なお更紗が認めない限りけして第三者は入れない。屋敷は膨大な広さを誇り人形を作る工房などもある。屋敷は神の作り出した空間にあるが更紗が入る前にいた場所に合わせて昼夜などが変わり夜は星空が輝く。ただ出口は入つたところの半径100メート

ル内のドアが事前に登録しておいたドア（登録限界は六つ）。ただし中のものは更紗の近くになら出せる（殆ど王の財宝が屋敷になつて特殊効果が増えただけ）。

11、解析眼：人や物を解析し、見えないものを見る魔眼。

12、適正：各世界での魔術や魔法などの資質が宿る。ただし資質は宿るが相性はあるので最高ではその世界最高の才能だが最悪使えても使えないよりましクラスになる。邪神がサービスでつけたもの。

13、同行：行つた世界であつた人物を他の世界にも同行させたい者が居れば相手が同意した場合同行させられる。ちまた不老になる

【能力（上記のもの以外や他の世界で会得したもの）】

1、直死の魔眼：死んだことにより目覚めた力のため正確には神に貰つたものではないがサービスで強化されている。

2、TYPE-MOONの魔術各種：蒼崎 青子と同じく破壊が得意（青子を天才とすると才能が多少ある程度だがこの比較だと普通の魔術師は無能）、また生来の才能から鍊金術なども得意、また投影も出来、宝具もできるが士郎と違い魔力供給をやめると普通に消失する上維持にもそれ相応の魔力が必要。ただし真名開放が可能。余談だが起源は「創造」「破壊」「探究」、青子と同じく燃費が良い（普通の魔術師の70倍ぐらい）。魔術回路はメイン97本サブがそれぞれ75本で魔力の回復も早い（一日で魔力容量の3分の2回復する）。ぶっちゃけ化け物もびつくりの魔力容量、

3、第三魔法「魂の物質化」「天の杯」（ヴァンズ・フィール）

4、念能力：HUNTER×HUNTERの世界の念能力、オーラ量は少なく才能はかなりないく本人いわく発以外使いものにならない。また発もかなり制約をかけている（制約をかなり掛けているがあくまでそれは第三者から見たらで更紗には苦にならない）。特質系、

人形と共に（念能力の発）：自身の五感を人形に宿すことが出来る。
制約：自身が作った人形でなければならない。五感を宿す人形とは
念能力以外でつながっていないとならない（例：糸）。人形と同じ
現象が疑似的に起きる（例・人形の腕が斬られると自身も腕を斬ら
れた感覚と痛みが襲う）。

はつきり言つて更紗が念能力以外で人形を操れるからこそその能力。
人形の医者鞄（念能力の発）：破損した人形を治す鞄を出す能力（
最大三つ）で鞄に入つた人形は破損状態に拘わらず10時間で治る
(10時間立たなければ出せない)。制約：自身が作った人形でば
ければならない。自身が治せる範囲でしか治せない。

【備考】

昔から何かを知ると作るのと壊すのがすきだった（壊すものに
自分の作ったものだけは入らない）。

幼少からその容姿で人形みたいなこと言われ本人もその自覚があ
つた。

10歳の時人形の展覧会を見に行きその時自分に似た人形を見て
人形を作り始め13歳にはその筋では知らないものはいないと言わ
るほどになった。

人が苦手という訳ではないがあまり人と接するのは得意ではない。
その容姿から男に襲われかけたことが多々あり男性は苦手でその
ためか作る人形は殆ど女性。

邪神からは生まれる世界を間違えた人間と呼ばれる。
邪神に殺されさまざまな世界を旅することになる。

邪神から能力をもらうが通常なら容量をオーバーするがほとんど
が人形系の技術だったので生まれ持つての才能もありほとんど要望
がかなつた。

邪神曰く、人形に関してはあらゆる世界でトップの才能を持つて
いる。

また得た技術は本来ならそれ相応の才能がなければ使えない代物だが生まれつきの才能が可能にしている。

ぶつちやけ元々の才能だけで時間をかけて特殊な人形のある世界を複数旅すればチートになった。

アトラスの鍊金術師と同じく「最強になる必要はない。最強であるものを作ればいいのだから」と考えている。

戦闘では基本的に自我のある人形、数字持ち（ナンバーズ）を後方支援したり、人形を操つたり、魔術などで遠距離で戦う。

直死の魔眼を持っているが接近戦が出来ないわけではないが得意ではないため接近戦あまりしない。したとしても基本人形を操り戦う。

ただし精神感応性金属（人の意思や思考に反応して形状を変える金属。泣空ヒツギの死者蘇生学で登場、泣空ヒツギの技術には必要不可欠の為人形師の蔵に入っていた）を遣い中距離から死線を斬ろうとしたりする。

糸の技術を使って戯言シリーズの曲弦糸の再現に成功している。起源は「創造」と「破壊」と「探究」と世にも珍しい三つの起源をもつ。

TYPE-MOON編 プロローグ（7月4日微変更）

どうも更紗です。

私が転生してこれで四つ目の世界ですがまだ全然飽きませんね。
ちなみに今いる世界は型月ことTYPE-MOONの世界です。
私はここでスワッティス家という魔術師の家に生まれた。

ちなみにフルネームはサラサ・スワッティスです。

この世界であつとことを話すとまずスワッティス家はかなりの名家
らしいのですが私が4歳のときに両親は死んでしました。

その後私は5歳になると家の管理を作り出した人形に任せ時計塔に行つたのですが私は両親も言っていたのですが才能がすさまじく人形作りをしていることから蒼崎 橙子の再来と呼ばされました。

そして8歳の時三原色の「黄」の称号を得ました。

それにも関わらず我ながらすさまじい才能ですね。前にHUNTER × HUNTERの世界に行つた時は殆ど才能がなかつたんですけど、邪神が言つた通り差がありますね。私はHUNTER × HUNTERの念よりもTYPE-MOONの魔術の方が適性があつたということでしょうね。

しかし10歳の時歴代最年少で封印制定に指定され逃亡する羽目になりました。

まあ12歳の時いい加減逃げたり隠れるのが面倒になり交渉し封印指定を解除されるなんんですけど最年少で封印指定をされたと名が知れ渡つてしましました。しかも「人形のお姫様」なんて呼ばれています。失礼な！ 私は男ですよ！

あ、交渉方法は大量の人形で時計塔を制圧してから対話の席に仕えてから交渉しました。そのおかげか私の払う代償は殆どなかつたんですよね。ちなみに今13歳です。

そうそう魔術師として歓喜したのは邪神からもらつた技術の中に魂に関するものがあつたのでその技術と人形を使い根元に至ろうとし魂の方から第三魔法『魂の物質化』『天の杯^{ヘンブ・ハイル}』に到達しました。

まあこのことを知つてるのは宝石の爺と青の魔法使いだけですけど、青の魔法使いはいつかぎやふんと言わせます。なぜならこの世界での貞操を奪われました。

・・・・・自分の作つた人形には押し倒されたり、魔法使いには襲われるわたしはどうすればいいのでしょうか？

ちなみに第一魔法はまだ使つてません。そのためまだ人間です。てか使うとスペアの身体である人形が不要になるんですよね。たぶん、

そうそうこの世界では原作介入するつもりですよ。前はあまりしませんでしたからね。

まあすでに介入したんですけど、

余談ですけど介入した内容は浅上藤乃です。

だつて能力を封じるとか馬鹿らしいじゃないですかなんで痛覚を戻して引き取りました。

ついでに第四次も少しだけ介入しました誰も気づきませんでしたけど、

さらに余談ですけど封印指定が解除されたのはスワッティス家が名家なのも理由らしい。

じゃあ最初つから指定するなつて話ですよね。

あれですか？子供だから舐められました？ついでにスワッティス家の秘術を知ろうとも思つちゃたんですかね？

そうそう前に行つた世界は初めが原作のない世界、この世界ではひたすら人形を作つてました。

次がローゼンメイデンの世界、この世界では殆ど傍観者でいたん

ですけど雪華結晶を見て私の人形に組み込もうと思い。作っていた人形の身体を与え私の仲間（更紗は自我、心のある人形は人形としても扱うがそれ以上としても扱う）にしました。その後は知りません一度接触しただけで他は人形作りでこもりました。

三つ目がまた原作のない世界、この世界は邪神曰く原作はあるらしいんですけど私は知りません。人形を作つてました

四つ目がHUNTER×HUNTERの世界、これは苦労しました。だつてスペアの身体を作れてるつて言つてもキメラアントに食われたくはないですからね。

なんで邪神と交渉してグリードアイランドでのスペルカードの離脱でHUNTER×HUNTERから離脱出来るようしてくれたんです。まあわたし以外にもHUNTER×HUNTERには大勢転生者がいたんですけどその転生者の皆さんはわたしみたいに邪神がとかではなく普通に気がついたらこの世界にてな感じみたいでしたね。その人たちはHUNTER×HUNTERの世界を楽しむ派とHUNTER×HUNTERの世界でせっかくの第一の人生なのだからHUNTER×HUNTERの世界とか関係なく生きる派と元の世界に帰る派で分かれましたね。まあ帰る派の人は滑稽ですよね。まず容姿が違い、戸籍もないのに帰つてどうすると？ 家族だつて信じてくれないでしょうし、最悪念の力なんて戻つたら使えなかつたとしても一度宿したんだから、という理由で実験動物にされかねないですよ。戸籍どころか生まれた形跡すら無い。存在しない人間を殺したつて罪にはならないでしょうし、まあ誰も信じないだろうからこれは無駄な心配ですね。

それに今この世界にきた身だから言えますけどスペルカードごときでは世界移動は無理です。ついでにその解に至つたら邪神が「正解」って言つてきましたから確実です。

まあHUNTER×HUNTERの世界の転生者さん達はみんな念の才能が豊富なのはうらやましかつたですね。わたしは念の才能ゴミでしたから、ふふふ、そちらの凡人の平均の半分程度下手した

ら半分以下なんて、

そうそうこれは一応原作介入しましたよ。

念の才能はゴミでもわたしには人形がありましたから蜘蛛の皆さんとクルタ滅ぼしたり（クルタ族の死体目当て）、原作主人公達のハンター試験に参加したり、天空競技場で金稼いだり（金は即宝石類に変えた）、クラピカから蜘蛛の人助けたり、グリードアイランド行つたりとそんな感じで介入しました。

とまあわたしのこの世界以前はこんな感じです。

・・・・・私あまり介入してないですね。

ですがこの世界では介入します。邪神が令呪をくれたんで聖杯戦争には介入します。

TYPE-MOON編 プロローグ（7月4日微変更）（後書き）

次から少々過去編です。まあ一話か一話なんですが、そのあと本編に戻らず過去HUNTER×HUNTER編に脱線するかもしれません。

アンケートです。

とある理由から主人公のサーヴァントは三体です。
决定してるのがセイバー（ネロ）、キャスター（玉藻）です。な
ので最後の一體を募集です。よろしくお願ひします。

人形設定（9月27日更新）（前書き）

増えれば更新します。
基本的には数字持ちだけです。

人形設定（9月27日更新）

タイプ　：純粹な人形で人などの生き物を一切使っていないタイプ
タイプ　：ほとんど人形だが一分人間（人型の生き物）の部分があるタイプ

タイプ　：戦闘ではなくほぼ完全に人形作りや家事などの補助の為作られ戦闘は自衛程度しか出来ないタイプ（どのタイプの作りでもものでもこれに当てはまるものはこのタイプになる）

タイプ　：人間（人型の生き物）の死体などを核とし改造したタイプ（人形というよりも改造死体、また数が一番少ない）

タイプ　：上記のものにとらわれていないタイプの人形のタイプ（例：獣の一分が使われている。人型ですらない。人と人形どちらも核でなく割合が等しい）。

タイプ　：更紗が操るために作られた一切の思考なども出来ず自動でも一切動けない（他のタイプは思考などなく常に自動で動けないものでも更紗が指示を出せばその通りに動く）普通の（作りなど色々普通ではないが）人形の中で更紗が戦うときに使う。人形よりも武器、兵器といった感じの人形（通称ウェポン・ドール、

・ドイツ数字を与えるたることは確固たる自我と心のある人形。それ以外は思考をすることが出来ても戦闘思考やきめられた役割をするための思考しかない。いうなら完成形の殆ど人間と変わらない自立人形（例外あり）。通称数字持ち（ナンバーズ）

・装備でなく特殊な能力を持つた人形を能力持ち（ホルダー・ドール）と言つ。

・上記のもの以外に作ったものの危険すぎるが故封印した口ストードールというのもある。

・数字持ちはそらのおとしもののエンジエロイドのように触ると柔らかいのに銃弾も効かない外装をしている（例外あり）。また傷も

エンジニアードのように自動で治る（例外あり）

・上記の数字持ちの例外はフィーラは死体で人形ではなく虚動封身だから（数字持ちだから自我と心はある）、

数字持ち設定

【タイプ、名前、ナンバー】

タイプ：

名前：イカロス
ナンバー：ヌール

【容姿】

そらのおとしものイカロス

【能力、主な装備】

- 1、そらのおとしものイカロスの絶対防御圈「イージス
アーテミス」：
そらのおとしもの物を完全に再現している。
- 2、永久追尾空対空弾「アルテミス
アーテミス」・そらのおとしもの物
を完全に再現している。
- 3、弓矢型最終兵器「アポロ
アポロ」・そらのおとしもの物を
完全に再現している。

【備考】

そらのおとしもの物を完全に再現している。再現してから自我、
心を与えたことと可変ティングの核の影響で普段はそらのおとしも

ののイカロスみたいなのが時折能力（可変ウイングの核も）を暴走させてしまうためイカロスの了承を取つて今は機能を停止させて保管されている。

またロスト・ドールもある。

【タイプ、名前、ナンバー】

タイプ：

名前：水銀燈

ナンバー：アイン

【容姿】

ローゼンメイデンの水銀燈そのものただし人間サイズ、
また翼は三対、普段は隠せる。

【能力、主な装備】

1、 黒い翼：黒い翼操る能力。羽を弾丸の様に飛ばして相手を切り裂いたり、ダーツの様に狙った場所を突いたり、羽を対象に纏わりつかせて動きを封じたり、翼で自分の身を覆い防御をしたり、翼を龍に変貌させたり、翼や羽を青い炎に変えて燃やしたり、羽を集めて剣を召喚したりするなど。また変貌した龍は口から閃光や炎を放てる。ローゼンメイデンの水銀燈のものよりも強化されている。

2、 ドレイン：第三者の魔力などを吸収する能力（攻撃を吸収できるようなものではない）。

3、 絶対防御圈「*aegis*」：そらのおとしもので出てくるイカロスの *aegis* ただしダイダロスの技術が劣化しているため改

良はしているが原作のものよりも劣化している。

4、パラダイス＝ソング：そらのおとしもので出てくる一ーンフのパラダイス＝ソングただしダイダロスの技術が劣化しているため改良はしているが原作のものよりも劣化している。

【備考】

能力持ち

ほとんどローゼンマイデンの水銀燈だが鞄で休むなどることは必要ない。

「のフィールドに関しては「のフィールド、あるいは類似したものがある世界では対応した力を得るがない世界では意味がない。ローゼンマイデンの水銀燈の経験を持つている。

更紗には主や作り手というより友人や恋人のように接する。

【タイプ、名前、ナンバー】

タイプ：

名前：リギル・ブランシェ

ナンバー：ツヴァイ

【容姿】

死想図書館のリギル・ブランシェのリギル・ブランシェ似

【能力、主な装備】

1、テレポート

- 2、 絶対防衛圈「 a e g o i s 」 改：そらのおとしもので出てくるイカロスの a e g o i s ただしダイダロスの技術が劣化しているため改良はしているが原作のものよりも劣化しているが他の a e g o i s よりは強力、
- 3、 そらのおとしものの電子戦装備：そらのおとしもので出てくる一ソーフなどに装備されている装備でハッキングやジャミングが出来る。ただしダイダロスの技術が劣化しているため改良はしているが原作のものよりも劣化している。

【備考】

更紗を人形作りなどでサポートするために作られた。

人形作り（補佐）、ハッキング能力、家事に優れている。

戦闘はタイプ： 中では高いが他と比べると平均より少々上程度で他の数字持ちは天と地ほどの差がある。

電子戦装備は劣化しているがそれでもかなりの装備なので戸籍がない場合は戸籍を作つたりする。

仕事の大半は更紗の人形作りの補佐。

明確な自我があるにもかかわらず基本無表情で表情が乏しい。

数字持ちは唯一、更紗の言うことに殆ど完全に従いそれに喜びを感じる（そういう風には作られていないのでそういう性格に勝手になった）。

【タイプ、名前、ナンバー】

タイプ：

名前：雪華綺薔薇

ナンバー・ドライ

【容姿】

顔は薔薇水晶と雪華綺晶と同じ、

瞳の色は金、髪は色は淡いピンクのようなクリーム色だが髪型は薔薇水晶と同じ、

右目に薔薇模様の眼帯をしている。

薔薇水晶と雪華綺晶とは違う人間サイズ、

髪飾りは紫水晶だが服は基本的にはその時々薔薇水晶と雪華綺晶のどちらか。

【能力、主な装備】

- 1、 読心と幻覚：相手の心の隙につけこみ、幻覚を見せる事で相手の心を拘束し、昏睡状態にする事が可能。
- 2、 白い茨：白い茨を生みだし自在に操る能力を持つ。ローゼンマイデンの雪華綺晶のものよりも強化されている。
- 3、 水晶：地面から水晶の柱を出現させる、水晶の剣を召喚して攻撃する方法がある。更に水晶の礫を飛ばす、相手を結晶内に封じ込める。ローゼンマイデンの薔薇水晶のものよりも強化されている。
- 4、 テレポート
- 5、 パラダイス＝ソング：そらのおとしもので出てくるニンフのパラダイス＝ソング。
- 6、 絶対防御圈「a e g i s」：そらのおとしもので出てくるイカロスの a e g i s ただしダイダロスの技術が劣化しているため改良はしているが原作のものよりも劣化している。
- 7、 歪曲の魔眼：型月の歪曲の魔眼と同じ。

【備考】

能力持ち、

ローゼンメイデンの雪華綺晶と薔薇水晶を合わせた感じ、
「のフィールドに関しては「のフィールド、あるいは類似したも
のがある世界では対応した力を得るがない世界では意味がない。

眼帯は魔眼封じ。

更紗の人形の中でも特殊な出来で、元々身体と簡易的な自我はあ
つたがローゼンメイデンの世界に行つた際に雪華綺晶と交渉して自
分の仲間（自我のある人形（数字持ち）は人形としても扱うがそれ
以上としても扱う）にあり旅に同行する代わりにこの身体を与える
といい交渉が成立したためローゼンメイデンの雪華綺晶と元々あ
つた簡易的な自我が混ざった存在。

簡易的な自我が雪華綺晶と薔薇水晶をモデルに作られていたため問
題はなくなじんだ。

更紗には主や作り手というより友人や恋人のように接する。

【タイプ、名前、ナンバー】

タイプ：

名前：リングダ

ナンバー：フィーア

【容姿】

グイン・サーヴガのリングダ似

【能力】

- 1、 未来視（測定タイプ）：決定された未来を見る事のできる測定タイプの未来視の能力。ただし自覚的に発動が出来ず大半が自分、あるいは自分の周囲の行って以上の危機に対して発動する。
- 2、 未来視（予測タイプ）：予測タイプの未来視の能力で言うなら高度な予測能力。周囲の状況から判断し、無意識に未来を予測演算する。最大は一日程度で未来になるほどずれが生じる。更紗に脳などを強化されているため5秒までなら決まった未来を見ることが出来る。また15秒までならほとんど決まった未来で相手が未来を見る能力を持つていてそれで変えようとしない限り覆らない（3秒までは未来を見るタイプの能力を持つ者の行動すら予測するため覆らない）。
- 3、 超振動光子剣「*chrysaur*」：そらのおとしもので出てくるアストレアの*chrysaur*（クリュサオル）ただしダイダロスの技術が劣化しているため改良はしているが原作のものよりも劣化している。
- 4、 最強の盾「*aegis*」：そらのおとしもので出てくるアストレアの*aegis*（エイジス）を改造したもの。当然劣化している。形は変わった手甲だが防御時は盾型の*aegis*（エイジス）を展開（ランスロットのブレイズルミナスみたいな感じ）する。防御力は更紗の作った*aegis*改と同じあるいは僅かに上。
- 5、 最速の翼「超加速型の翼」：そらのおとしものでアストレアの翼。ただしダイダロスの技術が劣化しているため改良はしているが原作のものよりも劣化している。

【備考】

更紗が作った最初とのタイプにして数字持ち。

能力持ち（タイプ はほぼすべて能力持ち）

元々はその世界で未来視の能力を持っていて。

事故で死んだがその事故現場の近くにいた更紗が大量の機械（アストラル・アーク）

単に言うと魂。泣空 ヒツギの能力には死んだ人間の魂を感じする類の能力がある）を感じし現場に行つて死体を解析したところ能力があることが分かつたため死体を回収して義装術式で虚動封身にした。

死体のため自然治癒がない。

その機能のほとんどを未来視の強化と肉体の強化に当てられていて。未来視の能力もあり接近戦では最強クラス。

更紗には主や作り手というより友人や恋人のように接する。

人形設定2（2月5日更新）（前書き）

増えれば更新します。

2には数字持ち以外で登場回数が多そうなものを載せることにしました。

ネタばれあり、

タイプ：純粹な人形で人などの生き物を一切使っていないタイプ
タイプ：ほとんど人形だが一分人間（人型の生き物）の部分があるタイプ

タイプ：戦闘ではなくほぼ完全に人形作りや家事などの補助の為作られ戦闘は自衛程度しか出来ないタイプ（どのタイプの作りでもものでもこれに当てはまるものはこのタイプになる）

タイプ：人間（人型の生き物）の死体などを核とし改造したタイプ（人形というよりも改造死体、また数が一番少ない）

タイプ：上記のものにとらわれていないタイプの人形のタイプ（例：獣の一分が使われている。人型ですらない。人と人形どちらも核でなく割合が等しい）。

タイプ：更紗が操るために作られた一切の思考なども出来ず自動でも一切動けない（他のタイプは思考などなく常に自動で動けないものでも更紗が指示を出せばその通りに動く）普通の（作りなど色々普通ではないが）人形の中で更紗が戦うときに使う。人形よりも武器、兵器といった感じの人形（通称ウェポン・ドール、

・ドイツ数字を与えるたることは確固たる自我と心のある人形。それ以外は思考をすることが出来ても戦闘思考やきめられた役割をするための思考しかない。いうなら完成形の殆ど人間と変わらない自立人形（例外あり）。通称数字持ち（ナンバーズ）、

・装備でなく特殊な能力を持つた人形を能力持ち（ホルダー・ドール）と言つ。

・上記のもの以外に作ったものの危険すぎるが故封印した口ストードールというのもある。

・数字持ちはそらのおとしもののエンジエロイドのように触ると柔らかいのに銃弾も効かない外装をしている（例外あり）。また傷も

エンジニアードのように自動で治る（例外あり）

- ・上記の数字持ちの例外はフィーラは死体で人形ではなく虚動封身だから（数字持ちだから自我と心はある）、

【タイプ、名前、ナンバー】

タイプ：

名前：イカロス

ナンバー：ヌール

【容姿】

そらのおとしものイカロス

【能力、主な装備】

- 1、 そらのおとしものイカロスの絶対防御圈「*ageis*」：
そらのおとしもの物を完全に再現している。
- 2、 永久追尾空対空弾「*Artemis*」：そらのおとしもの物を完全に再現している。
- 3、 弓矢型最終兵器「*APOLEON*」：そらのおとしもの物を完全に再現している。

【備考】

そらのおとしもの物を完全に再現している。再現してから自我、心を与えたことと可変ティングの核の影響で普段はそらのおとしものイカロスみたいなのが時折能力（可変ティングの核）を暴走

さえてしまつたためイカロスの了承を取つて今は機能を停止させて保管されている。

ロスト・ドール

【タイプ、名前】

タイプ：(HS型)

名前：judgement

【形】

待機時：特に特徴のない人型、僅かにそらのおとしものイカロスの面影がある。

使用時：基本色は白と桃色で周囲にハツのビットが浮いており、背中には翼が生える。また目にはゴーグルを装備する。

【能力、武装】

- 4、絶対防御圏「aegis」：そらのおとしもので出でてくるイカロスのaegis、原作のものをほぼ完全に再現している。
- 5、そ永久追尾空対空弾「Artemis」：そらのおとしもので出でてくるArtemis、原作のものをほぼ完全に再現している。
- 6、弓矢型最終兵器「APOLLO」：そらのおとしもので出でくるAPOLLO、原作のものをほぼ完全に再現している。

【備考】

元々は数字持ち（ナンバーズ）、ヌールのイカロスの暴走をビリ

にかするためには実験用に作られる予定だったが途中でTTS型になつた。

本来なら武装などを装備するところをすべて *a e g i s*、*Ar t e m i s*、*A P O L L O N* のものに回すことでのぼる完全再現を可能にした。

接近戦を度外視しているため、*Ar t e m i s* を防ぎながら近づかれ *a e g i s* を破壊されたらもう何もできない（不可能に近い）。ハつのビットは四つが *A P O L L O N* のサポートのものでありビットが破壊され減るたびに *A P O L L O N* の威力が下がるが最も都市を消し去る威力を誇る。残りの四つは *a e g i s*、*Ar t e m i s* の補佐の為にある。

他にも手足についているものも僅かに補佐していくはつきりつて全体で *a e g i s*、*Ar t e m i s*、*A P O L L O N* の補佐の為にあると言つても良い。そのため防御は殆ど *a e g i s* のみ、

A P O L L O N はエネルギー上の問題で 24 時間に一度しか打てない。また僅かに崩壊する。

ビット等以外の翼のように更紗に触れているものは大半が半ば同化しているのではがされたりすると苦痛を伴う。

一応ロスト・ドール（封じているのが一応 *A P O L L O N* だけのため）

【タイプ、名前】

タイプ：
名前：クルタ

【容姿】

クラピカを女にし顔も女っぽくし髪を伸ばした感じ、

【能力】

- 1、強化系で肉体の強化×2と回復、
- 2、具現化系で刀と剣と弓の具現化、
- 3、放出系で単純に念の放出が出来る
- 4、「血」：自身の血を増加し自在に操る能力

【備考】

クルタ族のいい所を使用し出来た人形
元になつた人間から受け継いだ発以外にも更紗が作りだした技法
で発現した「血」と言う能力を持つ。
HUNTER×HUNTERの世界では最高傑作、

【タイプ、名前】

タイプ：

名前：^{サラサ}S a r a s a

【容姿】

主人公更紗と同じ、

【能力、装備】

- 1、異能の翼「

^{スウェートアーラ}
a i a」：背に現れる無数の小さい粒

- 子で構成された見た目は光で出来た一対の翼（上）。無数に分かれ再構成することで様々な形にすることが出来る。（能力（Re g.i st r.e で登録した能力）^{ストル}）
- 2、混沌の翼「E k l i p s e a l a」^{エクリプセアーラ}：背には現れる薄青紫色の一対の翼（中）。ステルス機能と自身にアクセスしてきた主のもの以外のものを防ぐ効果と逆に侵食しそれを支配する力がある。（装備が能力と混ざり変質、強化されたもの）
- 3、機械の翼「A r t e m i s a l a」^{アルテミスアーラ}：背に現れる白い一対の機械の翼（下）。風切り羽が6のビットで出来ておりそれが半自動で敵を追い攻撃することが出来る（攻撃方法：突撃し切り裂く、突き刺さる、ビーム狙撃）。（装備）
- 4、「I m p e r a t o r d o l l」^{イムペラートルドール}：人形を自身の思考によつて操れる（通常人形が人形を操る場合は更紗が人形を通して操るがこれは更紗なしで操れる）。（能力）
- 5、「D o l l n o d u s」^{ノードウス}：周囲の人形のスキルや能力などを一時的に得る。（能力）
- 6、「R e g i s t r e」^{ルジストル}：「D o l l n o d u s」で得たスキルや能力などを1-2まで登録していつでも使用可能にする。（能力）
- 7、超振動光子双刀「^{（シヨーストルイ）}」^{クリュサオル}：そらのおとしもので出てくるアストレアの「c h r y s a o r」を刀にしたもの。ただしダイダロスの技術が劣化しているため改良はしているが原作のものよりも劣化している。また双刀で片方は短い。（装備）
- 8、守護領域「S a n c t u s」^{サンクトゥス}：そらのおとしもので出てくるイカロスの「a e g i s」を改良したもの。ただしダイダロスの技術が劣化しているため改良はしているが原作のものよりも劣化している。CB E T a i a を粒子状にして散布しそれと合成すると防御力がます。防御力は通常では更紗が作った「a e g i s」より僅かに劣るが「a e g i s」と違い好きな形に展開出来る。（装備）

【備考】

思考は戦闘の際に必要な思考だけする。

戦闘用の思考はあるため独立して動ける。

やううと思えば更紗はこの人形にも

意思を宿せるが男の際は性別の違いで手間がかかる。

「私の死体を、しかも女の私の死体を人形にしたものはどれほどのものになるんだろう」と言う疑問から作り出された最高傑作、

そのため3つ目の世界の更紗の肉体が使用されている（女）。

この人形によって更紗は人形になる資質も異常に高いことが証明された

ぐだぐだです。
「都合主義です。

「どうも更紗です。

時計塔にいたんですけど封印指定されたんで絶賛逃亡中です。
まあ逃亡 자체は前々から指定されそだつたんで、と言つかいず
れされることは分かつてたんで逃走の用意をしておいたから問題な
いんですけど、てか人形師の屋敷に引きこもれば問題ないですし、
まあそんなわけで逃亡中なんですが今日日本にいます。

日本はいいですね。

原作介入は第四次聖杯戦争にも介入しようかと思つたんだけど逃
亡準備がありましたから少しだけ誰にもばれないようにある人物に
接触しただけです。しかもその人物も気づいてません。

そういえば第四次聖杯戦争で死んじやつたケインス・エルメロイ・
アーチボルトが時計塔にいたときにからんできてウザかつたからケ
インスウォールメン・ハイドラングが作った、『月靈髓液』を一週間で再現したら顔を真っ赤に
して面白かったですね。

まあそんな訳で逃亡で日本に来たついでに原作介入をしようと思
いまして浅上 藤乃を・・・・・いや、今は浅神 藤乃ですね。
まあ彼女を自分の手元に置こうと思いまして、だつてもつたいいな
いでしょう？ 歪曲の魔眼なんてレアな能力を持つてゐるのに封じる
なんて、まあレアって言つても見るのは一回目なんですがね。他
の世界で、ですけどあつたんで雪華綺薔薇に組み込みましたから、
なんで私の手元に置いて育て上げようと思つたんで会いに来たん
です。

「ここですか」
「はい、マスター」

浅神藤乃の居場所はリヴィルに調べてもらいました。

「セヒト、行きますか」

言つて私は歩を出した。

さて歩をだして少しして私は胸糞が悪くなる光景を見ています。
それは田の前で女の子が子供にいじめられています。

(度が過ぎますね。胸糞悪い)

一応言つておきますけど私は正義や道徳などは気にしてません。初めて人を殺した時も元々壊すのが好きなせいか何とも思いませんで
したし、けど田の前のは気に入りません。

(つて、あれは浅神 藤乃ですよね。助けて案内を頼みましょう。
それにもこの時にはもう能力は封じられてるはずなんですから
ね。まあ迫害は無くなつませんか)

「子供達、やつすぎですよ」

私はいいながら子供たちのもとに歩いて行つた。

「これ以上やるなり」

言つと私は子供たちの前の地面を切り裂いた。

方法は精神感応性金属を瞬時に伸ばし魔力で強化し振るつただけ、

私は戦闘センスは無いわけではないが高くは無いので人形を操らない戦闘の為に精神感応性金属の扱いを鍛えた。伸び縮みの速度を上げ、自在に操れるように訓練したのだ。

まあこの戦法と直死の魔眼かウエポン・ドールで大抵敵を殺せることですね。

あとは糸などの技術で再現した戯言シリーズの曲弦糸で、閑話休題。私が地面を切り裂くと子供たちは蜘蛛の子のように散つて行つた。

「立てますか？」

「言つと私は手を差し出した。

「はい」

浅神 藤乃？　は私の手をつかむと立ち上がつた。
私は魔術で傷を治した。

「！？」

「はい。これで怪我は治りました」

「・・・・・あなたは？」

「私は人形師にして人形遣いで魔術師のサラサです。あなたは浅神
藤乃ちゃんですか？」

「はい」

「あなたに会いに来ました。あなたのお父様ともお話がしたいので
家まで案内していただけますか？」

私はその後浅神の家に案内してもらい交渉を始めた。

交渉は特に問題なく終わった。

元々浅神 藤乃の父親浅神の当主浅神 羽舟は浅神 藤乃の能力を封じようとしていたから能力を制御できるようにします。と言うと、人として扱う。制御以上のことは藤乃の了承をとる。という条件を渡されたけど一応OKが出ました。あとすでに浅上 康蔵が土地の利権欲しさに交渉していたけど、原作では事件を知ると蒼崎橙子に浅神 藤乃を止める。最悪の場合は殺害して欲しいと依頼したぐらいだからほしいのが浅神 藤乃だと知ると問題になりませんでした。まあ私が浅神の借金+それ相応のお金を払うと言つと文句言つてきたけど黙らせました。浅神 羽舟が、

ただ浅神 羽舟に連れ行くな娘の了承をとれと言われたけど、ちなみに拒否されたら連れては行きませんよ。その代わり払う金は借金の半額ですけど、まあ浅神 羽舟は浅上 康蔵に引き取られるぐらいなら私に引き取つてもらいたみたいなんで援護してくれるみたいですし、たぶん、金と、娘にどちらがいいか考えたんですね。能力を引き上げることになつても人として扱われるなら制御出来た方がいいですし、

そんな訳で今浅神 藤乃と話しています。

「 と言つわけなんだけど、私に着いてくる?」

「・・・・・藤乃是・・・・・」

「まあいきなり言われても困るだろうけど、よく考えてね。もちろん、魔眼の訓練はするけど、人として扱うから安心してね。感覚も完全に戻るし、今日は帰るから明日までゆっくり考えて、君にとつて悔いのない選択を」

私はその日はそう言い残すといつたん帰つた。

次の日会いに行くと浅神
藤乃は私に着いてくると決めたと言い。
私は連れ帰った。

TYPE-MOON編 第一話 浅神 藤乃との出来事（7月4日微変更）（後

今後の予定はあと1、2話でいつたん過去HUNTER×HUNTER編（5～7話）になりTYPE-MOON編に戻つて蒼崎橙子との余話などを2話ほどなみ聖杯戦争の話になる予定です。

ぐだぐだです。
駄文です。

とある国とのある森の中に更紗の工房の一つがある。

今現在は嵐が起き、外が荒れている中工房の中で工房の主サラサは頃垂れていた。

「また失敗しました」

今サラサは自身の技術の応用でジャンプスクエアのエンバーミングの人造人間^{フランケンシュタイン}を作ろうとして失敗したところだ。

「は～。いくらオーバーテクノロジーのダイダロスの技術があり、他にもさまざまな技術があるって言っても本物をみたことする無いのに再現するのは無理でしたか」

田の前には実験に耐えられず崩壊した死体があつた。

「ジャンプ呼んで唐突に思いついたんですね。前にも機巧童子^{レティモ}の童子、屍姫の屍姫を作ろうとして失敗したんですね。まあ機巧童子^{レティモ}の童子は作ろうとして使える機能が出来たのでそれはタイプ^{レティモ}に応用したんですね。」

応用内容は「「うつなら劣化ICONで合体する」と」ことです。まあ童子と
違いますで「ISのようになりますけど、

まあ理由は劣化ICONを作り、人形を纏えるようになったので改良し発展させ作ってたらいつの間にか使用時のタイプの何体かがちょっとそれどこのIS（待機時？）は一応人型、ここは譲れないらしい）ですか！？ ってな感じになってしましましたし、そしてISみたいと面白がってやりすぎてしまいいつのまにかロスト・ドールが一体出来たんですね。

ちょうどいいですからロスト・ドールの一体の能力を離しておきましょう。タイプは で先ほど述べたとおり使うときはISのようになります。

能力は飛行能力とそらのおとしもののイカロスの絶対防衛圈「aegis」^{イージス} と永久追尾空対空弾「Artemis」^{アルテミス}、弓矢型最終兵器「APOLLON」^{アポロン} です。

しかも aegis も Artemis も APOLLON も殆ど劣化していません。その理由はまあISに似たタイプ は、まあ面倒なのでIS型タイプ と呼ばづ。IS型タイプ は使うときはISそつくりだからまあ武装もあるわけなんですがそれらがほぼすべてaegis、Artemis、APOLLONの為のものに回したからです。

そらのおとしもののイカロスは人型で aegis、Artemis^{イージス}、APOLLON^{アポロン} を使えた。イカロスを作ったのはダイダロス、劣化しているとは言えダイダロスの技術を持っている以上ある程度は再現できる。さらにそれを補佐するよう機器を作り出せば完全再現も可能なんです。

まあエネルギーの関係で APOLLON は一度使えば動かなくなつちゃうどころか少々崩壊しちゃうんですね。

崩壊理由は使用エネルギーが膨大すぎるので発生するエネルギーの余波耐えられないんです。

まあ元々 APOLLON はエネルギーの問題上使えなかつたんです

けど、持てる技術を合わせ魔力などの私が扱えるエネルギーを合成し一つのエネルギーにする動力機関を作ったから使えるようになつたんですけど、それでも一回が限度、エネルギーはかなり尽きるから再度撃つには時間がかかりますし、魔力など供給できるんですけどあれほどの威力はきついですね。いつか可変ウイングの核並の動力機関を作りたいです。

まあ第三魔法を使えばいくらでも使えるんですけどそれには人形（もはや人形ではない）が耐えられないんですね。一度でほぼ崩壊、最悪放つと崩壊、二度目は良くて放つと同時に崩壊、最悪何もできず崩壊。ちなみに崩壊の時は私も消し飛びます。

いや、第三魔法を使えば魔力量にものを言わせて魔力で余波を防御すればいくらでも打てるようになるのでは？ とも思つんですけどね。

まあ国を消し飛ばせる A P O L L O N ^{アポロン} は一度使えばもう勝ち決定なんで問題ないんですけど、まあそのすさまじい威力の問題で一番目のロスト・ドールになつたんですけど、

ちなみに名前は今は L a s t J u d g e m e n t ^{ジメント} から「 J u d g e m e n t ^{ジメント} 」です。
イカロス

そのまま「 I k a r o s ^{イカロス} 」にしなかつたのはイカロスはもういるからです。

ロスト・ドール、数字持ち（ナンバーズ）、ヌールのイカロス、イカロスはまあ殆どそらのおとしものイカロスなのですが出来る限りスペックを再現してから自我、心を与えたせいか、普段はそらのおとしものイカロスみたいなんですが時折能力を暴走させてしまうんです。そのためイカロスの了承を取つて今は機能を停止させて保管しています。

私が普通にイカロスのスペックを再現できるようになればその問題も解決できるでしょう。

まあその時には「 J u d g e m e n t ^{ジメント} 」もその名にふさわしい破壊力に出来ますね。今は名前負けですし、

いや、国を滅ぼせるからそうでもないのでしょうか？

そうそう口スト・ドール自体現時点で三体とすくないんですけど増やす予定は今のところありません。数字持ち（ナンバーズ）も最大で七体ぐらいまでしか作るつもりもありませんし、

・・・・・あれ？ 口スト・ドールの破壊力を考えれば多いのでしょうか？

話がずれましたね。てか一体つて言つたのに一体の説明をしましたね。

閑話休題。

まあ私は今、新しい作り方の人形（人造人間（死体））を作ろうとして失敗しました。

まあ死体を動けるようするのは義装術式以外でもすでに多少は出来るのですが私は様々な方法も知りたいんです。

理由は私の作った目的、

一つは完璧な人形を作ること、

この完璧は自我がある、心があるではなく「死」をなくすこと、これは直死の魔眼を持つてるから思つたことです。理解が出来ないとかではなく、「死」の無い人形を作ること、まあこれは殆ど不可能なんですけどね。出来たら魔法の領域どころか神の領域ですね。一つ目が神の雛型を作ること、これも不可能に近いですけどね。私を転生させた邪神は最高位世界のトップの一人の片方らしいので無理でしょうけど、下位世界、漫画などの世界の神なら出来ないともないと思つんですよね。

まあこの目的のためには様々な方法があつたほうがいいんです。

「もう少し頑丈な肉体で試してみる？」いや、ここは妥協して義装術式も少し組み込んで作り出し検証し、そこから発展させてみますかね。

・・・・・一応頑丈なクルタ族の人間を使いましょう。クルタ族の死体はまだストックが三つほどあるはずでしたしき

言いながら私はクルタ族の人間の死体を取り出した。

「そういえば私ともな戦闘はHUNTER×HUNTERの世界だけですね。今のところ」

私はHUNTER×HUNTERで手に入れたクルタ族の人間の死体を取り出しながらHUNTER×HUNTERの世界での出来事を思い出した。

ちょうどいいのでHUNTER×HUNTERの世界での出来事を話そうと思います。

TYPE-MOON編 第1話 ほとんどの設定（後書き）

次回からHUNTER×HUNTER編です。

HUNTER×HUNTERでは誰かヒロインが居たほうがよろしいでしょうか？

いたほうがよいなら本編を変えてTYPE-MOON編にも出すのですが、

HUNTER×HUNTER編 プロローグ

いつも更紗です。

HUNTER×HUNTERの世界にトランプして早3年、そういうトランプなんです。先の三つの世界では転生だったのですが今回はトランプでした。

肉体年齢でだいたい10歳程度、両親がいない。戸籍がない。

・・・・・まあトランプした当初思ったよりは楽でしたね。お金は前の世界で稼いだお金は宝石などに変えましたから、

それにしてもHUNTER×HUNTER、ははは、キメラアントは最悪ですね。もう屋敷に引きこもりたいです。まあそこは邪神との交渉でグリードアイランドの離脱を使えば次の世界に送つてくれるにこなつた。

・・・・・ついでですからクリアして三枚持つていきましょ。さて、話は変わりますけど、HUNTER×HUNTERと言つたら念能力ですよね。なのに私念の量がしょぼいってどうこいつですか？この世界には私以外の転生者、まあ私みたいに邪神やらに送られたんではなくて自然発生？ したらしいんですけど、その人たちは平均を軽く上回るらしいんですよ。なんででしょうね？まあ理由は聞きました。私はよくある転生したから魔力やらが多いなどはなくあくまでその世界の魔力なり、この世界では念ですがその適正と素質で才能が決まり、それに魔力などの量も決まりますから私には念の適性と素質がなかったということでしょう。まあ唯一の救いはあまりのへばさに憐れんだ邪神が念の使い方などを直接叩き込んでくれたことですね。

・・・・・憐れまれるほどないんですね。」

まあおかげで師匠を見つけたりする手間は省けました。・・・・・そもそもこの程度ではあきらめ得るよう言われたり断られますね。・・・・・だから叩き込んでくれたのでしょうか？まあ良いです。

さてこの三年間で私は裏の仕事をしてきました。

内容は主に暗殺と情報収集、私は遠距離から人形を操れますから便利なんですね。

そうそう私の発ですが制約を掛けまくつて二つです。

一つ目は「人形と共に」です。効果は自身の五感を人形に宿すことが出来る。制約は自身が作った人形でなければならぬ。五感を宿す人形とは念能力以外でつながっていないとならない（例：糸）。人形と同じ現象が疑似的に起きる（例・人形の腕が斬られると自身も腕を斬られた感覚と痛みが襲う）です。まあ視界とかなら繋げるんですけどね。五感も繋げて損はないですから、これ結構制約きびしいんですよ。まず普通は念能力以外でつながっていても動かせませんし、自分で作ったものでなければなりませんし、人形が粉々にされると自分も粉々にされるような激痛が走りますし、

二つ目は「人形の医者鞄」です。効果は破損した人形を治す鞄を出す能力（最大2つ）で鞄に入つた人形は破損状態に拘わらず10時間で治る（10時間立たなければ出せない）。制約は自身が作った人形でなければならぬ。自身が治せる範囲でしか治せない。鞄に人形の7割、あるいは人形の材料を含めて7割入れなければならぬい。

まあこれもなかなかですよね。手が離せない時でも治せますし、これ自体能力者の技術が必要ですから制約としては厳しいです。あつ、そうそうこの能力の最大の利点は治せるなら材料が必要ないってことないってことなんですね。

そうそう、今は蜘蛛の皆さんと接触を取るうとしてるところです。クルタ族の死体がいくつかほしいですからね。

団長が交渉に了承したのは「都合主義」です。本当ならもう簡単にいいかないと思います。

さて眼前に蜘蛛の拠点があります。

とりあえずこの前殺した死体を義装術式で動けるようにしたのを送り、自動では動けないけど。いきなり殺し合は嫌だし、

「ハジメマシテ、クモノミナサン」

「うへん、やっぱし出来が悪いと聞きとりにくい話し方ですね。あ、そうそう元が死体のものでも私は私が作り上げたものは人形と認識するので念能力は聞きます。

は〜、本当はネ、ナルトピター？ とりあえずピターみたいな能力がほしかったです。

「・・・・・誰だ？」

当然皆さん警戒しますね。

まあいきなり壊されなかつただけましですね。

「コノタビハ、ショウショウウオネガイガアリキマシタ」

「・・・・・俺は誰かと聞いたんだ」

「アア、コレハゴシツレイヲ、ワタシハサラサットイツテモワカリマセンヨネ。サツリクニンギョウトイエバワカリマスカ？」

え？ 人形を入れるのは能力を予想されるから愚かだつて？ 分かつてます。他に思いつかなかつたんです。

「・・・・・ 暗殺と殺し、情報収集をしてるやつだね。特に暗殺と殺しは凄腕」

「・・・・・ 聞いたことはあるね」

あ、知つてたんだ。意外と有名？

「ホントウハ、オネガイゴトガアルイジョウ、ホンタイデデムカナクテハナラナイノデショウケド、ワタシトテ、イキナリコロサレタクハアリマセンカラゴリヨウシャヲ」

「・・・・・ 用件は？」

聞いてくれるの！？ 以外です。

余談だがクロロが話を聞く理由はちゃんとある。

更紗はある程度強い相手だと数字持ち（ナンバーズ）の実戦相手にしたり、それ相応の人形で相手をするためあまり苦戦しなかつたが更紗が殺した人間の中には蜘蛛でも警戒するクラスの人間が何人か居たため当然殺戮人形も警戒している。それがお願いと言つてきている以上は敵対するにしてもいきなり敵対することはないと思つてゐるからだ。

つまり更紗は自分ではそこまで有名でないと思つてゐるが殺戮人形は更紗が思つてゐる以上に有名なのだ。

「ヨウケンハ、トモニクルタゾクヲホロボシテホシイノデス」

『！？』

まあちゃんとクルタ族を滅ぼす時期に来たわけだし驚くよね。

「ドウテシヨウカ？ ゴケント」

話している途中で人形が押しつぶされた。

「…………やつてくれますね。ウボオーでしたっけ？ いきなりつぶしてくれると、まあいいでしょ。一応想定範囲内です。わざわざ出来の悪いのを選んでこのために改良はしましたけど」

起きたことは簡単だ。ウボオーギンが力づくで人形をつぶしたのだ。

「さて、交渉を続けましょうか」

「団長！ こんな奴の話聞く必要ないだろ！ 殺せばいいんだからよー！」

「ゾレハヒドイデズネ。ハナシグラライザイゴマデギイデモイイデシヨウニ」

『！？』

人形がしゃべると同時に人形から黒い塊が大量に出てきた。

出てきたのは精神感応性金属だ。

この人形は必要最低限以外の臓器などはすべて取り外し出来たスベースには大量の精神感応性金属が入っている。

ちなみに現在死体を操っている方法も糸だがそれは精神感応性金属を糸状にして使用している。

人形から飛び出した精神感応性金属は素早くウボーギンを拘束し、口の中に一本の糸状になり入り込み、目を突きさせる状態で止まつた。

「アナダハ、ガンジョウデズシ、チガラジマンデズケド、ガンギュウヤナガモガンジョウデズカ？」

その言葉にウボーギンは引きちぎりつつしていた動きが止まつた。

「さて、皆さん。私は敵対するつもりはありません。手を組みませんか？」

更紗は姿を現した。

「改めまして、蜘蛛の皆さん。私が殺戮人形の本体。更紗と申します。以後お見知りおきを」

更紗は恭しくお辞儀をした。

しかし蜘蛛のメンバーは啞然としていた。

自分たちでも警戒するクラスの人間が見た目10歳程度の子供なのだから、

「ああ、一応申しておきますけどこれが本体です。まあ10歳程度の男の子では驚きになると思いますけど」

また蜘蛛のメンバーは畠山と/or/した。

なぜなら更紗の見た田は人形のよつと整つた顔立ちをした少女なのだから、

「…………一つ聞きたい」

「何でしきう?」

「クルタ族ならお前一人で滅ぼせるんじやないのか?」

「ええ、可能です。しかし私がほしいのは目だけでなくクルタ族の綺麗な死体を5、6体、あまり傷をつけずに倒すのはいさか面倒です。そこで噂で蜘蛛がクルタを狙うとか言うのを聞きまして、これが嘘でも緋の田には興味がありでしきうから持ちかければ共闘ぐらいは出来るのでは? と思つてきました」

「…………」

「報酬を払いましきう。6体死体をもじりうとして緋の田の価格分は出しましきう」

「いいだらう」

『団長!』

「ありがとうございます。あ、そだ。何か仕事があれば暇なときでしたら報酬を出していただければ手伝いますのでご連絡を、それと実行田はそちらに任せます」

この後クルタまでにいくつか仕事を手伝つてわりと打ち解けた。

さて次はクルタですね。案外でか、確実に転生者は居ますよね。

立ち向かつてくるか逃げるか、

・・・・・逃げるなら逃がしましきう。立ち向かつてくるなら

実験台にじましきう。転生者の死体は特別かどうか気になりますし

ね。

いつも三連休中に熱を出し、下がってもいらないのに連休明けに学校に通い続け今も熱があるため更新が遅れました。

そのためどこかおかしいかもしませんがおかしかった場合は熱が下がり次第修正します。

今現在はクルタ族の集落の近くにいます。ついにクルタ狩りです。

「相変わらずなんだよその仮面」

「だから私は普通に街を歩きたいので一応です」

そう、今私は仮面をつけてます。

正確には蜘蛛の皆さんとの仕事の時は、

理由は蜘蛛の一員に数えられて、賞金首になりたくありませんから蜘蛛の皆さんと仕事をするときは普段からつけてます。今回は転生者対策も含まれます。

「はじめるぞ」

クロロが言つと皆それぞれ散り行動を開始します。
さて、私も自分の分を確保して手伝わなければいけないので動く
としますか、

「舞え、私の人形達」

現在はクルタ族の人間に囲まれてます。

今回の戦闘では数字持ちの出番はありません。見られると困りますから、転生者に、そのため普通にタイプの人形を操ります。
それにも思つてたよりは

「弱いですね」

そう、思つてたよりも弱い、
いや

「過剰すぎましたか」

そう、弱いのではない。

第三者から見れば当たり前だろう。私が警戒しすぎたから落差で弱く感じるだけだ。

今、私を囮んでいるのは18名、対して私の操っている人形は50、対してクルタ族の人間は発以外の念能力は大したものだろう。それでも強者にはあてはまつてもそこまで強いわけではないが、そこらの人間では相手にならない。しかし私の人形は違う。少々手間をかけたものだし、

今回使用しているのは大まかに三種類。

まずタイプでネギまのチャチャゼロのような奴（殆どひと回り大きいだけ）が20に東方のアリスの使うような奴が20、タイプのこの世界で殺した念能力者の虚動封身が5、人傀儡が5、虚動封身は肉体をいじり強化しているうえにそのものの念でさらに強化させている（発は使えなかつた）。

チャチャゼロのような奴、ネギまシリーズ（仮）は魔力で強化している。魔力で強化出来る理由は邪神の言う私のたとえ人形を遣うために必要なものの適正がない場合でも人形を遣う場合は無視できる人形遣いの才能のおかげかエヴァンジェリンの人形に関する技術のおかげかはたまた両方かは分からぬが私は人形に関して限定で魔力を使用できる。

さらに東方シリーズ（仮）はネギまシリーズ（仮）よりも使用している材質がもろいから神字も刻んでいる。

武器も特別なもの（私以外から見れば）を使用している。

本当に過剰戦力だ。一体で並の念能力者以上の戦闘能力を宿している。しかも破壊されると爆発するためうかつに破壊できない。人形に関しては仕方がない。他の人間の手に渡ると困る。売ったりする人形はまた別物なのだ。

（もう少し、他者を警戒して訓練してれば違ったんでしょうね。戦闘民族でしたつけ？ SSSでもクルタに転生してもう少し他者を警戒するべきと進言しても却下されたのがあつたような）

そうしていれば発もまともに、今のところはいても

「はああ！」

今女人の人気が念能力で作ったと思われる剣を、死体を回収するために近くにいた私に振りかぶってきたのですけど、

「その気持ち悪いのを私に見せないでください」

私が腕を一閃すると女性の持つていた剣はばらばらになり消えた。

「なつ！？」

「はい。さよなら」

また一閃し首を切り落とし、そのまま人形師の蔵に放り込んだ。私が念を簡単に消せた、殺せたのは死が多かつたから、念は能力者の力量で死の量が変わるらしい。無くなりはしないが、下手な奴は死体よりもひどい。

けどあまり直死の魔眼は使いたくないんですよね。頭痛がしたりはしないけど見ていて気分が良くなるものじゃないですかね。死

線も死点も、

ちなみに斬るのに使つたのは糸です。糸が指と繋がつていれば問題ないんです。まあ直死の魔眼と糸だけだと普通に式と志貴と互角か以下だろう。

・・・・・ たぶん以下、
まあ何にしろ

「これで六体目」

後は殺すだけですね。

人形を操り、人形の持つている剣で、槍で、鉈で頭部を傷つけぬようにクルタ族を殺す。

周囲にいたクルタ族はすでに残り6名、対して残つてている人形は40体、しかもまだまだ補充しようと思えば補充できる。

「これで終わり」

言うと私は人形ではなく周囲に張り巡らせた糸で戯言の人識を同じ殺しの曲弦糸でこ

「！？」

糸が引きちぎられた。

「貴様ら」

距離をとりながら見るとそこには屈強な男が一人立つていた。

（この男強いですね。魔力で強化していないとはいえ糸を引きちぎつた）

「貴様ら、よくも
(ん?)

よく見ると男の手は血で濡れていた。

（まあ当然ですか、遅れた理由は原作では出てこなかつた蜘蛛の4
か8を殺したからでしうか？）

そう、今の蜘蛛には原作にいなかつたメンバーが居たのだ。

「一」

そんなことを考えていると男が一いち方に突っ込んできた。
瞬時に人形を操り迎撃するが、

「邪魔だ！」

男の拳で破壊された。

更紗は距離をとると解析眼を使つた。

解析眼は人に使うとその人物の肉体の状態や、魔法などがあれば
適性はあるかなどが分かる。念は系統までは分かるのだ。

（強化系ですか。ウボオーよりは弱いでしうね）

更紗はタイプ 以外の人形すべてを回収し、新しいタイプ を一
体だした。

その人形は茶々丸のような姿で一本の剣を持つてゐる。

その人形を出すと同時に傀儡2体と虚動封身3体を向かわせた。

片方の傀儡の右の手のひらから刃物が出てきて口ケットパンチの
ように手が飛び（ワイヤーでつながっている）男に向かつていつた。
しかし男は避けると手をつかみ人形を引き寄せた。

更紗は人形（傀儡）の右腕を切り離し勢いを利用し男に接近した
際に左の腕からでた刃物を振りおろさせるが、男は右腕で防いだ。

「甘い」

男は後ろにいた人形（傀儡）の口から飛び出してきた武器を左腕
で防いだ。

更紗は戦闘中に一体後ろに回り込ませていたんだ。
男は蹴りで前にいる人形（傀儡）を破壊しようとするが

「甘い」

人形（傀儡）の口から刃物が飛び出した。

それを男は頭を動かすことでかわし蹴りで人形（傀儡）の腹部を
破壊するが後ろの人形（傀儡）の四肢が外れ浮かび男に飛んで行つ
た。

男は今まで通り防ごうとしたが、

「なつ」

刃物は男の四肢に傷をつけた。

理由は簡単、使われていたのは人傀儡、使われていた人傀儡は元
々は念能力者だった。つまり念が使える。攻撃する時に今まで使つ
ていなかつた念を使い強化したのだ。

それでも突き刺さらなかつたのは男の力量だろう。
しかしそこに人形（虚動封身）の三体が武器を持ち飛びかかつて
きた。

「む

男はその場から離れようとしたが、

「無駄ですよ」

人形（人傀儡）の胴が開き大量の黒い糸が飛び出し男の退路を壁となりふさいだ。

男は糸の壁を殴つたがひびは入つたが壊れなかつたため人形を破壊することにし、初めに飛びかかってきた人形（虚動封身）を拳で破壊し、次のも破壊したが最後の人形（虚動封身）も拳で胴を貫いて破壊したが破壊すると同時に壁が崩れ人形が飛び出し剣で斬りつけてきた。

男は振り向き人形を見た瞬間寒気がし離れようとしたが地面を転がっている人形から糸が出て下半身を振り向いた時点で固定されていて動けなかつたため硬で腕にオーラを集め防御しようとしたが

「終わりです」

男は一瞬防いだがゆつくりとだが刃は進み腕」と首を切り落とされた。

人形の持つていた剣はただの剣ではなく数字持ちのリングダが持つていて超振動光子剣「クリュサオル chrysor」を作る過程で出来た試作型の超振動光子剣「クリュサオル chrysor」なのだ。

まあ簡単に男の防御力では試作型超振動光子剣「クリュサオル chrysor」を防げなかつただけだ。

「これで、終わりかな？」

あたりを見合すともう生きている人間は居なかつた。

男と戦つてゐる間に逃げたのだろう。たぶん蜘蛛に殺されたと思うが、

「この男は貰つておきましょう」

その後男を収納し、蜘蛛のメンバーと合流して約束の分以外のクルタ族を渡し、騒いだ後（私は騒がなかつたけど）解散した。

ちなみに死んだのは4番だつたらしい、

転生はどうなつたか、本当に居たのかは分かりませんでしたね。まあ居たらクラピカと一緒に居て助かつたでしそうけど、ぱつと見クラピカの死体はありませんでしたし、

そつそつ、蜘蛛がほしかつたのは目だけだつたらしく身体には興味がないらしいのでクルタ族の死体の良い個所は貰つた。

虚動封身は別々の死体を繋げても出来ますしね。優れた個所同士を繋ぎ優れた虚動封身を生みだすこともできる。それこそが泣空の死者蘇生学「義縫忌術」、

同じ一族なら繋げる際の調整も楽でしようし、

ふ、金も稼ぎましたし、ほしかつたクルタ族も手に入れた。人形は今は新しく作りたいのが思いつかない。今作れる人形は充実してゐる。

・・・・・何か良い暇つぶしはありませんかね。

余談だがクルタの事件は原作よりも悲惨の状態になつた。
瞳だけでなく身体の一部が無い死体まであるのだから。

ぐだぐだです。

今まで書いた中で一番長いです。

なのに一度に書くのは短かつたためおかしい部分があるかもしれません。

さてクルタの虐殺から時が経ちついに原作開始のハンター試験が始まります。

クルタの虐殺からこの日まで私は主にクルタ族の死体を弄くり、人形を作り、人形を弄くり、天上競技場で金を稼ぎ、虐殺人形として仕事をし、幻影旅団と共に仕事をしていた。

（やつぱし原作には関わりたいですからね。正確には関わりたいと言つより 壊したい。でしうか？）

そんなことを思い、原作を壊すのはどうだろ？ と思つたが昔から人形、何かを作るのと同じくらい知るのと壊すのが好きだったしそうがないかと自己完結した。

（まあ蜘蛛のメンバーとは親しくなつたからクラピカを殺すのはだいぶ前に確定しているから壊すのも確定しているし今更悩むことでもないですね。私がクラピカを殺すのは簡単だし）

クラピカは私と違い才能があるだろう、それでも人形を使えば普通に殺せるだろ？ し糸を使えば私の方が優位、そもそも私はクラピカのなんて言いましたつけ？ 名前は忘れましたけど拘束する鎖を使わせれば勝てる。あれはたしか蜘蛛以外に使つたら死ぬはず、私がクルタ虐殺に参加していると聞けば使うでしょう。使えれば私はクルタ虐殺に参加していくも蜘蛛では無いから死ぬ、

そつそつ蜘蛛で一番親しいのはマチとシズクです。

親しくなった理由はマチは糸（糸糸）を使うのでよく一緒に仕事をしたから、シズクはシズクが蜘蛛に入る前に一人で仕事をしているときに私のターゲット（複数）がシズクと戦闘していてピンチの所を助けて蜘蛛に入れたから、なんでしょうねこのご都合主義、え？ そこを詳しくやれって？ 言つたじやないですかHUNTER × HUNTER 編は飛び飛びで手早く終わらせるつて、・・・・・あれ？ 变な電波が、まあとにかくハンター試験が始まりますので参加しようと思います。

原作だと分かった理由はヒソカです。ヒソカが二回目なんです。ヒソカとは一度戦いました。何ですかあの戦闘の天才。直死の魔眼を使えば隠をしなくても死線と死点共々普通に見れるから「伸縮自在の愛」も「薄っぺらな嘘」も普通に見やぶれたのに仕事の際に使うお気に入りの人形は中破状態にされるしそれを覚悟で死点を突こうとしたらそのまま攻撃すれば首を落とせたのにいきなり距離を取るし、後日聞いてみると勘で危険だとおもつたそうです。しかも気に入られてしまいました。悲しいです。

そうだハンター試験にはマチとシズクにも参加してもらいましょう。参加してもらえば反応で誰が転生者かが分かりますし、転生者と言えば面白いことになつてますね。いくつかのグループに分かれています。

大まかには二つ、せっかくの新しい命なんだからこの世界で生きる派と帰る派、細かくすると生きる派には普通に生きる派と行為に原作を壊す原作ブレイク派、さらに原作を壊し不測の事態を起こさないための原作保守派、帰る派は殆どグリードアイランドを目的としているらしい、

これはネットで調べれば分かる。

セキュリティーは厳重でハッキングは難しいサイトだが前世を持つものなら簡単にれるパスワードで出来た転生者の情報交換サイトがあるからだ。

ちなみに対立してるのはブレイク派と保守派ぐらい。普通に生きる派はブレイク派を少々警戒しているものの基本どこも気にしないし、帰る派に対してブレイク派、保守派は共に原作イベント後なら好きにしろって感じだし、帰る派は帰れれば原作イベント後で良いみたいだし、まあグリードアイランドの入手手段に悩んでるらしいけど、

当然個人で行動するのも居るし分かるのはこうこう派閥があると言つだけで敵対して派閥がある以上情報があまり漏れない。まあブレイク派はブレイク派同士で殺し当りするけど、ブレイク派と言つても原作を守らないで壊そとするものを便宜上こう言つてるだけだし、みんな個人か数人単位で動くでしょ、

派閥があると言つた情報サイトも普通に生きる派と帰る派は純粹に情報交換目的と転生者たち、特にHUNTER×HUNTERを知らない転生者が困るだろうと、何らかの助けになるだろうと殆ど善意で作ったものだし、

まあどこ派とかそんなの関係なしに転生者が集まって出来た組織みたいなのもあるらしいけど、興味がないので詳しくは知らない。

（私は保守派は絶対に敵対するしブレイク派とも敵対するだろうな）

そんなことを考えながら一人に頼むために一人の元にロフストランドクラッチ（松葉杖みたいなもの、とあるの一方通行が使つてると似てる種類の杖）を使って向かった。

なんでも私の体はトリップでは転生し始める前の最初の体らしいです。さすがに親に貰つた体を少しならともかく大がかりに改造するの気が引けるんでこれを使つてます。

- ・・・・・ 平気で人を殺せる私に残つた数少ない何かですね。こいつのをなんていうんでしょう？ 良心？ 少し違いますね。
- ・・・・・ そう言えばハンター試験に長距離マラソンがありましたけどどうしましょう、まあ手はありますね。

さて今日はハンター試験の開催日です。
一人には頼んだら簡単に了承されました。
・・・・・今度買い物と共にすべて奢られる」とになりましたけど、

「「注文は?」
「ステーキ定食」
「焼き方は?」
「弱火でじっくり」
「あいよ」
「お客さん奥の部屋へどうぞ」

「」まではシャルに情報聞いたから（有料）問題はなし、
・・・・・ふと思つたけどこれってたまたまステーキ定食を頼
んで焼き方聞かれて弱火でじっくりって答えた人どうなるんだろう
? なくはないと思うんだよね。
・・・・・記憶操作系の念を持つハンターが消すのかね。それ
とも事情を話してお引き取り?
まあいいや、私には関係ないし、
さて着きましたね。

番号は395か、ここに来る前に多少の範囲を探つたけど主人公たちは見当たらなかつた。つまり転生者がそれなりにいるということですね。

「やつ」

「久しぶりですね。ヒソカ」

「そうだね」

「マチとシズクも待たせちゃいましたね」

「別に気にしちゃいないよ」

「大丈夫」

私が三人と話始めると注目が集まつた。

いや注目は降りた瞬間に集まつてたけど、それは単純に姿が整つていて杖をついた人間に対し、今は異質な空気を放つてヒソカとそれと普通に話しているマチとシズクと話していることに足して、

（後は転生者だね。他とは違う意味の視線も感じるし）

そんなことを考えているとマチが耳打ちしてきた。

「（頼まれてたことだけど25人ぐらいだよ）

「（そうですか）」

「（面倒だね。あんた以外の転生者はみんなオーラ量が多いからね）

「

「（そうですね）」

そうそうマチとシズクは原作、転生のことなどを話しています。悩んだんですけどね。これを話したのは初めてですから、だつて自分が物語に登場人物として出ているだなんて発狂ものですよ。

まあ一人は発狂するような精神ではなく起きたことは信じるタイプの人間なのでいろいろ見せてたら信じてくれまいした。

さて閑話休題、マチとシズクに豪く反応したのは25人ぐらいらしい。保守派、ブレイク派が大半だろう、中には一目主人公を見ようと思った他の派の人間もいるでしょうけど、

「主人公が来たみたいですね。」

「…………すでにイレギュラーが入ってるのか、人数は4人内3人はクルタの人間ですね。4人ともこっちを見て驚いてます。これで29人、けど中には反応をごまかせた者や、転生者ではないのに反応した者もいるのを考慮しないと、まあ一応29人で考えておきましょう。」

ジリリリリリリリリ

「うるさいーーーと試験官が来ましたね。どうやら始まるみたいです。どうでもいい話ですかと新人潰しの人は私がヒソカと話し始めたら近づいていたのに逃げるよう離れて行きました。」

試験は始まつたんですけど私とマチ、シズクは動いてません。二人とも私の足を見てます。まあ当然ですよね。

「マチ、シズク」

「なんだい？」

「ん？」

「これ持つてて」

私は2人に手のひらサイズで頭にひもが付いてる人形を渡した。

「何これ？」

「私が進むために必要なんです」

「分かつたよ」

「分かつた」

二人は人形についてる紐で服に結びつけると走つて行つた。

一応多少はいじつてるんで普通に歩いたり走つたり少しなら出来るんですけど全力で走るのは5分が限界ですし、しかもゆっくりでも長距離は無理ですし、少しで壊れちゃうんですよね。足が、そもそも戦闘でもしもの緊急回避用の意味で改造したんですけど、一応戦闘で杖が邪魔になるのを考えて改造したエルゴグリフクラッチ（とあるの一方通行が使つてると同じ種類の杖^{たぶん}）できたんですけど、

そう言えば初めて転生した時は今まで杖を使うのが当たり前だったからその感覚が染みついて普通の赤ん坊よりも歩けるようになつたのは遅かつたですね。両親は不思議がつてましたね。早熟な子供なのに歩くのだけがぎこちなかつたですから、障害があるのでは？と病院に連れてかれましたし、

そんなことを考えながら『人形と共に』いで視界を一人に渡した人形と繋げたんだが、

「 おえ、吐きそつ」

一人がトップにでも出るつもりなのか高速で走つていたため人形が激しく揺れ、それに視界を宿してしまつたためすさまじい吐き気^{（宿すのはもう少ししてからにしよう）}に襲われた。

さてマラソンは終わりました。

私ですか？ 私はあの後もう一度やるとある程度安定していたので飛行能力とテレポート、ステルス能力があるタイプで何度もテレポートを繰り返し一人の上空に移動した。

この人形は、何気に性能が高いんですけど戦闘力は低すぎるんですね。

ステルスも周囲のものごと姿を消せますけどあくまで視界をごまかせるだけですし、

マラソン長いですね。

今は草原を走っています。

それにしても退屈です

「 · · · · よくわかりましたね」

私はいきなり飛んできたトランプをブレスレット状にして腕につけていた精神感応性金属を糸状にして弾き投げてきた相手に言った。いくら今マチとシズクと一緒に移動しているとはいってステルスは解いてないんですけどね。しかも一応絶してるんですけど、

私オーラ量はゴミんですけど技術は一流ですよ。

· · · · · 考えるのをやめましょ。ヒソカですから勘か何か

でしょう。

「勘だよ」

「…………やつぱり勘ですか、そもそも何やつてるんですか？」

周囲の死体を見ながらヒソカに聞いた。

「試験官じっこ」

「…………面白い人は居ましたか？」

「居たよ 今年は豊作だね」

「そうですか、ではまた」

「また」

私は糸状にして指の先から展開していた精神感応性金属を元のプレスレット状に戻して移動した。

「…………ヒソカの遊びに付き合わされた人は不幸ですね」

「まったくだね」

「本当に」

私は現在共に移動している一人に言った。一人も同感のようだ。それにも試験官じっこ、どうでもいいんですけど転生者が何名か死にそうですね。

「第一次試験後半、あたしのメニューは寿司よー。」

さて先ほどのブタの丸焼で今度は寿司ですか、

余談ですが私がここに居るのにほぼ全員が驚いてましたね。まあ足が不自由な人間がこれたら驚きますね。これで転生者達は能力を移動系と思ってくれれば儲けものです。

そつそつヒソカの試験官ヒソカで転生者が4人死んだようです。

(けど寿司つて、修行が大変だったよくな)

「(質問が

「なによ?」

とりあえず質問する」とにしました。

「あなたは美食ハンターでしたよね?」

「そうよ」

「でしたら寿司がどのような料理であれ、あなたを満足させるのは難しいのでは? 先ほどのように焼くだけでいいわけではないのでしょうか? 寿司と言う料理を知つていてなおかつその料理を美食ハンターを満足させるレベルで作れる。料理は奥が深く物によつては何年も修行が必要と記憶しています。これが美食ハンターを目指している者限定の試験ならともかく、料理の修行を何年もして居なければ合格が難しい試験、これでは流石に試験として不適切では?」「うつ、じゃ、じゃあちゃんと寿司の形をしていてそれなりに美味しければいいわよ」

「分かりました」

「で、ああ言つたからには寿司つてのを知つて作れるんだろ?」「作れますよ。人様に出しても恥ずかしく無い程度には」「じゃあ僕たちのも作つてよ」

「はあ、

・・・・・・イルミもですか?」

私が聞くと顔を変えたイルミがカタカタと首を縦に振つた。
ちなみにイルミとは仕事で知り合つた。ついでに父親とも知り合つた。

ただしイルミは共闘でしたけど父親の方は同じターゲットを殺す依頼を受けていたので殺し合いに勃発し戦つていたらターゲットが逃げたので仕方がなく共闘した仲です。

「出来ました」

途中で忍者、ハンゾウだつ? が口を滑らせてほぼ全員が魚を取りに行きましたけど私は『人形師の蔵』から取り出して作りました。

出来た寿司をマチ、シズク、ヒソカ、イルミに渡しあえず私が一番最初に持つていくことにした。

ちなみに作つたのは無難なところでマグロの赤身とトロと中トロと大トロとサーモンです。

「どうぞ」

「…………普通においしいわね。合格よ

「どうぞ

この後マチ達四人も合格して半数ぐらいの転生者達があわてて寿司を作り持つてきましたけど殆どが不合格と言われてしまった。残りの半数は修正力にでも期待したんでしょうか？

（原作ブレイク派もここで壊すつもりはなかつたみたいですね）

しかしその後ネテロ会長が出てきて原作通りの展開になった。理由は流石にその試験は通過者を限定しすぎるかららしい。ちなみに寿司で通過できた受験者は後々有利にしてくれるらしいです。

（この後は確か塔の上から下まで行くのとサバイバルで最終試験、・・・・・今回で確実に転生者には目を付けられましたからね。注意すべきはサバイバル、転生者は私以外は皆念の才能にあふれているらしいから広範囲に攻撃可能があるとするとさすがにこの足だときつい。

・・・・・周囲を気にせずやれば別ですけど、まあきついなら姿を現す必要がある仕事の時と同様に私はこの体では戦わなければいいだけの話ですね。

けどこの寿司の試験のおかげで転生者が +1 ですね。目をつけていなかつたのが寿司を作りましたから）

塔のてっぺんにきました。

これは面倒なのですがクリアをせてもらいましょう。

私とマチ、シズクは塔の屋上から人が居なくなるのを待ち行動を開始した。

「では行きましょうか

」
「おいで『水銀燈』『雪華綺薔薇』『リングダ』」

言つと更紗の背後は赤く染まり辺りを薄く照らす。そしてその空間から波紋を浮かばせると同時に三つの人影が飛び出してきた。そしてそれぞれが更紗、マチ、シズクを受け止め宙に浮いた。

「ひをしづりね。マチ、シズク」

「そうだね」

「ひをしづり

「で、お父様どうするのかしら」

「…………お父様はやめてください。いえ、諦めました。言つから言つてしましましたけどやめてくれませんから」

「たまに名前でも呼んでるわあよ」

「…………そうですね。出来れば初めて名前を呼んでくれるのは襲う時じゃなければうれしかったです」

「お父様過ぎたことを気にしてもしょうがないわ」

「…………そうですね。では私達を連れて下まで降りてください。

」
「ああ襲つてくる『ミミ』は消してくれて構いません

「わかつたわ」

私が言つと一いつにに向かつてくる怪鳥を水銀燈が羽を飛ばし切り

裂き、雪華綺薔薇が水晶の礫を飛ばし撃退した。

リングダは接近戦闘だけなのでシズクを受け止めているため戦闘が出来ないので不参加です。

そつそうじうでもいい話ですけど転生者と思われる人物が7人消えました。

おそらく念能力者の試験は多少きびしかつたのでしょう。原作でヒソカも前の試験官が相手でしたし、

あれ？ そりいえばヒソカの相手をした前の試験官念を使つてなかつたような？

まあどうでもいいですね。

これで転生者の人数はおそらく19人、減るのはいいですけど増えるのは勘弁してもらいたい数ですね。

「行つたね」
「行きましたね」

「どうするんだい？」

「たぶん試験でじょうからなにか起きるまで待つてまじょう

塔クリア後、飛行船に乗つてたんですけど島で置き去りにされました。

しかも休みとか、一応財宝を持つてこいとなつてますけど、

（けどこれ知らないんですね。確かに細かいところは忘れましたけどこんなイベントは流石に覚えてます。

・・・・・ そういえばHUNTER×HUNTERはアニメもあつたはずですね。確かレンタルのDVDを見かけて記憶がありま

す。つまりこれはたまにアニメであるアニメオリジナルの話、とりあえず転生者と主人公組の行動を見ましょう。知らない転生者も居るでしょうけど知ってるのも居るでしょう。少なくとも主人公はクリアするはずですし）

そんなことを宝石を渡し宛がわれた部屋で考えて居た。

さて現在は嵐が来たので皆で協力して乗り切ろうと鳴っています。

「まあ私達は何もしてないんだけビ」

そう、皆が協力してる中私、シズク、マチ、ヒソカ、イルミは何もしてません。

「なに言つてるんですかシズク、私達は何もしないのが協力でしょう。考えてみてください足の悪い私は役立たずですし、ヒソカやイルミが手伝いに行つたら退かれて逆に作業が遅くなります。マチ、シズクも避けている者が居ますし、そもそもヒソカと普通に会話してる時点で避けられます」

「心外だな」

私の言葉にヒソカはそう言つたがマチとシズクはなるほどと納得がいったようだ。

さてその後みんなの協力で嵐を乗り切り次の試験に行くことができました（更紗、マチ、シズク、ヒソカ、イルミは何もしてない）。

途中でレオリオ？ でしたっけが岩の下敷きになつて主人公が助けに行き沈んでしまいましたけど転生者のうちの一人が念能力の糸で助け丸く收まりました。

おそらく原作ではヒソカが助けたんでしょうね。皆こぢらを見てましたから、

まあ何はともあれ今は新しい試験で私の知つてるプレートをとるサバイバル試験なんですけど、

「…………これ絶対くじ操作しますよね」

「だらうね」

「うん」

私のターゲットはマチ、マチのターゲットはシズク、シズクのターゲットは私確実に操作してますよね？

「どうするんだい？」

「別行動しましょう私は一人でマチとシズクは一人で。一応私のプレートはシズクに渡しておきます。なのでシズクはここに来るまでに奪ったプレートをマチに渡してください。そうすればあと一人狩ればいいですよね」

「あんたはどうするんだい？」

「あてはありますから大丈夫です」

（あのつざつしたい視線ともお別れしたいですし）

その後私たちは別行動し私は身を隠すと4体の人形を呼びだした。

「さて私を監視してた5人を消しますか」

そう私は試験中5人の転生者に監視されてた。
ほかにも見てくるものはいたがこの5人は特別だった。おそらく
保守派、

（今もこちらを迷わず進んできますし）

念能力、それはすぐに分かつた。

私は自分を頻繁に『解析眼』で解析している。その結果念能力を
受けていることが分かりそれについても解析した。

私は一体の人形に上着を着せた。念能力の対象は正確には私では
なく私の服だ。おそらく触れたものを追跡する能力だろう。5人の
うちの一人とは一度すれ違う時にぶつかったからその時に、

私は4体の内の3体を周囲に配置した。

その3体の内2体はステルス機能があり私を隠してくれる。前に
使つたのとは違いステルスのみだからステルス機能は上ですし、最
後の1体は防御です。

そして最後の一体を操り五感を宿らせる。

この最後の人形は特別で死線、死点も見える。理由はおそらくこ
の人形が私と寸分違わぬ人形をもとにしたためだろう。たぶん、さ
らに機巧化人間を作る技術から編み出した機巧偶人を作る技術、そ
のたもろもの技術で改造もしてある。

簡単にいえば原作アスラクラインの朱里（紫浬）が最終決戦で朱
里の体を操ったのと同じことをしているのだ。
まあこちらは少々いじつてるんですけど、

余談ですけど仕事の時はこの人形で行きます。

さらに余談ですけど3体の人形を配置したのは操つてる最中も動けるんですけどここには転生者がうじやうじやいるので念のためです。

またさらに余談ですけど向こうが追つてきてるとわかるのは発信機を付けたからです。

「さて、始めましょう」

更紗は口の端を釣り上げ笑いながら言つた。

「あ？」

「どうかしたのか？」

現在更紗を追跡している5人は立ち止つた。

「いや、いきなり止まつたと思つたらこいつに向かつてきてるんだよ

よ

更紗に、正確には更紗の服に念能力をかけた転生者、ユウヤは言った。

ユウヤの発は『袖振り合つも他生の縁』、

もともとユウヤはHUNTER×HUNTERをあまり知らない。

正確には昔読んでいて、連載が再開されたら週刊誌で読んだ程度だ。

そのためこの世界に来た時HUNTER×HUNTERとわかつ

ても念の修行などを覚えておらず習得したのは保守派に入つてからのだ。

入つた理由はHUNTER×HUNTERにあまり興味がないのとキメラアントだ。原作通りいけば主人公たちが倒してくれると思い原作通り進めようとする保守派に入ったのだ。

またそのため役立つ発を考えた時出来たのが『袖振り合つも他生の縁』、この発は一度触れたものの位置をいつでも特定できるというのだ。

主人公の位置と転生者の位置が分かればいいな」と言つ考えから生まれた発だが効果は高く触れたものなら常に分かる。もつともそれをイメージ出来なければならぬが、そのためもうひとつ『発』『俺の記憶の写真』を作つたりしたのだが、こちらの効果はそのまま記憶を写真として具現化するというのだ。

まあこの二つの念を作つたため戦闘向けの発が作れなくなつたりしたのだがそれは余談である。

「向かつてくるなら好都合、お前は下がつてろよコウヤ

「分かつてる」

「その必要ないし、全員下がつてて私が殺すから

ユウヤともう一人の転生者コウキの会話に割り込んできたのはアーレイだった。

この5人の中で最も殺傷能力の高い発を持つてゐる人物だ。

そしてどうでもいい話だが転生者でも珍しいTSした人物だ。

ちなみに現在の名前は女ものため嫌がつたため、前の名前は今の姿ではおかしく残つたのが前世の苗字か現在の苗字で現在の苗字で呼ばれている。

「ぶつそうだな。一応話し合いは必要だろ」

「ぶつちやけあいつの行動を考えると進んで原作を破壊する気はない

「けど守る気も無いよつと思つねば?」

「確かに」

観察していた更紗について話していくとユウヤが行つた。

「来たよ」

ユウヤの言葉で4人が臨戦態勢に入ると鋭利な刃物のように禍々しい形狀の3対の翼を生やし、先ほどと違いコートを着た更紗が宙に浮かんでいた。

「あれがあいつの発か」

「おそらく具現化系」

「まああの翼からしてやつだろ」

そんな話をユウヤ達がしていると更紗はとまつ話しかけてきた。

「どうもこにちは、私をずっと監視してたのは貴方達ですよね」

「ああそうだ」

「用件は? 何か用があるんでしょう?」

「まあ話しても無駄だと思うんだけどよ。原作壊すのやめてくれねえ?」

「無理ですね。少なくともクラピカは殺します」

更紗が笑顔で言い切るとアーレイ達は殺氣を放ち始めた。

「じゃあ死ね。『スカーデッド致死武器』!」

アーレイは叫んだが何も起きた。

「 「 「 「 「 は？」 「 」 」 」

なにも起きてないことに更紗以外のこの場に居た人物が啞然となつた。

「どうなつてやがる！？」

発を使ったアーレイ自身が更紗以外の全員が思つてゐることを叫んだ。

アーレイの発は二つ、一つは『致死武器』、めだかボックスの志布志 飛沫の過負荷と殆ど同じ能力だ。と言つてそれを再現した能力だ。違う点は自身の円の内部にいる人間にしか使えない。また心の傷は開けない。

二つ目は『致死の領域』、この能力はただ単に円を拡大し操るだけの能力、

まあここまで説明でお分かりだらうが『致死武器』は憎武器バズーカ・デットではないため物には効かない。

今アーレイの前に居るのは更紗ではなく、更紗と寸分違わぬ人形、人ではなく物なのだ。人に作用する『致死武器』は通じない。

「？ よくわかりませんけどあなたの発は通じないみたいですね。好都合です」

余談だが更紗はめだかボックスは呼んでいたが志布志 飛沫に曰之影 空洞らがやられる所までしか呼んでいない。

更紗は相手の発が自身に通じないと分かり笑みを浮かべたがアーレイ達は焦つていた。

足が不自由に見える更紗が試験を突破していた時点で発が移動系と想定してはいたし、空を飛ぶと言うのも考えてはいたがアーレイ

の『致死武器』で殺せば問題ないと考えていたのだ。

この中に飛行能力を持つ者はいない。

空から地に攻撃する者と地から空に攻撃する者、どちらが有利かは当然前者だ。

また空の者が接近するものならいいが更紗は遠距離からの攻撃と人形を操ることによる人形の接近戦、確実にアーレイ達は不利だ。

「はじめましょう」

更紗は言つと多数の兵器を出した。

「発射」

言つと同時に太ももや肩から飛び出したミサイルや左腕からでたショットガンなどの銃火器を発射して始めたしばらくすると更紗は撃つをやめ、煙でふさがった視界が晴れるのを待つた。

視界が晴れるとそこには大きな薄いオレンジ色の八角形の壁があつた。

「A・T・ファイールド？」

「そうです」

先頭に立ち片腕を前に差し出していた少女の転生者レイが答えた。

（「そうです」って普通自分の能力を答えますか？ まあ得したんで良いですけど、いえ言わなくても発は使ってくれれば解析眼でだいたい能力の効果は分かるんですけど、先ほどのスカーデットといふものは円の中に居る生きた人間の古傷を開く能力、A・T・ファイールド？ は前面に強力なシールドを出すのみ、残るは三人、一人

は私を追跡していた能力の能力者、他二名は不明、

解析の結果スカーティットと言う発の能力者、まあ転生者AとしてAは傷を開く能力、円を広げる能力の一いつ、考えるにおそらく前者の能力は円内部でしか使えない。

A・T・フィールド?の能力者、Bは一いつ、その上方方は前面にしか出せない。ただそれゆえに強力先ほどの攻撃も完全に防がれた。また前面のみとはいえ大きさは後ろの者も守れるほど大きいですね。単純に強力な盾を出すだけゆえに変な機能がある者よりも防御が固い。

追跡してた能力者Cは雰囲気的に戦闘向けじゃない気がします。残りの二人D、Eは具現化系と放出系と言うことしか分からぬ。まあ分かりませんけど一人の発は効きませんから有利に変わりはありませんね。それに元々飛べる人間って少ないんですね)

更紗が解析の結果から敵について考えていると転生者組みの人間が動いた。

転生者Eことロイは前に出て手を更紗に向けるともはやビームに近い念弾を飛ばした。

更紗は危なげなく回避した。

(なるほどEの能力は単純に念弾を飛ばすだけの能力、しいてあげれば全身から念弾を飛ばせる能力、手で飛ばすのはその方がイメージやすいからでしょうか? まあ念弾がもはやビームなんですけど)

今さらの上づつでもいいことだが転生者Aことアーレイは赤髪赤目で転生者Bことレイはエヴァンゲリオンのコイ似、転生者Cことコウヤは黒髪黒眼、転生者Dことコウキは金髪碧眼、転生者Eことロイは金髪赤目で皆整った容姿だ。

まあ心底どうでもいいことだが、

(さてあれで吹き飛ばしますか、
・・・・・やつぱり得意分野で行きましょうか。あれをやるな
ら確実に消せる状況にしたいですし、
いや、あの子に任せましょ(う)

更紗は『人形師の蔵』を開いた。

『人形師の屋敷』は『人形師の蔵』と繋がっている。そのため『人形師の屋敷』よりも『人形師の蔵』の方が中の物を取り出すのがたやすいため『人形師の屋敷』から呼び出せるにも関わらず『人形師の蔵』から数字持ち（ナンバーズ）達を呼びだす。すると中から数字持ち（ナンバーズ）、ナンバー・フィーラのリングダが出てきた。

「あの5人の相手よろしく」
「了解！」

リングダは言うと超加速の翼を開き超高速で正面から転生者達に接近した。

転生者達はいきなり現れたリングダに驚いたもののすぐに対処の為動きだした。

しかし正面からの突撃にレイがATフィールドを張りうとした瞬間横から突撃するように進路を変え突撃してきた。

ロイもリングダに念弾を放つもすべて避けられついに接近を許してしまった。

「はっ」

接近しリングダが超振動光子剣「*chrysar*^{クリサオル}」を振りおろそうとした瞬間転生者達はその場から飛びのいたが、

え？

「がつ！？」

コウヤは左腕をアーレイは右腕を切り落とされた。

リングダは能力持ち（ホルダー・ドール）だ。その能力は未来視だ。そのためリングダには敵の攻撃があらかじめ分かりまた敵の避けるタ

ハミング 遊行方 遊行る場所共分かる
その上めりソダニ 戯う場所共分かる

しかし、その方法も未来が読めるため難しいのだが、

しかしリンダを見る更紗の日は何とも言えないものをしていた。

（リンダは他の数字持ち（ナンバーズ）とは違ひ死体をベースにしている。そのためいくら肉体をいじり強化しても限界がある。

私の技術はダイダロスに劣つてゐるとはいへそのうち再現不

まあそこは何か思いつくしかないが、私の技術は劣っているとはいえすべてではないし、動力ではエンジエロイドの動力炉とローザミステイ力などを合わせて作り出したオリジナルの動力炉は上回っていると確信しているし、

は〜、強化案は最低で2つ後の世界までに思いつかないと、たぶん技術自体ダイダロスに追いつかなくても今改良しているものだけは追いつく

最低だから途中で興味のある技術が出来れば延びるけど）

余談だがダイダロスの技術で使っているものは主にエンジニアードの技術だ。

更紗がそんなことを考えている間にもリングダ優位の一方的な戦闘は続いていた。

（ん？ 転生者Dの能力は刀を出すのか、効果は念を切れる。吸収できる、か。なかなか強いな、けど……）

「ウキが具現化した刀は樂々と超振動光子剣『クリサオル chrysaur』に切り捨てられてしまった。

（最後は私が終わらせますか、

あれの威力も試したいですし、ちょうどよく転生者Bも残つてゐるし）

『リングダ、敵を一か所に集めてください。その後退いてください』
『了解』

更紗が自らが作り出した通信方法でリングダに指示を出した。するとリングダは高速で動き敵を一か所に誘導した。

（なかなかの人たちでしたけど相手が悪かつたですね）

更紗は一か所に集められたぼろぼろの転生者を見ながら思つた。

「さて始めましょう

更紗が言つと更紗は右腕を前に突き出した。

「闇より置き絶望より射ゆし

更紗が突き出した右腕から火花のような光が放たれる。

「 其は、科学の罪に嘆く牙！」

そして光は矢形になり放たれた。

余談だがこれは魔力を放っているが魂が消費するなどはしない。ただ使用すれば腕が壊れるだけである。

「つー？『A・T・フィールド』……」

レイは更紗の攻撃を防ごうとしたが、

「う、うう」

矢形の魔力弾は防御を突き破り転生者達を呑み込んだ。

「人に向かって撃つたのは初めてですけど消し飛ばしますか、あの防御を貫いて、

しかし右腕一切動きません。分かってたことですけどせめて指は動ける程度には改造したいですね。

・・・・・ そういえばA・T・フィールドは浮いたり応用力が高かつたような？ つて、容量が足り無かつたか覚えてなかつたかで無理だつたんでしょうね

「うつわ～、消し飛んでるよ

「ご苦労様でした。リンダ」

「うん。じゃあ戻ってるね

「ええ」

更紗は言うと『屋敷の鍵』を回し『人形師の屋敷』の扉を現しりンダを『人形師の屋敷』に戻した。

「あつ、

・・・・・プレート忘れてた」

その後何とか6人を狩りプレートを手に入れた。
内一人は転生者だつた。

そうそうどうでもいい話ですけどそのうちの一人には原作でヒン
力に戦士として死にたいと訴えていた人もいた。

うん。信念とかは大事だよね。私は人形師、人形遣い。あの人は
戦士、多少共感を得たから望み通り戦いの中で殺してあげた。

さて最終試験の前の会長による質問です。

そうそう転生者は転生者どうし潰しあつたらしく残っているのは
主人公組入りしている転生者4人とそれ以外の転生者4人です。

あと

「まずなぜハンターになりたいと思つたんじゃ？」

「なぜでしょう？」

「いや、わしに聞かれても困るんじゃが」

「そうですね。暇つぶしとお金ですかね？」

まあ原作とは言えませんからね。

「では、この中で一番注目しているのは？」

「特には、しいてあげるなら『ゴンなる少年とその仲間達』

「最後に一番戦いたくないのは？」

「そうですね。特にないです」

「ほう。連れの二人はいいのかの?」

「その時はその時でしょう」

当たつたら私が棄権すればいいですし、

さてこれは修正力でしょうか?

トーナメントが始まりました。

ただそれの組み合わせが原作通り（たぶん） + その他組です。

ちなみにその他組は私VSマチ・・・（1）、シズクVS主人公
組入りA・・・（2）、主人公組入りBVS他A・・・（3）、主
人公組入りC VS 他B・・・（4）、主人公組DVS他C・・・（
5）、（1）敗者VS（2）敗者・・・（6）、（3）敗者VS（
4）・・・（7）、（5）敗者VS他D・・・（8）、（7）敗者
VS（8）・・・（9）、（9）敗者VS（6）・・・（10）敗
者です。

そして（10）の敗者ともうひとつブロックの敗者で終了です。

「退屈だつたね」

「つまんなかった」

「まあそう言わないでください」

ハンター試験が終わりました。

え？ 最終試験はつて？

それはすぐに終わりました。語ることが無いほどに、

まず私とマチはすぐに私が棄権、シズクは私が頼んでいたのすべに棄権、転生者達も試験失格は嫌だったらしくキルアのこともあり合格できるからか裏取引をしたのかそう熾烈な争いになることなく終わって行き原作通りキルアが原作通りおじさん（名前は忘れた）を殺し全員合格になり終わった。

ゴンは原作通りイルミにからんだが私達は無視して帰ったのです。

（さて次はクラピカを殺さないとね）

まあクラピカ殺すのは軽いから問題ないか、

「J都合が少々あります。

どうもウボオーを追っています。

原作通り+私でヨークシンシティのオークションで出される品の盗みをしようとしたんですけど原作通り失敗、それはすぐに私が思い出したと言った風にネオンの事を言つたので理由は分かつたという感じになりました。

そして今は原作通りウボオーがクラピカと戦いに行つたみたいなんで追いかけてる最中です。

ちなみに体はハンター試験で転生者達と戦つた時に使つた人形の体です。

本体は他の蜘蛛のメンバーと一緒に居ます。
人形を放つた理由はなんか無性に嫌な予感がするからと言つておきました。

それにしても今回は面倒ですね。

クラピカ以外のクルタの転生者3人全員が同じく行動してゐた

いです。

分かつた理由ですか？ ネオンに聞きました。

ネオンとは友人です。

私は念のこもつた死体やらを集めたりしてゐたのでその過程で知り合いました。
あの子は純粹？ なので、普通に「警備の人つてどんな人が居るの？ 何人ぐらい？」と聞いたら「警備の人はね～」と答えてくれました。

・・・・・ ああ私の良心が痛む、クラピカが死んだらネオンとこの父親のファミリーは原作通りネオンが念をクロロに奪われた

ら終わりそうだからその時は助けてあげよう。

うん、そうしよう。

つとウボオーが見えました。

(・・・・・えげつな)

思わず思つた。

(えへ、4人がかりで殴るとかどんだけですか？

クラピカはまだしも転生者はくるのを知つていたのに何もしなかつた。

あるいは何もできなかつたのにそれはハツ当たりでしょうに、
・・・・・ん？ けどウボオーはクルタ襲つたしハツ当たりじやない？

けど転生者は知つてたわけだし知りながら防げなかつた訳だしハツ当たり？

ハツ当たりではないだろ？けど転生者は先を知つてるわけだから微妙だな～、確実に親しい者を殺された怒りが混じつて殴つてるし、つて、クラピカが小指の鎖使つた。早く助けないとね）

私は上空からクラピカ一同に向かつて銃弾をお見舞いした。

クラピオ、クロエ、クロピカの3人は転生者だ。

3人とも気がついたら赤ん坊になつたことに気がついたときは「転生來た　！！」と思つたもののHUNTER×HUNTERのクルタ族だと気がつくと「終わった　！！」と思つたものだ。

しかし一度死んでみすみす殺されるのも嫌なため初めは逃げることを考えたがクルタ族は他との交流がほとんどない。

これがどこかの町が虐殺に会うならまだ逃げても希望があるかもしれないがクルタ族だと1人で助かってもその後金もなくどう生きて行けばいいかが分からぬどころか下手したらクルタ族とばれ緋の目を手に入れるために殺されるかもしないため却下になり自分以外にも転生者が居るかもしれないと思い動けるようになつたら探し始めることになった。

その結果見つかった転生者はクロエら3人を含めて9人、クルタ虐殺に関しては9人で話し合つたもの一番年上の者でもクラピカよりも7歳年上と言うだけで一族内の発言力はないに等しい。

そもそもその人物は言つつもり自体無かつた。

クルタ族の性質からして凄腕の盗賊が来るのが分かつていても逃げことはしないだろうと分かつていていたからだ。

話し合いの結果虐殺時は各人極力協力し合い1人でも多くの人間を助けると言うことになった。

虐殺後は結果から言つて生き残つた転生者は6人、3人は逃げ遅れたものと長く生きていたため友人、あるいは恋人を助けに生き殺されたのだ。

とは言うもののクルタ族は原作と違い少數ながら生き残つた。しかし原作通りクラピカは蜘蛛への復讐を誓い、生き残つた6人のうち3人はクラピカについていくことにしたのだ。

ぶつちやけ原作を見てみたかつただけの3人なのだが、他のものは残つたクルタ族と共にクルタ族として普通に生きることを選んだ。さて話はそれるがそんなついてきた3人だが一番恐れていたのは当然蜘蛛だ。

自分達はイレギュラーであるわけだしころつと殺されるかもしれないと恐れていたのだ。

しかし原作通り蜘蛛のウボオーギンはクラピカに拘束され身動き

が取れなかつた。

こうなると恐怖は消え自分達が恐れて生きなければならなかつた恨みとかがわきあがつてくるわけで3人は思いつきり殴つたりしていつのだが、

「 「 「 「 ！？」

突如銃弾が襲つた。

クラピカを含めた4人は当然銃弾を回避し、ウボオーギンの方を見るとウボオーギンの前には見覚えのある人物がいた。

「 ・・・ お前は

「 どうも」

クラピカが呟くと更紗はクラピカ達に挨拶するとウボオーギンに向き直つた。

「 派手にやられましたね」

「 つるせえ」

言つと更紗は鎖の死線を切り裂きウボオーギンの拘束を解いた、

「 中のも殺すんで纏などをしないで、
つまり防がないでくださいね」

言つと更紗は心臓に突き刺さつた鎖の死点をつき殺した。

それと同時に体内に入れた精神感応性金属で心臓に鎖が殺されたことで出来た穴をふさいだ。

「 終了」

「はえーな」

「細かいのは後でやります。

それまでは激しい行動は控えてください。

だから今日は帰つてください。

あなたの能力じゃ勝てませんよ。接近オンラインですし

言つとウボオーギンは去つて行つた。

(あれ? 反対すると思つたんですけど、

まあウボオーは馬鹿じやありませんから勝てない相手と分かって他の親しい? 人間がその人間を殺すと言えば譲りますよね?)

ウボーオーギンが去ると更紗はクラピカ達に向き直つた。

別にクラピ力達は更紗を持つていたわけではない。
ただウボオーギンを攻撃したら更紗に殺されると直感的に思いウ
ボオーギンを攻撃しなかつただけだ。

「…………お前も蜘蛛か？」

クラピカの問いに更紗はにつこりと笑いながら言つた。

「 もちろん、おまえの言ふ通りでいいんだよ。」

から情報を聞き出したい。

しかし私は話すつもりはない。やる」とせ細胞一緒に「
・・・・・なるほどな」

「それにもしてもクルタ族の生き残りが3人も、
・・・・ふふふ、いいこと思いつきました」

「いいこと、だと？」

「ええ、私最近は人形を作ることや操ることだけでなく人形劇にも
こりはじめまして、

なのでこんなシナリオはどうでしょう。

一族を虐殺された少年達は復讐の旅に出、ようやくその相手と対峙した。しかし相手が呼びだしたのは今は亡き同胞、はたして少年は亡き同胞を踏みにじり復讐を果たすことが出来るのか、それとも自身も死した一族の同胞と同じく殺されてしまうのか！

・・・・・ダメですね。65点です

「亡き同胞だと？」

「ええ、亡き同胞です」

更紗が言うと更紗の背後が赤く染まり、やがて黄金色となり辺りを薄く照らす。そしてその空間から波紋を浮かばせると同時に2つの人影が現れた。

「　　「　　「　　「　　「　　「　　「

その人影の姿を見るとクラピカから4人は驚愕した。

二つの人影の人物は片方は背の高い屈強そうな男と背の高さは普通の髪の毛の長い女だった。

それだけなら4人はそこまで驚かなかつただろうが問題は服装と目だ。

2人ともクルタ族の民族衣装を来ていてその目はクルタ族特有の緋の目だつたのだ。

「ああ、なんて悲劇なんでしょう。

復讐を誓つた4人の前に現れたのは人形になつた亡き同胞たち、

少年達はそれを粉碎して進むのかそれとも何もできず殺されるのか？

・・・・・ 55点

「貴様！」

「この人形は男女ともに名を『クルタ』を言いまして男の方は肉体を入れ替えておらず強化したのみ、

の方は優れたクルタ族の体を繋ぎ合わせた人形なんですよ」

「つなぎあわせた？

なら一族の死体に体が一分ない者がいたのは

「ええ、私が持ち去りました。

ふふふ、この『クルタ』は共に優れた個体ですけどあなたたちならそれ以上かもしれませんからその時は人形にして上げます」

「貴様　！！」

「アーッハツハツハツハゲホツゴホツ、む、むせた」

更紗の物言いにクラピカは激怒するが更紗は笑うだけだった。

・・・・・　むせ、涙目の為しまらなかつたが、

なおこの時完全に空気の転生者3人はどうしているかと言つともできないでいた。

3人は更紗が転生者だと当然気がついたが更紗の言つたことにより更紗を心底恐怖していた。

更紗は言った「の方は優れたクルタ族の体を繋ぎ合わせた人形なんですよ」と、それは殺しただけでなく死体を切り裂き繋ぎ合わせたということだ。

そんなことを同じ世界出身であるはずの更紗が出来ることに恐怖していたのだ。

3人が恐怖している間にも更紗の人形2体の『クルタ』は男はクラピカに女は転生者達に接近した。

「ちつ、やるぞ！」

一人の転生者が言つと転生者全員が戦闘態勢になった。

（さてと皆さん似た顔ですけどそれぞれ強化系、放出系、具現化系で皆違いますね。）

まあこの3人じゃ女の方の『クルタ』には勝てませんね）

更紗は男の『クルタ』はともかく女の方の『クルタ』には自身を持つている。

強化系のクラピオと具現化系のクロエが、クロエは盾を具現化し『クルタ』に接近した。

クロピカは両腕を光らせたかと思うと15つの光球を放つた。

クラピオが拳でクロエが盾で『クルタ』に殴りかかり、クロピカの放つた光球が『クロエ』に向かって飛んで行つた。

しかし『クルタ』は刀を具現化しクラピオの右腕を防ぎクロエを盾ごと殴り飛ばしクロピカの放つた光球を触れる瞬間一瞬体を光らせたかと思うと相殺した。

（ふふふ、『クルタ』は能力持ち（ホルダー・ドール）です。

能力持ち（ホルダー・ドール）は装備などではなく特殊な能力を持つた人形。

それにはいくつかのタイプがありますけど『クルタ』はその作製に使われた15人のクルタ族の内の7人の念能力を使うことが出来る。元々材料になつた人間の能力を引き継いだタイプ、

とはいってもクルタ族の人間の発は単純、中には発を作らないのもいますからそうすごいのはないですけどそれでも『クルタ』は強化系で肉体の強化×2と回復、具現化系で刀と剣と弓の具現化、放

出系で単純に念の放出が出来る。さらに緋の目によりすべての精度100パーセント+元々組み合わせものゆえ相性も全系統100%、しかも死者ゆえに死者の念による凶悪化、

そういう勝てませんよ。念以外の能力も一つ持つてますし）

更紗が考えている間も『クルタ』は転生者3人を圧倒していた。

『クルタ』の刀がクラピオを切り裂こうとし、それをクロエが盾で防ぎクロピカが光球を放つが当たる瞬間に体が光相殺する。ちなみに体が光るのは当たる瞬間に念を放出するからだ。

（発は強化系がただ純粹に肉体の強化で具現化が壊れない盾、放出が自在に操れる念の球か、

十中八九『クルタ』の勝ちですね。

転生者はオーラ量が多いですけど死者の念は強力ですから、あはは、間違いなく女の方の『クルタ』はこの世界で作った人形の中で最高傑作です）

更紗は口元に笑みを浮かべたまま突如3歩後退した。すると先ほどまで更紗が居た場所に男の方の『クルタ』が吹き飛んできた。

（あ～あ、やつぱりこれじゃムリか、

戦闘は初めはクラピカが死体でも一族の体を攻撃するのに躊躇していたから押してたんですけど転生者達がピンチになると生きてる仲間を助けるために攻撃を決意したら逆転されましたからね）

余談だが更紗は素で思考を複数に分割出来るが人形を操っている際にはそれに必要な分だけに分割できる。100必要なら100で1000必要なら1000にと、

ただし素で出来る分以外は人形に関しての時しか出来ない。

あくまでそれは人形師と人形遣いとしての才能がなせる技だから、

更紗は吹き飛ばされた人形の状態を見ると言つた。

「死んでいるとはいえ同じ一族の人間をここまで壊せるとは、
貴様に操られるよりはましだ」

「なるほど」

更紗は言つと吹き飛ばされた男の『クルタ』を立たせた。

「この男は私の知る限りクルタでは最強の猛者の方だつたんですけど人形への資質はあまりなかつたんですよ。
この男よりはあなたの方が資質がありそうですね。
だから、もう要りません。優れた個体とはいえ元から生前のように動くだけの失敗作ですし」

更紗は言つと男の首を切り落とし紺の目をえぐり出した。

「貴様ア！！
(えへ、自分で壊しておいて怒ります?
まあ好都合ですね)

クラピカが殴りかかってきたため更紗は上空に飛び避けた。

「かかつたな！」

言つとクラピカが隠で隠していた『束縛する中指の鎖』で更紗を束縛しようとした。

「はい。終わり」

鎖が更紗に触れた瞬間クラピカは吐血しながら倒れた。

「残念でした。

私はクルタ族の虐殺には参加してましたけど蜘蛛のメンバーじゃないんですよ。

あなたが蜘蛛以外に使わないことを制約にしないで一族を殺したもの以外に使わないあたりにしておけば結果は違つたかもしませんね」

（まあ捕まつても念能力で戦闘しない私には意味がないんですけどね。

あれ？ この制約つてなにが判断するんだろう？
クラピカではないですね。私を蜘蛛と思っていたわけですし、謎です。）

更紗はクラピカの亡きがらのそばに着地するとクラピカの亡きがらを抱き上げた。

「あはつ、資質が高いじゃないですか、女の方のつて、もう『クルタ』は一体ですね。

『クルタ』ほどじゃないですけどあの男よりは断然高い。
良い人形になりそうです」

更紗は満面の笑みを浮かべながら転生者の方を向いた。

「あなた達は、転生者にも興味はあつたんですけど、いいや。
終わらせて『クルタ』」

更紗が言つと『クルタ』は今まで以上の速度でクラピオを斬り殺した。

「「！」」

今まで接戦だったにも関わらずいきなり圧倒され始めたのだから残つた2人は混乱した。

(今まで肉体の強化は1つしか使ってなかつたんですよね)

『クルタ』は具現化した刀と剣をクロピカに投げつけたがそれをクロピカは光球で弾いたが今度は弓を具現化すると矢を放ち続けた。

「はあああーー！」

『クルタ』が矢を放ち続けている間にクロエが後ろから盾で殴りかかるうとするが、

「がつ」

『クルタ』の背から紅い何かが伸び盾が当たる前にクロエの四肢を貫いた。

「『クルタ』最後の特殊能力にして唯一材料になつた人間から引き継いだものではない能力『血』、

そうですね東方風に『自身の血を増加し自在に操る程度の能力』とでも名付けましょうか？

けど『血』の方がいいですかね？」

更紗が作りだしやオリジナルの技法、

それは人形に特異の能力を授ける。

ただし必ずしも能力が現れるとは限らないのだが、

人間の死体などを核にしたタイプ などの場合は材料にしたそれ
の資質による訳だし、

（しかも現れる能力はランダム、
ベースはローゼンの技術ですから人間を材料にした人形はさらに
現れにくく、現れなかつた場合最悪壊れますし、
・・・・・ 転生者だとオーラ量も多いですから以外と耐えられ
れるかもせんね。一応回収しておきましょ。

そう言えば転生者なのに『王の財宝』とか『無限の剣製』とかは
まだお目にかかりませんね。
さすがに無理なんでしょうかね。

・・・・・ そう言えば転生物のSSで神に『無限の剣製』を使
えるようにしてもらうのがありますけど固有結界は術者の心象風景
で現実世界を塗りつぶし、固有結界内部の世界そのものを変えてし
まう結界のことだったはず、

はて、これって神から固有結界系の能力を貰うと心象風景が変え
られるのでしょうか？

けど心象風景が変わつたら人格に影響が出るんじや？

神から貰うと大丈夫なんでしょうか？

・・・・・ 気になりますね。

今度神から能力を貰つた転生者で固有結果を貰つたのがいたら捕
まえて頭の中いじつてみましょ。

そのためには少なくとも頭の中の情報を抜き取る道具を作らない
と）

更紗はすでに殺した転生者達に興味を失いクラピカを『人形師の
蔵』にしまつとふと思いついた疑問に対してもう一度考へた。

この後転生者達を思い出し死体を回収しに行つたら資質が低いかつたため目を抉つて帰つたのは余談。

どうも今私は50人以上の転生者に囮まれています。

ちなみに他の場所では数字持ち（ナンバーズ）の皆が10人ぐら
いの転生者と戦つてる。

は〜、面倒ないつそのことこの島」と『judgement』の「
Apollo」で吹き飛ばしてしまいましょうか？

いえ、それでは予定が狂います。

は〜どうしてこんなことになつたんでしょうか。

てか50人つてこの島に居る保守派の人間殆どじゃないですか、

さて私はクラピカをサクッと殺した後グリードアイランドに来て
います。

ああそつそつヒソカは死にました。

理由は簡単。クロロと戦つて死んだ。それだけです。

しかし現在クロロは重傷です。

まあそんなことがあつたりしましたけど私は強奪という方法でグ
リードアイランドのゲーム機？を手に入れグリードアイランド、
転生者達には激闘の地と呼ばれる場所に入りました。

ちなみに激闘の地と呼ばれる理由は原作ブレイク派はハンター試
験ではなくここで介入する気の者、原作イベントが終わるまで待て
ない帰る派、それらを防ごうとする保守派すべてがここを田指すか
らです。

そつそつ現在はブレイク派が単独最下位状態ですよ。

まあ順位があるかどうかは知りませんけど一番人数が少ないです。

理由は簡単皆基本自分勝手だから、

次が帰る派、まあここは勝手に滅びるでしょう。

てかもうすでにブレイク派に負けかけているし、
理由はグリードアイランドのカードじゃあ帰れなかつたから、
まあ私からしたら別の世界に行く念を作るのは無理だと思うんですね。まずその世界を観測してさらに指定、そこから移動するわけでしょ？ 無理でしょどんだけ制約作るんですか、
そもそもグリードアイランドのカード担当が誰だか知りませんけど
まずその人間が他世界を想定してないと無理でしょ。

まあこの世界にいる転生者は私のように神に、まあ私は邪神なんですけど、転生させられた訳ではなく自然と転生したようですから
ありえないとは言い切れないんですけど、

そもそも帰つてどうするんですかね？

はつきりつて容姿からして違うでしょ、
違う世界から戻つてきたなんて言つても病院行きですよ。
たとえ信じてもらえても実験動物ですね。

おつと話がそれました。閑話休題。

カードで帰れなくなると帰る派は2つに分かれました。

1つ目が帰るのは無理と判断した人たち、

2つ目が帰るにはグリードアイランドの外でも使えるゲームクリア報酬のバインダーで使用したものなら帰れると考える人たち、
ハツキリ言つてありえなくはないんですけど信じたくないだけです
よね。帰れないつて、

まあそんな訳で1つ目の人間は平穏に生きる派か保守派に流れたため帰る派からいなくなり、

2つ目は使用するのが何に入れられるカードは3枚、

指定ポケットではないカードを持つていくには擬態で変え、聖騎士の首飾りでもどすという原作のゴンが取つた方法しかない（たぶん）ため人数が限られ単独行動が多くなつた。

そのため最後の保守派しか団体行動していないため保守派が一番幅を利かせている。

さてそんなグリードアイランドで邪神に約束されている私はすぐにでも帰ろうと思えば帰れるんですけどふと思つたんです。

バインダーとカードつて『人形師の蔵』に入れたら他の世界でも使えるの？ つて、

邪神に聞いたらクリア報酬のバインダーの二枚のみ使えるようにしてくれるとか、

と、言うわけで私はゲームクリアを目指します。

まあそうは言つてもやつていたことは単純なことなんですが、

それは失敗作の有効利用、

私の人形の中で戦闘用として作ったものの動きはするけど戦闘では使えない。失敗作があります。

それにリスクダイスを使わせカードを買わせる。

念には念を入れ、命令通りの行動をするように改造し私とのつながりを一切断ちそれを繰り返したと所大凶を当ててもその失敗作に被害が行き私にはないことが分かつたので繰り返させました。

カード集めですか？

残りはほら原作のゲンスルー？ まあボマーからいただきました。3人組だったので捕縛してカードよこせと言つたら始め渋つたので1人をを渋るたびに精神感応性金属を糸状にして刺して行つたらすぐしてくれました。

お礼にこの世界（グリードアイランドの外）のお金を上げました。もう宝石に変えたりするまでもなく他の世界に行くつもりですかね。いらないんです。

だいたい50億ぐらいでしたつけ？ 一応全部は宝石などに変えなかつたんですよね。

私儲かつてんですよ。殺戮人形は今やゾルディックと並ぶ世界最高峰の殺し屋で有名ですから。

さて閑話休題。

ボマー達から奪つたもの以外は主人公組を潰して足りない物を手に入れ終了。

最後のクイズはネオンにやつてもらいます。

ネオンですがネオンは原作通りクロロに能力を取られたためネオンの父親のファミリーは潰れました。

まあ原作でも父親はなんかダメになつてクラピカが指揮をとつてた氣がするのでしうが無いかもしないですね。

なので私は捕まりそうになつていたネオンを助けました。

まあ知らない人間なら氣にも留めないんですけどね。

ネオンはこの世界じゃ蜘蛛のメンバーを除いたら数人しかいない友人でしたから助けたんです。

そうそうネオンにクイズをやつてもううと言つのはネオンの新しい発です。

元々ネオンは念能力に關して知りませんでしたから教え訓練されました。

そしてネオンが作った発の内の1つが「10分の1=1」です。

効果は10分の1までの確立のものなら1として知ることが出来る。簡単に言えば10%までに絞れるものなら答えが分かると言つものですね。

ちなみに現在ネオンは性格が元とは少々違つてます。

ネオンの度重なる我が儘に切れたマチが調子ではなく教育したからです。

まあ偶にはわがままを言つんですけど我が儘を言つんですけど昔と比べたら可愛いものです。

閑話休題。

それが予定だつたんですけどね。

主人公組を潰しに行こうとしたら転生者の団体さんが2つ近づいてきたんですよ。

1つは保守派団体。

これは予想していますいから問題ありません。

もう1つがブレイク派およびクリアで帰ると信じてる帰れる派の残党団体。

たぶん私と言うブレイクしていくクリアを目前としている私を一時期協力して殺すつもりなんでしょうね。

ああブレイク派とか保守派とか分かる理由は知ってる顔がいるからです。

まあ戦つてるとこを盗み見ただけなんですけど、

そう言うわけで畠頭に戻ります。

（さてどうしましょう。

この人数の転生者ですと下手すると結構な数の人形が壊されちゃいますよね。

・・・・・あれを呼ぼう。

そう言えばあれを戦闘で使うの初めてですね。

ふふふ、楽しみ）

更紗の背後が赤く染まり、やがて黄金色となり辺りを薄く照らす。そしてその空間から波紋を浮かばせると同時に1つの人影が現れた。それは更紗と髪形以外殆ど同じ女性の人形だった。

「人形『S a r a s a』、知つてますか？」
人、この場合人形ですけど、強化ではなく何かを組み込む形の改造、異物を組み込むのは女性の方が例外を除けば圧倒的に適正が高いんですよ」

更紗は転生者達に言うが転生者達は困惑するだけだ。

それもそのままにきなり敵と殆ど同じ顔の女が現れたのだから、

「憶測ですけど女性は生まれながらに異物を宿す」ことが可能なのだからでしょ、

だつてそうでしょ？

女性は子供を産みます。

生む前には当然子供を孕む訳ですが、考えれば怖くないですか？ だつてお腹に子供がいる時点では女性には二つ命がその肉体の中にあるんですよ。

その上別の人間と言つ異物を中に宿しながら普通に生きてるんですよ？

まあそつ言つ器皿があると言わればそれまでなんですが、理由はそれ、子供と言つ異物を宿せるがゆえに異物を組み込むのも男性よりは高いと思つんですよ。

まあ憶測ですけどね。

結局女性の方が高いのは事実なので憶測などじつでもいいです。長々と悪かったですね。

ああ、何が言いたいかと言いますと私人形への適性が高いんですね。 知る限り最高です。

そこでふと思つたんですね。

私の死体を、しかも女の私の死体を人形にしたもののはどれほどのものになるんだろうと

（だからこの前の世界では転生する前に女性に転生して肉体が最高の時に傷つけず死にたいと邪神に頼んだところ「おもしろそうですね～」とやつてくれたのでその世界では女として生まれて23歳の時死んだんですよね。

まあ両親には悪いことしましたね）

余談だがその時女性に生まれたがゆえに邪神に殺される前から男に襲われかけることが多々あり苦手になつてゐるのに今までより多

く男から欲情の視線を受け苦手意識を増してしまつたりしたのだが、

「結果最高にして一分の例外を除けば最強の戦闘力を有した人形が出来ました。

ああ何を言つていたのか理解できませんよね。

気にしなくていいですよ。

でも理解できずとも誇つてくださつて構いませんよ？

」の『Sarasa』の初の実戦戦闘の相手になれるんですから」

更紗が言い右腕を上げると『Sarasa』は動き出した。

『Sarasa』は三種類計6翼の翼を展開した。

それは一番上の一对の翼は一見光で出来た翼で、真ん中の翼は薄青紫色の翼、一番下の翼は白い機械の翼だつた。

『Sarasa』はさらに2本の長さの違う刀 超振動光子双刀「シヨーストリイ」を展開し転生者の集団に高速で飛びながら向かつて行つた。

さらに向かつている最中に機械の翼 「Artemis a」の風切り羽の代わりになつているビットを発射した。

機械の翼「Artemis ala」、

それは片翼に永久追尾空対空弾「Artemis」を元にした6つのビット兵器「Artemisビット」を両翼計12搭載した翼だ。

ビットは突き刺さり、切り裂き、エネルギーを発射するという攻撃方法がとれる。

転生者達は高速移動する『Sarasa』に切り裂かれ、あるいはArtemisビットに殺された。

もちろん転生者達も黙つてやられている訳ではない。

「食らえ」

あるものは念弾を放つが、

「『Sanctus』展開」

『Sarasa』^{サラサ}が言うと念弾を水色の壁が防いだ。

守護領域「Sanctus」^{サンクトウス}、

それは絶対防御圏「aegis」^{イエジス}を元にした防御兵器、ただし他の更紗が作ったaegisより僅かに劣るがaegisと違い範囲は変わらないが球体状ではなく範囲なら好きな形で展開出来る。さらにスヴェートアーラaiiaを粒子状にして散布しそれと合成すると

防御力がます。

異能の翼「aiia」^{スヴェートアーラ}、

三対の翼の一一番上の一对の翼で無数の小さい粒子で構成されている。そのため分解し再構成することで様々な形にすることが出来る。異能の翼から分かる通りこれは装備ではなく能力だ。

ただし『Sarasa』^{サラサ}に発現した能力ではない。

接近した際の攻撃は「（ショーストルイ）」で防ぎまた切り裂く、

それと同時に「Artemisビット」が敵を殺す。

遠距離からのあるいは（ショーストルイ）で防げない攻撃はSanctusで防ぐ、これだけで転生者は半数に減つていた。

「あは、アーハツハツハツハツハツハツゲホツゴツ、ま、またむせ

た。

すばらしいです。流石最高傑作！」

（けど相手が弱いですね。

これでも8ある装備能力の内戦闘では3つしか使ってないんですけど、

まあ全部が戦闘用と言つわけではありますんし、

けど最大はやろうと思えば現時点では19なんですけどね～）

自分の作りだした一撃の火力以外では下手したらロスト・ドール以上の性能を誇る人形を見ながら更紗は思った。

（ん？）

更紗が飽き始めると一瞬真ん中の翼が光ると転生者が苦しみだいした。

（・・・・よし、人間にもちゃんと聞くみたいだね。

能力はちゃんと検証しないと自分で作った装備と違つて分からない所があるからね。

特に変質した「E k l i p s e a l a」は

混沌の翼「E k l i p s e a l a」^{エクリプセアーラ}、

三対の翼の真ん中の薄青紫色の一対の翼。

元々はステルス機能とジャミング機能の付いた装備だったが『S
a r a s a』に発現した何らかの異能が混ざり変質し、ステルス機能と自身にアクセスしてきた主のもの以外のものを防ぐ効果と逆に侵食しそれを支配することが可能となつた。

（おそらく操作系で何らかの条件がそろつたから操作しようとした
ら防がれ逆に侵食されて支配される前にやめてもの浸食はされたた

め激痛で苦しんでるってところかな？

・・・・・ それにしてもうつとうじいな

今回更紗は人形の体で来たのではなく生身だ。
つまり片足に障害があるため杖をついている。

当然更紗を狙つてくる転生者もいるのだがそれは防御特化で作られたタイプの ^{イージス} *ae gis* で攻撃を完全に防いでいるのだがうつとうしいことに変わりはない。

（私も動いて潰しましようか？

転生者も『*Sarasa*』^{サラサ}に通用する発はないみたいでし、
それに向こうも終わりみたいでし）

更紗が10人ほどの転生者と数字持ち（ナンバーズ）が戦つての方を見ると巨大な青い火柱が空に向かって燃え盛っていた。

（向こうのほうが保守派相手に生き残った精銳の分質は高いから少し心配してたんですけど問題なさそうですね。
早くこちらも終わらせますか）

「『*Judgment*』^{ジャッジメント}」

更紗が言うと背後の人形が現れそれが光になると更紗を包んだ。
光が消えると薄い桃色の翼を生やし、腕や足に白と桃色の装甲を
そして頭にゴーグルをつけ、周囲に8つのビットを浮かせた更紗が現れた。

「『*Sarasa*』^{サラサ}」

更紗が言うと『*Sarasa*』^{サラサ}は戦闘を中断し更紗のそばまで後

退した。

「田標捕捉「Artemis」発射」

更紗が言つと翼からエネルギー状になつた羽がArtemis^{アルテミス}が無数に発射された。

当然避けるもの発などで防ぐものもいたが避けたものは避けた方に追つてきたArtemis^{アルテミス}により殺され、

防いだものは数発は防げても何発もあたり防御が破壊され死んだ。

「田標全滅確認」

「言つとほぼ同時に数字持ち（ナンバーズ）がやつてきた。

「ああやつぱり問題なかつたみたいですね。

水銀燈が大技を放つたみたいですから少し心配してたんですよ」「それはお姉さまが弱いくせにしぶとい敵にしごれを切らしただけ

ですからマスター」

雪華綺薔薇が答えると水銀燈、

「しようがないじゃない。お父様、

雑魚のくせにしぶとくて目ざわりだつたんだもの」

「まあ無事ならどう倒そうが別にいいんですけど」

「それにも『judgement』も『Sarasa』も凄まじ

いわね~」

「まあ『judgement』はやれりと思えばこの島を余裕で吹き飛ばせるんですけどね」

（さて、余計な邪魔は入りましたけどこれ以上邪魔が入ることはないでしょ~）

「じゃあ主人公達の所に行きましょうか

さて結果から言つて勝ちましたそしてカードを貰いました。

簡単でしたよ。主人公組入りの転生者達は私と転生者達の殺し合いを見ていたらしく勝負する気は初めから無かつたですし、キルアは殺気を向けたら震えて動けないですし、ビスケット？ビスケは実力差が分かるので降参、

面倒だったのは主人公のゴンでしたけどゴンは適当に痛みつけた後捕獲用のタイプで捕獲しました。

攻撃して逃げようとしたけど使った捕獲用のタイプの機能は唯一自分の正面に *aegis* を展開できる唯それだけですけどそれはつまり *aegis* 内に囚われると言つことなので脱出は出来なかつたんですよ。

これ人形作るのが以外と大変だつたんですよ。

元々 *aegis* は発動したものを基点に球体状で展開するんでそれを自分の正面に展開出来るようにするので人形の機能をすべて持つてかれましたし、

まあ増やそうと思えば行けるんですけどあくまで捕獲用ですからね。話がそれましたね。閑話休題。

そんな訳でゴンは捕獲、それ以外は降参と言つことで望んだカードを手に入れました。

さて最後のクイズな訳ですが、

「では、ネオンお願いします」

「はい」

まあクイズの結果は言つまでもなく発で全問正解のネオンがカードを貰い。それを私が貰い。クリア特典を貰いに行きました。そこでも別に私はゴンでもないのでクリア特典を貰い終わりました。

短いです。
本当に短いです。

「じゃあこれでいいか

私はクリア特典のバインダーに入れるカードを決めた。

少々悩んだがとりあえず当たり前と言えば当たり前の「大天使の息吹」、

まあこれは使えますからね。かなり、
だつてどんな重傷でも治るんですよ。

・・・・・あれ？

私は死んでも人形に移れるんだから意味がない？
うん。私には一応意味がないともいえる。

いえ、マチやシズク、そしてネオンのように親しくなる人間もい
るんですから必要です。

2つ目は「ブルー・プラネット」、

だつて綺麗ですし、綺麗なものはいいです。

3つ目は「リスクーダイス」か「聖騎士の首飾り」かで悩んだん
ですけど「リスクーダイス」にしました。

理由は邪神に「大天使の息吹」「リスクーダイス」「聖騎士の首
飾り」は有効か聞いたところ、

「大天使の息吹」「リスクーダイス」は効果、効力は変わらない
が「聖騎士の首飾り」は効果は変わらないがすべての呪いを跳ね返
すのは世界によつては不可能との事だったのでやめました。

「リスクーダイス」ならグリードアイランドで使つた手を使えば
色々出来ますし、

お金を稼ぐとか、お金を稼ぐとか、・・・・・一緒にですね。

そんな訳で私が選んだのは「大天使の息吹」「ブルー・プラネット」「リスクーダイス」です。

とりあえずそろそろ世界を飛びますかね。

そうそう次の世界にはマチとシズクは前からついてくると言つてましたけどネオンも行く場所ないからとついてくることになります。

ひつして私はグリードアイランドをクリアし賞品を持ってHUNTER×HUNTERの世界を去つた。

邪神の元に戻ると少ししてTYPE-MOONの世界に今度はトリップではなく転生した。

ひつして物語はTYPE-MOON編へと至る。

これ書いてふと思いついた。
インフィニット・ストラatosのSSで主人公がエンジニアード（感情がない無人兵器設定）を作れる天才で特殊なIS（武装がエンジニアード）使つて設定のそらのおとしものとのクロスものっていいんじゃないと、

さて前回の世界HUNTER×HUNTERの世界を語り終わつた所で現在の私の目的などを再確認しておこうと思います。まず最も早く来る原作空の境界、

ここでは蒼崎 橙子と知り合いになることと玄霧 皇月の確保、荒耶宗蓮は、いいや、

蒼崎 橙子とは人形について話し合いたいですし、玄霧 皇月はその頭から統一言語について引き出したいですし、

本当は両儀 式も確保したいんだけど蒼崎 橙子とは敵対しないですし、「 」と繋がっている以上死にそうになつたら反則技が、みたいなこともありえなくはないですから諦めます。まあ空の境界はこんなところですね。

次が月姫、
ここでは遠野 志貴と真祖の姫君と遠野 秋葉の確保、代行者はどうしましょ。

あれは魂のラベルによる矛盾を世界が許さないだけですし、けどポテンシャルは優れてるんですよね。

うん、保留です。

直死の魔眼を宿した肉体に真祖の肉体、紅赤朱の肉体、うん。欲しいです。

これは手段はルートによりますね。

手段と言つても予定ですけど、

月姫は漫画とアニメの知識しかないんですけどネットとかである程度知識がありますから、

真祖の姫君のルートの時は特に何もせず待つて殺人鬼となつた彼

に真祖の姫君を人形の体に意識を写して目覚めさせると言い対価に自身にも人形となつて貰いその上でその肉体と真祖の姫君の肉体を貰うと言い人形で目覚めさせるのが成功すればくれるでしょう。

行う際に魔術的な契約も結んどけば万全ですし、

この時はその後遠野 秋葉を殺せばいいわけですし、

もしも妹の遠野 秋葉ルートなら確か遠野 志貴は秋葉の能力で

生きていいる訳ですからその影響で寿命が半分でしたよね？

そこをついて人形になれば一人で末永く幸せになれると言えば人形になりたいと言うでしょう。

まあ普通に殺してもいいんですけど、

その時対価に肉体を貰い真祖の姫君はその後確保、
・・・・・面倒ですね。どう確保しましょう。

代行者の場合は知識がありません。

確か最後は相撲ちでしたつけ？

いや違つたような？

まあこの時は普通に殺して確保しましょう。

これも真祖の姫君は苦労しますね。

最後に双子の妹の翡翠ルートは、

また知識がありませんね。

手段は代行者と同じですね。

また真祖の姫君が面倒です。

あとリメイクではさつきルートがあるとか、

これは前知識があるわけないですね。

あ、彼女も確保したいですね。

追加つと、

・・・・・うん。

真祖の姫君ルートがいいですね。

え？ 双子の姉の方琥珀ルートですか？

あの子は私側の人間です。

そう確かあればいつでしたつけ？

私は七夜の肉体も狙つてたんですけど逃げたり制圧したり制圧後の処理だつたりしてたら壊滅の噂を耳にしたんで遠野の当主、名前は忘れました、

まあ遠野の当主に嫌がらせ（悪夢を見せるなど）を日本の観光のついでに行つたらなんと犯されてたんですよ。

あの時は引きましたね。

見た目は幼女だけど実年齢は違うではなく実年齢も幼い幼女を犯してるのを見たら、うん。普通に引きました。

その後とりあえず当主と言う名の変態をばれないように気を失わせ幼女時の琥珀の話を聞き変態にも理由があつたならしじょうがないと思つたけど私は思つたんですよ。

この子使えるんじやない？ と、

そこですかさず取引をしてみました。

内容は私はあなたが犯されなくともいいようにするその代わりあなたは来たる時私に協力する。と、

琥珀はすぐさまで承、

その後はとりあえず次の日の夜までに琥珀に似たような体型の人形の顔を琥珀の顔に変え琥珀が暴行を受けているときに代わりにするように言い。

あ、あと人形は普段部屋の隅に置いておけばばれないような処理をし、琥珀にも認識妨害用の道具を渡して（人形が相手している間隠れているために）、

その後琥珀とまったく同じ人形を作り上げそれを琥珀の命令を聞くようにし、

さらにその人形とバスがつながると琥珀ともバスがつながるようになしたのを渡したんですよ。

その後は1年置きに人形を変えるためにあつてたんですよ。

いや、一応ね。暴行を受けなくなるわけですから当主が死んだら私に協力しないんじやない？

とかそもそも当主殺さなくなるんじやないのかな？ と思つてたん

で
す
け
ど、

な
ぜ
か
私
に
依
存
し
ま
し
た。

ま、まあ裏切られないんですからいいとしま
りますよ。

け
ど
私
が
計
画
(
秋
葉
と
志
貴
を
殺
す
)
を
話
し
た
ら
笑
顔
で
紅
茶
に
毒
を
盛
り
ま
し
よ
う
か?
と
言
つ
て
き
た
と
き
は
さ
す
が
に
悪
寒
が
走
り
ま
し
た
け
ど、

け
ど
遠
野
志
貴
と
遠
野
秋
葉
を
殺
す
に
は
こ
の
手
段
も
あ
り
で
す
よ
ね。
話
が
そ
れ
ま
し
た
ね。
閑
話
休
題。

ま
あ
そ
ん
な
訳
で
琥
珀
ル
ー
ト
は
と
り
あ
え
ず
『
氣
』
に
し
な
く
て
い
い
ん
で
す。
月
姫
は
こ
ん
な
と
こ
ろ
で
す
ね。

・
・
・
・
・
琥
珀
に
そ
れ
と
なく
真
祖
の
姫
君
ル
ー
ト
へ
行
く
よ
う
誘
導
し
て
も
ら
い
ま
し
よ
う。

よ
う
は
志
貴
が
真
祖
の
姫
君
を
選
べ
ば
い
い
ん
で
す。
あ
と
は
修
正
力
が
何
と
か
し
て
く
れ
ま
す。

そ
し
て
F
a
t
e
/
s
t
a
y
n
i
g
h
t
,

こ
れ
が
一
番
肝
心
で
す。

私
は
サ
ー
ヴ
ア
ン
ト
ド
ー
ル
を
作
ろ
う
と
思
つ
て
い
る
ん
で
す。

サ
ー
ヴ
ア
ン
ト
ド
ー
ル
は
簡
単
に
言
え
ば
英
靈
の
情
報
,
あ
る
い
は
魂
を
人
形
に
組
み
込
み
戦
闘
時
の
み
そ
の
人
形
を
核
に
英
靈
を
受
肉
さ
せ
か
つ
人
形
と
し
て
使
役
出
来
る
と
言
う
人
形
で
す。

・
・
・
・
・
お
そ
ら
く
こ
れ
は
出
来
ます。

た
だ
聖
杯
と
大
聖
杯
の
両
方
を
調
べ
な
い
と
き
つ
い
で
し
ょ
う。

だ
か
ら
私
は
ど
の
ル
ー
ト
で
も
イ
リ
ヤ
ス
フ
ィ
ー
ル
確
保
,

つ
い
で
に
天
の
ド
レ
ス
も
貰
い
ま
し
よ
う。

あ
と
ア
イ
ン
ツ
ベ
ル
ン
の
ホ
ム
ン
ク
ル
ス
の
技
術
も、

そ
れ
以
外
で
は
士
郎
の
中
に
あ
る
ア
ヴ
ア
ロ
ン
を
い
た
だ
こ
う
と
思
つ
て
い
る
ぐ
ら
い
な
ん
で
F
a
t
e
/
s
t
a
y
n
i
g
h
t
で
は
ど
の
ル
ー
ト
で
も
問
題
な
い
で
す
ね。

・
・
・
・
・
い
え
桜
ル
ー
ト
だ
と
厄
介
で
す
ね。

ま
あ
私
は
F
a
t
e
/
s
t
a
y
n
i
g
h
t
は
セ
イ
バ
ー
と
凜
が
ヒ
ロ

インのルートしか知識が無いんで桜ルートはネットなどで知った知識だけなんすけどかなり少ないんですよね。

知つてるのは桜が黒聖杯でサーヴァントが黒化するぐらいですしそれらは置いておきましょ。

まず士郎は凛でも人質にとりあなたの持つてある物をくれるなら助けてあげる。と言えばくれそうですし、

イリヤスフィールの確保、これも問題ないでしょ。

セイバールートならバー・サー・カーが消えるときにでも横からかっさらい。

凛ルートならギルガメッシュが襲撃する時にでも助ければいいです、

桜ルートなら・・・・・どつしましょ?

いつそのこと桜を殺しておきましょ?

そうそうサー・ヴァントドールが作れると思つ自信は2つ、

1つ目は自身の人形技術、

2つ目はスワツティス家、

スワツティス家は歴史が古い。

すくなくとも1800年ほど前とアインツベルンの約倍、すくなくともの理由は歴史が長いから、

魔術などは迫害される。

代償的な例が魔女狩り、

つまりスワツティス家は歴史が長いがため迫害されたことも多々

あつたらしい、

そのため各地を転々としたこともあつたとか、

それ以外にも長いため起きた不測の事態などもある。

酷い時は魔術刻印は受け継げたもの先代に魔術をすべて習う前に

先代がなくなり魔術を書物からほぼ独自に会得した者もいたとか、

つまりそんなことがあるぐらいだから一族の歴史を記した本なんて時折逃げる際に魔術書とかを優先して持ち出せないものを焼き払うとき持ち出せなかつたものに含まれていたり、

まあその後書きなおすんだが徐々に昔のことはあやふやになつて行く
ちなみに最長だと普通に紀元前に存在したことになつてる。

いや魔術刻印に飛行魔術が刻まれているから絶対にないともいえ
ない。

まあそんな一族ゆえか生きのこつたために色々な方面の魔術に手を
出している。

しかし本業は召喚術や交霊術系だ。

サーヴァントの召喚だつて出来なくもない。

・・・・・たぶん、

そして時折思うスワッティス家は邪神が私の為に生みだしたので
はないか？ と、

だつてこんなでたらめの一族普通原作で話ぐらい出でてもおか
しく無いじやん。

まあ考へても仕方がないです。

てかよくこんな一族の当主を封印指定しましたよね。

幼いから舐められたんですね。

やつぱし時計塔滅ぼしましょつか？

いえ、面倒ですね。

まあこんな所が現在の目的ですね。

あ、後バゼットは助けましょつ。

4日間？ の、なんでしたつけ？ ほ、ホロウ？ は知識がこれ
またないし面倒そうですから、

うん。これが現在の目的ですね。

今藤乃が中学生ですからもう少しで空の境界の原作が開始です。

藤乃は強いですよ。

魔眼も強力になつてますし、透視能力も使えますし多少なら魔術
も使えますから、

最後にどうでもいいですけど封印指定解除後家の事を色々知つて
から財産管理専用の人形を作り出しました。

専用と言つても必要な知識を詰め込みまくりそれを活かせる思考

と思考速度を持った人形ですけど、

長く生きていても別に私は会社の社長だつたとかそう書いた経験はないでお金を稼ぐだけならともかくそれを使ってさらりと財産を増やすなんてこと出来ないですから、

まあほおつておいても多少は時計塔から入るんですけど、
・・・・・本当に滅ばしてさしあげましょうか？

時計塔所属の魔術師アボロンが全員時計塔に集めても宝石の爺と青の魔法使いが居なければ「APOLLO」で地図から消せますからね。
まあしないんですけどね。

早く原作始まりませんかね。

特にFate/stay night、早くサーヴァントドールの
作成をしたいです。

・・・・・あつ、メルブラを忘れてました。
けど私これに関しては知識がないんですよね。
P2のはやつた記憶はあるんですけど、
そもそもキャラでシナリオが違つたよつた、
・・・・・放置ですね。

君子危つきに近寄らず、または触らぬ神に祟りなし、
目的が無いのに接触する必要はないですね。

ともかくFate、Fate/stay nightです。これが
一番重要です。

準備は入念にしておきましょ。

短いです。

ちくちく、

「出来たー！」

ネコアルクー！

・・・・・何やつてるんだろう私

完成したばかりの普通のぬいぐるみのネコアルクをとりあえず枕元に置くとため息をついた。

ここ最近は人形を作り、魔術の研究をし、『Sarasa』の調整などをし、人形を作り、魔術の研究をし、死徒の体で人形を作り、『Sarasa』の調整などをし、『Sarasa』の調整などをし少々疲れていたので普通のぬいぐるみを作つて気分転換してたんです。

・・・・・『Sarasa』の調整などが多いな、

けど『Sarasa』は本当に最高なんですよね。

戦闘能力は1度での破壊力以外では優るかもしれませんしね。

けどまだDoll nodusとRegisterが未知数なんですね。

どこまでのスキルや能力を得てどこまでのスキルや能力を登録出来るのか、

・・・・・おそらくはすべて、

すべてであれば予定通りサーヴァントドールを作成できれば英靈ものも得ることが出来る。

その時宝具も能力扱いだと良いな、

あ、得ると言つても元の人形がそれを使えなくなるようなことはありません。

つまりすべてならいすれ『Sarasa』は最強になる。いや上手く行けばこの世界で最強になれる。まあこれはえれないものが出来るまですべてと考えておきましょう。そんなことを考えていると部屋に並べられている宝石の一つが光つた。

「この宝石は、

・・・・・藤乃ですね」

光った宝石は藤乃との連絡用なんです。

『「久しぶり、ヒトリモビではりませんか。』

『「ここにちは藤乃」』

『「そうですね。』

『「それと今日は夜です」』

『「そうですか、』

『「それで用件は？」』

『「はい。』

それが最近妖精騒ぎおきまして、

妖精もみましたから間違いないと思します』

(原作ですね)

『「出したら誰かを送り込みますね。』

・・・・・いえ私が行きます』

『「サラサさんがですか？」』

『「はい。少々用もありますから」』

(蒼崎 橙子と話をつけたいですから自分で行くべきでしょ)

『「では藤乃是それまでに調べておきましょつか？」』

『「いいいです。』

この件には関わらないでください。

今回の件はおそらく玄霧 皐月という人物が関わっています。

玄霧 皐月の統一言語は厄介ですから』

『「分かりました」』

そうですか原作は始まつてましたか、
早く行かなくては、といつても『人形師の屋敷』の登録してある
ドアの1つは日本ですからすぐに行けるんですけど、
それにも上手く行けば空の境界での目的はもつすぐに達成で
きるんですよね。

うん。がんばりましょう。

どうも現在礼園女学園に来て います。

「分かりました 許可します」

「ありがとう」 れこまく

「いえ、やはり保護者としては異国の地に娘を一人置いて いる以上 その学園がどのようなものなのか気になるでしょう」

「ええ、まあ私と藤乃は兄弟のようなものなんですが 私は普段 ギリスかロシアに居てなかなか日本にはこれませんから」

どうも今は学園内見学の許可を貰いました。

その後は冬休みと重つことでその後は藤乃を連れて帰ることになるんですけどすでに学園に両儀式がいることは確認していますのでその接触が目的ですから玄霧 皐月の確保は使い魔などで両儀式が動けばわかりますからその時動くつもりです。

「では、失礼します」

「あら藤乃じゃない」

む、思つたよりも早く会えましたね。

「黒桐さんこんばんは」

「そつちの人は?」

「私の保護者のサラサさんです」

「保護者つて」

まあ不自然ですよね。

年齢は私の方が少し上ですけど見た目は同じぐらいですから、

「はじめまして私はサラサ・スマッシュティスと申します。

藤乃とはあまり年齢が変わりませんが少々わけありで保護責任者をしています」

訳ありと言えば聞いてくる人は殆どいませんからね。

「あ、私は黒桐 鮮花です。

でこつちが

「両儀 式だ」

「そうですか、

ではあまり時間もありませんので失礼します」

私と藤乃は会釈をすると2人と別れた。

「サラサさん。

先ほどの両儀 式と言つ人が直死の魔眼を持っている人ですか?」
「ええそうですよ」

「・・・もしも私が戦つたらどうちが勝ちますか？」

「・・・・おそらく歪曲の魔眼の使用を7回以内で仕留められるかどうかで勝率が変わりますね。」

7回を超えてからでは藤乃の勝率は3割程度でしょうか、

まあ周囲の被害を考えなければ7、8割でしょうか？」

「そうですか」

「では校内も回りましたしへアも登録しましたから瞬時にこれますから行きましょうか」

「はい。」

可愛がつてくださいね」

「・・・・・ん？」

「おお、始まりましたか、

ふふふ遂に統一言語が手に入るかも」

2日経ちました。

遂に両儀 式が動いたみたいです。

「・・・・・どうしたんですか？」

「あれ起しちゃいましたか？ すいませんね。」

両儀 式が動き出したみたいなんで行つて来ますね

「私も行きましょうか？」

「大丈夫です」

「分かりました」

私は服を着ると登録しておいた礼園文学園内にある扉へと扉を繋

げ扉を開いた。

「どうでもいいんですけど藤乃も裸です。

何をしていたかは御想像にお任せします。

「なつ

さて現在は『judgment』^{ジャッジメント}を装備して上空から両儀 式と
玄霧 皐月を見ています。

「さてと近づくとめんどりですから手つ取り早くArtemis^{アルテミス}で
終わらせますか」

余談ですが私は魔術師の家系に生まれましたから魔術師として
のプライドとかもあるんで魔術師と闘つさいは魔術師として戦つた
りはします。

まあ魔術師の前に人形師で人形遣いですからそこまで気にしませ
んけど、

「『Artemis^{アルテミス}発射』」

両儀 式は驚愕の声を上げた。

それはそうだろういきなり対峙していた玄霧 皐月の胸を何かが

貫いたのだから、

そして玄霧 皐月が人の切れた操り人形のように倒れるとそのままにサラサが降り立つた。

「夜分遅くに出歩くと危ないですよ両儀さん」

「・・・お前は確かサラサ・スワットイースだったか」

「はいそうです」

「魔術師か」

「はい。

とはいっても私がようがあるはこの死体だけですので失礼をせで
いただきます」

言つとサラサは玄霧 皐月の遺体を『人形師の蔵』に入れた。

「それでは御機嫌よう。

そうそう近々蒼崎 橙子の元へ行きますのでそこでお会いしまし
ょう。

では

そう言い残すとサラサは鍵を回し扉を出すとそこに入り消えた。

「・・・なんだったんだ?」

「きなりの出来」とに黙然としていた式はサラサが消えて数秒立
つとそう呟いた。

「ふふふ玄霧 皐月の死体を入手しました。

後は蒼崎 橙子と接触すれば空の境界での目的は終わります」

なんだこの状況は？

「なあ黒桐あの2人の話理解出来るか？」

「じめん式僕にもさっぱり、

鮮花は？」

「すいません兄さん私にも何が何だか」

今日の前には橙子とこの前あつたサラサ・sworthテイスが笑いながら会話している。

内容は人形について、

可愛らしい内容に聞こえるが実際は違う。

さつきまで人形の内臓部分について話し合っていた。

サラサ・sworthテイスはまたお会いしましようと言つた通り会いに来た。

3日前に手紙をよこすという気づかいまでして、

そして私はサラサ・sworthテイスを警戒していた橙子曰くサラサ・sworthテイスは8歳の時の橙子と同じ三原色の中の1つである「黄」を得て10歳の時に史上最年少でこれまた橙子と同じ封印指定の魔術師になつたにも関わらず12歳の時に時計塔を制圧する形で脅して封印指定を解除させた橙子曰く今世紀最も才に恵まれた魔術師、そんな訳で警戒していたんだがサラサ・sworthテイスはにこやかにお土産でケーキを持ってやつてくると橙子と人形の話をし始めた。橙子も初めは胡散臭そうにしていたのに途中からなんか紙とペンを取り出した2人でなんか書き始めたし、

「いやかに会話をしていたかと思えば、いきなり口論になつたり、口論になつたと思えばまたにこやかに会話をしるし本当に何が何だか理解できない。

そしてなんかサラサ・スワットディスは満足したのか返つて行つた。
なんか肌がつやつやしてた気がする。
ついでに橙子も、

橙子はここまで語りあえる奴がいるとはと呟いていた。

なんとも充実した時間でした。

いまだかつてあそこまで語り合えた人はいません。
今回も新しい人形の機構理論が出来ましたし、
また話しあう約束もしましたしああ本当に良い日でした。

惨劇、あるいは悲劇それは唐突に誰もが予期せず起じるもの。これもそんな1つの出来事、

サラサが日本の別邸で橙子と人形について語り合つて居ると唐突に青子がやつてきてしまつて起きた惨劇、

他人の屋敷であろうがなんであろうが場所なぞ蒼崎の姉妹は氣にもせず殺し合いを始める。

それは青の魔法使いにして破壊の魔術師と赤の魔術師にして人形師による地上で最も危険で過激な姉妹喧嘩、
あわてて結界をはる黄の魔術師にして人形師にして人形遣いにして魔法使い。

しかし努力の甲斐なく結界は破れ崩壊していく屋敷、

そしてついに被害は工房にまでおよび工房が壊滅したことで遂に切れる黄の魔術師にして人形師にして人形遣いにして魔法使いは禁句を口にする。

呼ばれた言葉は「いい加減にしないと殺しますよ痛んだ赤に青々が」、

そして始まる時計塔から三原色の称号をそれぞれ授かりし者たちによる三つ巴の戦い、

「……………酷い夢です」

しかし夢落すで心底よかつた。

さてといきなりですが月姫は終わりました。
だつてやること無いんですよ。

普通に真祖の姫ルートでしたから真祖と直死の肉体の確保は殺人鬼が有名になつて自身で探れる手立てが無くなつた時が狙い目なんです。

あ、そろそろ『塚』さつきの肉体は確保しました。

ふふふ、すばらしいスペックです。

できれば固有結界の使える人形にしたいですね。能力持ち（ホルダー・ドール）にしようとして成功すればできるでしょうか？
まあ確実じやないんでもだいじつてないんですね。

「よひしいんですかサラサ様秋葉様をまだ生かしておいて

魔術による遠距離会話で琥珀が聞いてきたので答えます。

「構いません。

遠野 志貴は近々真祖の姫の為だけに生きるようになります。
その時交渉する際にこちらには手出しできなくさせます。
あとは私に何かしたら人形が壊れるとでも言つておきましょ
「では私は今まで通り仕えていますね」
「ええ、頼みます」

私が答えると通信が切れました。

「さてと人形の戦闘テストのために死徒でも狩りに行きますかね」

それにしても戦闘用の人形のテストが面倒ですね。

HUNTER×HUNTERの世界では楽だったんですけどね。

・・・・・え？ なんで楽だったかつて？

ヒソカです。

ヒソカと戦わせるんです。ヒソカも喜んで引き受けてくれました

よ。

アンケート

どうもです。

サラサのさらなるチート化（人形によるものではない）についてのアンケートです。

私は唐突に思いつきました。

第1魔法「無の否定」：その名の通り無を否定する魔法、

例：死者が蘇る可能性は通常は無であるのでそれを否定し有にしてその人物が死んだことを無かつたことにして蘇らせる。

例：自身の魔力が尽き無になつた時それを否定し有であるとし魔力が尽きたことを無かつたことにして魔力を生み出す。

「無を生み出す」というやつに関しては一応無を否定して無かつたことにするからその無が無いという無を生み出してるって無理やりしてみたんですけど他に思いついたら追加します。

ついでにもうひとつパターンがありましてキリスト教か聖書かどこかからにあつたと思つたものから無からの創造です。

例：無であることを否定して無から何かを創造する

私はこれを思いついた時思いました。

これいけるんじゃない？ と

そのためサラサにこれを使えるようにするかのアンケートです。

2つを分けるのが面倒なので両方合わせて「無の否定」とします。

まあ最初のは無からの創造の方で合わせると消えちゃうんですけど、

一応無からの創造で人形の何かを生み出したりはします。

1、すでに魔法使えるし、いらない。

2、覚えても問題ない。

上の2つからお選びください。

なおサラサが使わないとなると邪神に最も近き者は世界を廻る（
タイトルは仮です）のアビスが型月の世界に行つた時使えるようにな
る可能性が高いのでむしろアビスに使わせたいと言つ方は1にい
れてください。

アンケートが少なかつたり無い場合はその時の作者の気分で決まります。

締め切りは7月31日までです。

どうぞよろしくお願いします。

さてこの世で最も優れた燃料はなんだらうか？

ハツキリ言つて私は知らない。

なんせ転生を繰り返しても人型ロボットが戦つてる元々私が居た世界主觀で科学が発達している世界に行つたわけでもなく、今後の為にと色々な方面の勉強をしたわけでもなく、

していたことと言えば人形関係の一言に尽きます。

もつとも途中で念が入り、まあこれはすぐに限界に氣づき殆どやめましたが、

今は魔術があるが人形が1番であることに変わりはありません。話がずれましたね。閑話休題。

そのため私は科学方面では答えられない。

では神秘、魔術方面では？

マナ？ 否、血肉？ 否、答えは魂、

さてまた話がずれますが私の魔術の力量はどれくらいのものか、ハツキリ言つて私は使える魔術のほとんどが魔術師の中でトップクラスに位置している。

才能も異常と言つていい、念は逆の方向で異常でしたけど、

さてでは私は各分野でトップに立てているかと言つとそうではない。

まず人形、これはこの世界のものでと限定すれば私は蒼崎 橙子と互角が僅かに上でしう、

次に私の起源の関係もあり得意の破壊の魔術、これは他から見れば異常だが蒼崎 青子には及ばない。

他の魔術だつてゼルレッチと比べれば大抵しただろう。あれなん

てチート、あれですがなんたらルビーと同じく平行世界の自分の技術をダウンロードしてるんですかね？

辛うじてゼルレッチを上回りトップに立つてる可能性があるのが召喚魔術や交霊術系と投影魔術、

いや召喚魔術や交霊術系は上回つていいでしょう。

しかし確実とは言えない。まあ抜かれてたら泣きますけどねスワッティス家の長き歴史が、と

ただ1つ確実に上回つてているものがあるそれは魂の扱い。

召喚術や交霊術系も魂関連と言うこともあり得意だったのが第三魔法に至り向上されたのか、かなり上がった。

これだけは間違いなくトップだろう。

さてさらに話がずれますが私は人の死体を元に人形を作つたりしているがはたしてそれはどこから調達しているのか、

答えはこの世界ではほぼ調達しておらずほぼストックのみ、

この世界の魔術師は人を殺してはいけないなどと言つ考えは殆どないが一般人をバンバン殺している訳ではない。やりすぎると時計塔が五月蠅い。

そのため私は死徒を狩つてその死体以外はHUNTER×HUNTERの世界でストックしておいた死体を使つています。

元々死体を使うのを本格的にやり始めたのもHUNTER×HUNTERの世界からですし、それ以前はスキルで近くで人が死ぬと分かるのでその現場に急行し回収したものをつかつたぐらいです。

そんな訳でHUNTER×HUNTERを旅立つ前にストックした死体があるわけですが、これは今後の世界で人を殺しすぎると面倒になる世界の場合の為にストックしたもので仮死状態にしている者も多い。

しかし思いついたのがグリードアイランド前ぎりぎりなのであまり選別せずストックし、私は死体がメインと言つわけでなくいまさらにあまりよく無いため処分しようかと思うものが多々あつたんです。けど思つたんです。完全な死体で無いため肉体に魂が定着してい

る。そしてそれは処分しようと思つてゐる。何かの実験代にして失敗して壊れても問題ないと、

そして私はそれと同時に鋼の鍊金術師の内容を唐突に思い出しました。

そして考えました賢者の石できないだらうか？

いえ、けしてあんなものを望んでいるのではなく魔力を私に供給するものにならないかと、

実験の結果成功しました。

魂を凝縮した魔力炉、賢者の石が、

賢者の石と言つても魔力を生み出すだけですけど、

ちなみに賢者の石の作製に使用されたのは70人分の魂、内20人分は実験段階で消失、つまり賢者の石は50人分の魂を凝縮させた物体。

余談ですが賢者の石の作製には第三魔法を応用し使用したので作れるのは第三魔法を使える者だけでしょう、ついでに鋼の鍊金術師の賢者の石のようにリバウンドなどは無い。魔力を生み出すだけですし、

さてこれで最初の内容に戻るわけですが魂は優れた燃料になるため魂を凝縮した賢者の石は当然膨大な魔力を生み出す。

うん。すばらしいです賢者の石、

さてなぜ私が賢者の石を作ろうと思ったのか、けして先ほど述べた処分しようと思い思ついたからだけではありません。

元々異常な魔力量を誇る私はまああつた方が良いことは良いですが基本的に魔力が尽きたことがあります。

何をするにも自分の魔力で殆ど事足りますし、処分だつて適性が低くとも使い捨ての人形とかに使い道はありました。

そんな中で賢者の石にすることを選んだのは現在私の左手の甲に刻まれている令呪が原因です。

邪神曰く私に令呪は聖杯戦争開始1年前に現れるようにしたとのことなのであと猶予が1年となりました。

本来私は聖杯戦争に置いてサーヴァントを3体呼び出すプランを考えていました。

それは令呪の分裂です。

分裂といつても本来3回の命令権を酷使する令呪をそれぞれ分け、つまり1つの令呪で命令3回なのを1つの令呪で命令1回にし、それを3つにするつもりでした。そこに召喚魔術などでは一応基礎である呼び出した術者を傷つけられないという呪いを刻むつもりでした。

しかし本物を見て気が変わりました。
ぶつちやけ複製できます。

とはいえて私も聖杯の補助が無く英靈の召喚はきつい、
なら聖杯のルール内で組み変えたらどうだろつか？

サーヴァントはルール上7騎、

なら私一人でその7騎を完結させたら？ と思つたんです。
はつきり言つて私でも完全に大聖杯への介入は不可能でしょう。

たしかギルガメッシュですら賞賛したぐらいですから、

しかしサーヴァントシステムは私の得意分野が目白押しです。
できるかどうかはもつと研究しないといけないですが今の段階では5割の確率で成功します。

ただ成功したとしてもいくら異常な魔力量を誇る私でも7騎のサーヴァントを維持し、戦闘させ、さらに宝具なんか使われたら魔力が尽きます。

どうしようかと思っていたところ唐突に思いついた余っていた死体（仮死状態）達を使って賢者の石にするという案を採用したんですね。

まあそんな訳で現在はサーヴァントシステムと聖杯システムについて研究中です。

まあ召喚系の下地は始まりの御三家よりの方が上なので行けそうです。あれもありますし、解析眼ありますし、

サーヴァントドール作製のためには少しでも多くのサーヴァント

がサンプルとして手元に欲しいんで少しの無理はしますが、あ、サンプルと言つてもばらしたりはしませんよ。じつくり時間をかけて解析したいだけです。

「 そうですか、分かりましたありがとうございます」

言つと私は通信を切つた。

先ほどまで話していた相手は琥珀です。

遠野 志貴の様子を来たんですが現在は落ち込んでいるのに無理しているやつです。

(殺人鬼として行動するまでもつ少しかかりますかね?)

とすると殺人鬼こと遠野 志貴と交渉する前に聖杯戦争ですかね。サーヴァントドールの為に頑張りましょう。あと聖杯システムへの干渉も、

(そのためにはあれの調整ももつ少し必要ですね)

私はそう判断すると工房に向かつた。

「さてさて第五次聖杯戦争は本当にどうなるんでしょうね」

サー・ヴァントを七騎召喚しようとしていた最低度も三騎召喚は確実な私、アンリ・マユによつて汚れ歪んだ大聖杯、AINZ・ベルンの聖杯とは別のマキリの黒聖杯、

「そして私の人形聖杯」

私の目の前にはイリヤスフィール・フォン・AINZ・ベルンの母にして衛宮切嗣の妻アイリスフィール・フォン・AINZ・ベルンとまったく同じ姿をした人形があつた。

これが私がほんの少し第四次に介入した結果、内容は誰にもばれずアイリスフィールを観察し解析してまったく同じ人形を作り上げただけ、

うん、最近邪神からもつた解析眼が一番チートな気がしてきた。だつて解析だけでも時間をかければいいんだもん全く同じ人形を作るための情報が、

「三つの聖杯か、

マキリのは早々に破壊したいですね。

小聖杯は一時的に英靈の魂をためますからぜひ手元に欲しいんですね。

マキリのだと汚れそうですし、てか汚れますね」

まあイリヤスフィールと間桐 桜が取引に応じてくれたら聖杯としての機能を壊せば残つた聖杯である私の聖杯に流れ込んできますよね。

「さてさて色々やることがありますし早速始めますか

サラサのサーヴァントが七騎になるかもフラグはF a t e / complete material IV Extra material を買いそこで出てきたジャック・ザ・リッパーとフランケンシュタインが気に入ったので立ててみました。人造人間だからフランケンシュタインはサラサと相性よさそうですし、七騎になるかは未定です。

以下おまけです。

サラサがサーヴァントになつた場合のステータス、

【クラス】キャスター、ドールマスター（イレギュラークラス）

【真名】サラサ・スワッティス

【性別】男

【身長・体重】160cm 46kg

【属性】中立・中庸

【筋力】	E	【魔力】	A
【耐久】	E	【幸運】	B
【俊敏】	D	【宝具】	EX

【クラス別能力】

- ・陣地作製：A
- ・ドールマスターとして呼び出された際はBランクに低下、
- ・道具作製：A
- ・人形作製：EX
- ドールマスターのクラスで呼び出された際のみ、

【保有スキル】

- ・魔術：A
- ・魔眼：A + +
- A + + は解析眼だが他の魔眼も一応ある。
- ・糸操術：A +
- ドールマスターとして呼び出された際の実、
- ・人形操術：EX
- ドールマスターとして呼び出された際の実、

【宝具】

- ・直死の魔眼：EX
- ・人形師の蔵：E ↴ EX
- ドールマスターとして呼び出された場合のみ、サラサが作った全
が入っている。

・第三魔法：EX

キヤスターのクラスとして呼び出された場合のみ、使用すると魔
力、耐久がEXとなり単独行動スキルがEXでつきマスターを必要
としない。

・第一魔法：EX（未定）

キャラスターとして呼び出された場合のみ、7月31日の結果では

消える。

- ・ : EX

未登場の為伏字、

「は？」

私は現在スワッティス家本邸の地下倉庫で休んでいます。

スワッティス家は複数の別邸と本邸がありますが本邸は敷地が山一つ分です。ちなみに日本の別邸は私が勝つたものです。

あ、本邸は城です。

お金ですか？ 元々あつたものに+して私が作つた人形が株とかで儲けてます。

私の人形の技術の内には明らかにオーバーテクノロジーのコンピューターの作製方法とかありますからね。そらのおとしものエンジニアードのAIとか、まあそれでハッキングして情報を集めたり計算したりとかして稼いでくれてます。金を稼ぐためだけに生まれた人形・・・・なんか嫌ですね。

話がずれましたね。閑話休題。

スワッティス家本邸には地下がありますの中でも特別な場所が複数ありますたとえば儀式場や地下倉庫、

地下倉庫は長い歴史を誇るスワッティスが集めた品々が保管されている。

まあ何度も失つたりしたんですけどそれでも大量にあります。普通に宝具級のものとか転がっていますし、

そんな訳でこの地下倉庫普通の人間は当然のこと並の魔術師では発狂してしまうと言う一種の魔境になっています。

ちなみに本邸は敷地内に様々な魔術的な防衛機能があり、本邸内には魔術的以外に科学的なものまでありますが、地下には私や本邸

を構えてからの歴代当主が呼び出した魔物などが防衛しますので地下の最も奥にある地下倉庫への侵入は死徒²⁷祖クラスでもきついと言ふか殆ど無理です。

まあ中には出来そうなのが居ますけど、

そんな場所に私がいるのは聖杯戦争に呼ぶサーヴァントを決めようかと思つたからです。

まあここが静かに考え方するのにはてきしていふと申すものあるんですね。

最近と言うかこの世界に来てから思つんです。

私一番は人形師と人形遣いですけど魔術師も会うんですよね~と、または話がそれまた閑話休題。

サーヴァントは一応⁷騎決めますけど無理だつた場合はその中から3騎に絞ればいいわけですし、

さてそんな訳でサーヴァントですが本来呼び出そうと思つたのはあきらめました。

そのサーヴァントの名前はガウェイン、F a t e / E X T R A で出てきましたからステータスが高いのは保証済みでマスターに従うのも保証済みで呼び出したかつたんですけど、ほら今度の聖杯戦争はアーサー王でてくるじゃないですか、聖杯戦争のマスターに従うのか生前の王に従うのか、たとえマスター従つたとして生前の自身の王を迷わず切れのかと言う不安要素が会つたんでやめました。ちなみに呼び出せると思ったのはガウェインの鞘の一部なるものがあつたからです。

ガウェインをやめたため決まつたのは赤セイバーことネロ・クラウディウス・カエサル・アウグストゥス・ゲルマニクスです。

基礎ステータスはF a t e / E X T R A ではプレイヤー次第ですから分かりませんが対魔力はセイバーのクラスなのに低いんですけど皇帝特權EXでしたつけ? は魅力ですから、ちなみに触媒はネロ・クラウディウスが使つたとされる杯です。

次がキヤス狐こと玉藻の前です。赤セイバーと同じく基礎スペッ

クは不明ですけど呪術EXは魅力的です。もしかしたら悪霊として呼び出すかもせんけどスペックが上がりますから儲けものでしょ。触媒は毛です・・・・・毛つてなんでしょう毛つてよく回収出来ましたね。そもそもこれ本物でしょうか？

次はジャック・ザ・リッパーです。捕まらず姿が見られなかつた殺人鬼ですからアサシンとして召喚すればいいのになるでしょう。
・・・・・あれ？ ジャック・ザ・リッパーは英霊になつたんでしょうか？ ・・・・・なつてたらしいな、てか無理な気がしてきました。触媒はジャック・ザ・リッパーのナイフです。・・・・・どうやつて特定したんですかこれも、和が先祖よ、。

次が、第四次聖杯戦争でも呼ばれたデイルムッド・オディナ、あの忠義が良いです。聖杯戦争に参加したのも聖杯が欲しいと言うのではないのも+ですね。宝具も良いですしね。触媒は鎧の欠片です。次が呂布、ステータスは高いでしょう。裏切りさんですけどそこはバーサーカーとして呼ぶか令呪で縛るか呼び出したのち狂化を追加して理性を奪います。触媒は使用していた武器です。なんかありました。

残りの「騎はなんかあつた」の一部と思われるものと私が作つた人形で人形とつながりのあるのを呼び出そうと思います。

「まあこんなところですね。

セイバーにネロ・クラウディウス、キャスターに玉藻の前、アサシンにジャック・ザ・リッパー、ランサーにデイルムッド・オディナ、ライダーかバーサーカーに呂布、アーチャーになにか、ライダーかバーサーカーにこれまた何かで優先はセイバー、キャスター、その次がアサシンかランサー、バーサーカーのどれかですかね」

私はサーヴァントに関して考えるのはひとまずやめここに来たもうひとつ的目的を果たすこととした。

それに伴い私はこの世界に来てから作り出したタイプの人形を

呼び出した。

この人形は今から行うことの為だけに生み出された人形、そして私の代ではもう使うことのない人形、その役割は魔術刻印の移植、刻印の移植は負担をかけるため複数回に分けて行う。

私はこれで最後になる。つまりようやくスワッティスの全てを本当の意味で継承したことになるわけです。

「これでようやく私がスワッティスの眞の意味での継承者、感慨深いものがありますね」

さてさて準備と探究を続けましょう。

あ、そうで宝石の爺が聖杯戦争にからんでましたね。なにか話を聞いてみましょうか？

「ミスりました」

サーヴァント召喚、

実際に行いました。

七騎を呼び出そうとしたんですがミスしました。
いくつもありますけど順を追つて説明していくと、
まず七騎のサーヴァントを呼ぶ儀式が七体のサーヴァントを呼ぶ
儀式に変動しました。

これによつてクラスが別のサーヴァントが呼ばれず重複する可能
性がでました。現に私の元にバーサーカーとキャスター 2騎来まし
た。

次に触媒があいまいで呼び出せたのは1体のみ、弓はただのすごい弓だつたみたいです。

まあ説明も面倒なので呼び出したサーヴァントを紹介しましょう。
まずクラス：セイバー、真名：ネロ・クラウディウス、
次がクラス：アサシン、真名：ジャック・ザ・リッパー、
3騎目がクラス：ランサー、真名：ディルムッド・オディナ、
4騎目がクラス：バーサーカー、真名：呂布、
5騎目がクラス：キャスター、真名：玉藻の前、
ここまで予想通りです。思ったことはあれ本当に九尾の毛だつ
たんだとジャック・ザ・リッパーつて女の子だつたんですね程度で
す。

残りの2騎士は予想外でした。

まずクラス：バーサーカー、真名：フランケンシュタイン、

かの有名なフランケンシュタインが生み出した人造生命体です。この子の意思はある程度分かります。バーサーカーですけど私的にはフランケンシュタインの創られ方での人造生命体のカテゴリーが人形だからでしょうか？

最後はクラス・キャスター、真名：ナーサリー・ライム、あれ？ 童話じゃない？ と思いましたがゲームをやった時にも考えたのでまた考えるのはやめました。ちなみに触媒は魔法陣の外にあつた童話の本と思われます。私は童話からライトノベル、文学書まで本なら何でも好きなんですよ。

けど外にあつたはずなんですけどね。以上が私の七体のサーヴァントです。

結構豪華な面々ですね。

あ、呼び方ですけどキャスターとバーサーカーはかぶるのでフランケンシュタインをフラン、ナーサリー・ライムをさらさと呼ぶことにしました。

あ、さらさは私と同じ容姿でしたよ。

・・・・・なぜか女でしたけど、

呼び方は原作から取りましたけど私が更紗かサラサなのでさらさです。

ややこしくなつたら原作のアリスの姿になつてもらつてアリスと呼びます。

そうそう全員の聖杯戦争への参加の理由はまずセイバーが私の純粋かつ強い願いに引かれたからだそうです。だから聖杯に興味が無いとか、

純粹で強い願い、間違いなく神の人形を創りたい。死の無い完璧な人形が創りたい。すばらしい人形を作りたい。美しい人形を作りたいとかですね。

キャスターは良妻になりに來たとか、

・・・・・保留ですね。あとセイバーと同じく聖杯には興味が

無いとか、

ランサーは騎士として忠義を貫きたいらしい。

いいですねそう言う一途な願いは好きです。そういうランサーもまた聖杯には興味が無いとか、

アサシンはよくわかりませんけど家族が欲しいんですかね？

とりあえず私をおかあさんと呼ぶのはやめるように言いました。

いくら女性に見えても私は男性です。なんか聖杯にはあまり興味が無いようです。

ランサーは私が伴侶に欲しいそうです。

・・・・・あれですかね？ 人形師、人形遣いと言うのは人形に好かれる者なんですかね？ 聖杯は一応私のそばに入れれば言いそうなのでもういらないそうです。

さらさはよくわかりませんが自分の居場所と幸せが欲しいく本物になりたいそうです

居場所が欲しいなら私のそばに居ればいいんです。だつて私がサーヴァントを逃がすわけがないでしょ？ 本物になりたいならサーヴァントドールが完成したらそれを元に人形として個にして上げます。

そういうたら聖杯はいらないと言われました。

バーサーカーはランサーのように入形ではないので何考てるか分かりません。

・・・・・私のサーヴァント聖杯に興味内のばつか！

まあ好都合です。

ではではサーヴァントも手に入つたことですし、

今度は聖杯の調整をしないといけませんね。

アンケートの結果ですが、結果第一 魔法を覚えさせることになりました。

アンケートの「協力ありがと」になりました。

サーヴァントのステータスですが基本的にはもとのやつを魔力だけランクを上げる予定です。
けど赤セイバーとキャス狐はどうしましょん。

白、否色がない。

現在サラサは色がない空間を漂つて居た。
その空間にサラサは覚えが会つた。

「…………説明は貰えますか？ 邪神？」

「当然ですよ」

サラサが言つと目の前によくわからない美しい神殿と邪神が現れた。

「私は根源に再度到達したと思ったんですけどね」

「安心してくださいそれは確かです」

サラサが根源にたどり着いた方法は目の前にいる邪神から貰えられた技術の中の魂に関係するものとスワッティス家の魔術を組み合わせ応用すると言う方法だがそれは当然サラサ独自の方法でスワッティス家は別の方法での到達をしようとしてきた。

それは召喚と送還を利用したもの、

根源は基本的に到達した瞬間にその魔術師はあちら側に行つて世界から消失し、この世界には帰つてこない。

つまりあちら側のものは根源と繋がりがあると考えられる。

ならあちら側のものを召喚し、送還する時に自身もそれに乗れば根源に近づけるのでは？ と考えたのだ。

サラサはそれに最近になり玄霧 皐月の頭から得ることに成功した根源の門である統一言語を加え実行し成功した。

もつとも統一言語に関しては根源の門としての役割以外では元々の資質の問題が魔術が使えるにも関わらず出来ることは玄霧 皐月とあまり変わらなかつたが、

「それが分かれば十分です。
で、なんの用ですか？」

「もう少しいろんな話しましょうよ。久しごりなんですし。まあいいんですけど、

用件はあなたにあたらしい能力をさしあげます」

「・・・・・ なんで？」

「そうですね。余裕が出来たからです。

あ、質問は最後にしてくださいね。

まず転生者の特典ですがそうですね転生者をパソコン、特典をUSBメモリに入つたデータだと思つてください。

まず転生者の空き容量が1000GBとしてその転生者が500GBと相当の特典を頼むとパソコンにUSBが取り付けられデータを移すことが出来ます。

ただしこの際に転生者と能力の相性などによつては同じ特典でも転生者Aは200、転生者Bは500などになつたりします。

容量が満タンになつたらUSBメモリをさしつぱなしにするしかありませんが当然接続口の数には限りがありますのでその時点で終了です。

また特典によつてはUSBメモリ複数に分けられている場合がありますので接続口一か所につき一つの特典とは行きません。

ああ、元々1つはすでに特別なUSBメモリがさしてあるためその転生者が転生後自身で培つた物は普通に残ると考えてください結構です。

で、貰つた特典のデータは場合によつては、まあ完全に自分の中にした時などですけど、圧縮することが出来たりして空きが出来たり、パソコンをカスタムして最大容量が増えたりもするんですよ。

で、あなたはだいぶ前にデータを圧縮していたんですけど、空きが出来たら新たな能力を授けるなんで規則も何もないんでほおっておいたんですけど、このたびパソコンの最大容量も増えたので気まぐれで特典を授けに来たんですよ。

感謝してくれていいですよ?」

「わーありがとうござります」

邪神がちらりと自身を見ながら言つてきたのに対しサラサは無表情で答えた。

「もうすこし反応してくれてもいいじゃないですか、
で、何が欲しいですか? ああ、無理なのは無理と言いますから
(欲しいもの、か)
・・・・・思いつかない)

サラサが今最も欲しいものと言つたら神とまったく同じ人形を作る技術と死の無い完璧な人形を作る技術だがそれは自身が自力でたどり着くのに意味があるため願おうとは思わない。

サラサは自身が欲しいものを考え方語などの中からも探した。

(・・・・・とりあえず6つ浮かびましたけど2つは無理ですね。
たぶん、
4つ全部もきつこでしようから3つに減らしましょ(つ)

「・・・・・決まりました」

「なんですか?」

「まず魂の保護」

「内容は?」

「魂を斬る、破壊するなどと言つた魂にななるものから魂を守る
能力」

サラサが魂の保護を選んだ理由は人形に転生できるため不老不死
といつてもよく第三魔法により完全な不老不死になれるサラサの唯一
といつても良い死亡条件が魂の損傷だからだ。

もつとも第三魔法で完全な不老不死になればその可能性も皆無といつてもいいほどに消えるのだが、

「分かりました。まだいけますよ」

「機巧少女は傷つかないの人形遣いの技術と人形師の知識と人形を作
るのに必要なもの」

「分かりました。必要なものは『人形師の蔵』に入れておきますね
それにも人形系への適性は凄まじいですね。化け物ですか？」

「一種の神ですか？」

「さあ？」

サラサが機巧少女は傷つかないの人形遣いの技術と人形師の知識と人形を作るのに必要なものを選んだ理由はサラサが機巧少女は傷つかないと似た人形を作ることはでき、イブの心臓は元々似たようなことが出来たので他を代用で問題なかつたのだが機巧少女は傷つかないの人形のような魔術回路が出来なかつたのと作品で神を作ることを目的にするなどがあつたためこの技術を極めれば機巧少女は傷つかない世界の基準の神を作れるかもしれないと思ったのだ。

もつともサラサの創りたい神は作品の中の神ではなく現在サラサの目の前にいる邪神のような神を作りたいため機巧少女は傷つかない世界の基準の神では目的は達成できないのだがそれでも目的の神を作る方法を生み出すための足がかりぐらいになればと思ったのだ。

「で、まだ行けますよ」

「では、アラクニードの蜘蛛の技術」

「分かりました」

サラサがアラクニードの蜘蛛の技術を選んだ理由は自身の戦闘能力に関する。

サラサの戦闘能力はかなり高いが1つづつ取り除いていくと極端に下がる。

まず人形が使えない戦闘力は半分以下になり魔術も使えないれば殆ど無いようなものだ。

そして今後そんな条件での戦闘や魔術などが使えない世界に行くことが無いとも限らない。

もちろん曲弦糸などによるものがあるので普通の魔術師などから考えればかなり高いが更紗の元の戦闘力から考えれば低い、そのため底上げしようと思い自身と相性がいいだらうアラクニードの蜘蛛の技術にしたのだ。

なにより指一本しか動かない状況で蜘蛛の糸を操り全身を糸で操るほどの蜘蛛の糸を操る技術は魅力的なのだ。

まあサラサも元から対象が自身でなく人形なら楽にでき自身の肉体が対象でも出来ないこともないのだが。

「まだ、たとえるなら接続口一か所分空いてますよ」

「いえ、遠慮しておきます。

あと思いついたのはそれでは無理でしちゃうから

「そうですか、

まあまた貴方が特典を得られるようになつて気が向いたら上げます

「ありがとうございます」

「では、を下えます」

邪神が手をサラサに向けるとサラサの身体が光に包まれた。すると頭に激痛が走った。

「つまだですか！？」

「まあ前ほどじゃないんで大丈夫ですよ。

さて貴方は戻つたら人類史上初の2つの魔法を使う魔法使いですよ」

「やつですか」

「さよなら」

「さよなら」

別れの言葉を言つとカラサはこの空間から消えた

サーヴァント設定(10月3日微変更)（前書き）

ネロと玉藻のステータスはだいたいこんなものだろ?とこうので決めました。

また自動発動スキルは保有スキルにしてありネロは黄金率・皇帝特権と皇帝特権を同じものとしました。

EXTRAキャラ、Apocryphaキャラの宝具のランクはオリジナルです。

EXTRAは身長体重、属性は思いつかなったので載せていません。

宝具のランク、身長体重などにご意見のある場合はお願いします。公式設定があるなら教えていただきたいです。

またすべてのサーヴァントが魔力のみ1ランク上がっています。

サーヴァント設定（10月3日微変更）

【クラス】セイバー

【真名】ネロ・クラウディウス・カエサル・アウグストゥス・ゲル
マニクス

【性別】女

【身長・体重】

【属性】

【筋力】B

【魔力】

【耐久】B

【幸運】

【俊敏】B

【宝具】

A C B

【クラス別能力】

【保有スキル】

- ・黄金率・皇帝特權：EX
- ・頭痛持ち：B

【宝具】

- ・招き湯アエストラス・ドムス・アウレアつ黄金劇場アエストラス・ドムス・アウレア・A +

【クラス】 キャスター

【真名】 玉藻の前

【性別】 女

【身長・体重】

【属性】

【筋力】	D	D	【魔力】
【耐久】	D	D	【幸運】
【俊敏】	C	C	【宝具】

A C A
+ +

【クラス別能力】

- ・陣地作製：C
- ・道具作製：A

【保有スキル】

- ・呪術：EX
- ・变化：A
- ・魂息吹：C

【宝具】

・水天日光天照八野鎮石：A

【クラス】 ランサー

【真名】 ディルムツド・オディナ

【性別】 男

【身長・体重】 184cm 85kg

【属性】 秩序・中庸

【筋力】 B 【魔力】 C

【耐久】 C 【幸運】 D

【俊敏】 A+ 【宝具】 B

【クラス別能力】

・対魔力：B

【保有スキル】

・愛の黒子：C

・心眼（真）：B

【宝具】

- ・破魔の紅薔薇：B
- ・必滅の黄薔薇：B

【クラス】 アサシン

【真名】 ジャック・ザ・リッパー

【性別】 女

【身長・体重】 150cm 45kg

【属性】 混沌・悪

【筋力】 C

【魔力】 C

【耐久】 C

【幸運】 C

【俊敏】 A

【宝具】 C

【D】

【B】

【クラス別能力】

・気配遮断：A +

【保有スキル】

- ・霧夜の殺人：A +
- ・精神汚染：C
- ・情報抹消：B

・外科手術：E

・解体聖母（Maria the Ripper）：D/A
・暗黒霧都（The Mist）：C

【宝具】

【クラス】バーサーカー

【真名】フランケンシュタイン

【性別】女

【身長・体重】170cm台 40kg前後

【属性】混沌・中庸

【筋力】C

【魔力】C

【耐久】B

【幸運】C

【俊敏】C

【宝具】C

【クラス別能力】

【保有スキル】

・狂化：C

・虚ろなる生者の嘆き

・ガルババニズム

【宝具】

・乙女の貞節 (Scream of Terror) : D
・礫形の雷樹 (blasted tree) : A

【クラス】 キャスター

【真名】 ナーサリー・ライム

【性別】 女

【身長・体重】

【属性】

【筋力】 E

【耐久】 E

【幸運】 D

【魔力】 D

【俊敏】 D

【宝具】 A

A E D
+

【クラス別能力】

・陣地作製 : A
・道具作製 : C

【保有スキル】

- ・変化 : A +
- ・自己改造 : A

【宝具】

・永久機関 クイーンズ・グラスゲーム : A +

【クラス】 バーサーカー

【真名】 呂布 奉先

【性別】 男

【身長・体重】

【属性】

【筋力】

【耐久】

【クラス別能力】

【俊敏】

A

【宝具】

A

【幸運】

A

C

【魔力】

A

B

+

+

- ・勇猛 : B

【保有スキル】

- ・狂化 : A

・反骨の相・B

【宝具】

・軍神五兵・A
ゴッドフォース

「ふ〜」

サラサはsworthテイス家本邸の地下室一室で寛いでいる。

「…………令呪ね」

サラサは両の腕に刻まれた計7つの令呪をみながら呟いた。

「位置が微妙ですね」

思わずその位置をみて呟いた。
sworthテイス家の歴史は長い。
当然魔術刻印も膨大だ。

背中を中心に全身へと伸びている感じだ。刻印を浮かべるとイリヤスフィールの刻印が浮かんだ状態と似ているかもしない。

刻印は左右対称になっているのだが令呪の数が奇数のためバランスが悪くなつており刻印の位置を避けているためさらに微妙になつているのだ。

「それにしても英靈を従えるとは何ともま〜、あれですね」

サラサは今までに3度英靈をみている。

現在自身が従え現在は時間が無かつたため完璧ではないが出来うる限り似せて作った人形を依り代して魔力消費を減らし意識を眠らせているサーヴァント、なおフランだけはまだその処置がされてい

ない。作りが特殊で元が人形に近いがゆえに元の作りに多少合わせなければ出来なかつたのだ。

第4次聖杯戦争の際に召喚されたサーヴァント、そして初めて根源にたどり着こうとした時英靈が襲撃してきたとき、

あの時は危なかつたとサラサはしみじみ思つ。
別に殺されても人形の体で復活するのだが同じ方法で成功するとは限らないのだ。

本当にあれが居なければまずかつた。
英靈との戦闘の際はなぜか『人形師の蔵』が展開出来なつたため殆ど人形が使えなかつたのだ。

サラサはそれが修正力か邪神の仕業かと考えている。9割邪神、

「宝石の爺には感謝しておきましょ」

人形師でも人形遣いでもない魔術師サラサの最大の切り札には何
氣にゼルレッチが関わつてゐる。

とはいつても強力したのは場の提供だけだが、

ゼルレッチはこのTYPE-MOONの世界の人間ではサラサの
身内になつた藤乃以外では1番詳しい。

そしてサラサが他世界の出身であることを知つてゐる。

最も真実は告げておらずこちらので言つ魔法のようなもので他世界
を永遠と旅をする風に説明したが、

そしてサラサとゼルレッチは取引をした。

サラサは他の世界の技術の一部を、ゼルレッチは大っぴらに魔術
を派手に行つても問題ない場を出したのだ。

サラサはそこで自身の魔術師としての切り札を生み出した。

sworthティスには様々な魔導書や魔術の知識がある。

サラサはその中からゼルレッチから提供された場で魔物や魔獸などを呼び出し蠱毒を行つた。

また魔物の召喚と契約もこの場で行つた。

理由は魔物を従える方法ゆえだ。

召喚魔術で使い魔を従えるのは手順は大まかに3種類ある。

1、召喚、使役の順で行う方法、

これは主に契約を介さず強制的に従えることが可能な雑魚に使わ
れる方法だ。

2、召喚、交渉（契約）、使役の順の方法、

これはある程度の知性がある者と行える方法だ。悪魔との取引
たいなものこれに属する。交渉次第で内容が変わるのは言つまでも
ないだろう。

そしてサラサが行つた3つ目の召喚、戦闘、制服、使役、の順の
方法だ。

これは召喚した者と戦闘し勝ち、従える方法だ。

戦闘で負ければ最悪死ぬが勝てばその後必要なのがほぼ召喚の際の
魔力のみと言うお得な方法なのだ。

もつとも戦闘を行うため強力なものになればそれなりの広さが必
要だつたためあまり出来なかつたのだがゼルレッチの提供で解決さ
れた。

そうして生み出された魔術師サラサの魔法を除いたジョーカーの
内の1枚、

その切り札は英靈を退けることに成功している。なおその時の戦
闘でスマッシュ家別邸が崩壊している。

サラサは聖杯戦争でそれを切るのを想定している。

理由は簡単、サラサは聖杯戦争には魔術師として戦いに臨むつも
りだからだ。

魔術師の戦闘には魔術師として、別に人形を使わないと言つわけ
ではないが魔術の関しない人形は一切使わないので。

「魔術師の戦争ですしね。

魔術師としての誇りを持つた以上魔術師として挑まないと」

サラサは自身の敗北の可能性を考えそれが限りなく低いと判断している。

サラサが警戒する第五次聖杯戦争に出てくるサーヴァントはギルガメッシュだけだ。

他のサーヴァントなら自身の七騎のサーヴァントでどうとも出来る。

クラクレスは少々きびしいかもしないが直死の魔眼を使えば一度で完璧に殺せる。

以前も述べたが直死の魔眼は接近戦に置いてのみ有効だ。

サラサは糸を使うことでその距離を伸ばした。

さらにサラサはアトラスのシオンと取引してエルトナムの技術の一部を得ている。そこに元々スワットティス家が保有していた情報と技術と合わせ完全に再現している。

それを使い限界まで脳のリミッターを外す+膨大な魔力による限界まで肉体強化で一時に英靈を超える身体能力を得ることが出来る。

もつともその後肉体は使い物にならず一生を寝たきりなら幸運といつた状態になるが代わりの肉体があるサラサには問題の無いことだ。

ギルガメッシュもかつて英靈を退けさらに強力かつ凶悪になつた自身の切り札、あるいはもう一枚切り札を切れば問題ないと判断している。

まあ慢心せずにきなりエアを叩き込まれれば話は別だが、

「さあて、後は戦争の幕が開けるのを待つだけだね。

戦いにおける勝利という結果は戦う前にきまつていい。変わるのはそこに至る過程だけなのだよ私」

サラサは笑いながら呟いた。

「そう言えば第一魔法を使えるのが宝石の爺と青の魔法使いにばれてから私が魔法使い説が流れ始めてるんですよね」

「どちらかの仕業なのは確実、
ばれてもそこまで不利益はない。」

ただ魔術師の家から自身の家の娘を嫁にと言つ話しが増えただけ、
それにして元々多かったためあんまり変わらないし、

「まあ別にいいんですけど、
さて聖杯戦争のための最後の仕上げに入りました。私の聖杯も
後は最終調整だけです」

現在間桐 脳硯は冬木市のホテルの一室で魔術師と取引を結んでいる。

きつかけは家に来た使い魔に持たされていた手紙内容は大雑把に説明するまでもなく「取引がしたい。来なければ間桐の人間を根絶やしにして滅ぼす」と言った物と場所の指定、わざわざそんなふざけた手紙に応じたのは送ってきた人物がそれを成すだけの力を持つていたため、

サラサ・sworthテイス、名門であり最古と称される魔術師の大家sworthテイス家が生み出した今世紀最高の魔術師と謳われそれに恥じず僅か8歳の時に三原色の黄の称号を授かり、10歳で封印指定に指定され、12歳の時に時計塔を制圧し封印指定を解除させた怪物、

断れば本当に根絶やしにするかは分からぬがするだけの力を持った人物で有る以上応じないわけにはいかなかつた。

そして指定されたホテルに来ると部屋に案内され取引が始まつた。取引は脅しではなく普通に等価交換であり相手の要求が自身にそこまで不利益が無くかつ断れれば滅ぼされた可能性が会つたため応じた。

「それでは頼みましたよ。

脳硯殿、もしも破つたら

「分かつてある。

間違ひなく桜はこのたびの聖杯戦争では聖杯として機能しないよう調整するわ」

「それは上々」

田の前で微笑む人をやめ200年以上を生きた自身にすら美しい
という印象を与える者を見ながら取引の内容を思い出す。

サラサ・スワツティスの要求は今回の聖杯戦争では間桐 桜が万
が一も聖杯として機能しないように再調整することと間桐からマス
ターが出て聖杯の獲得を目指すのは構わないが臓硯は余計な事をし
ないこと、ただし間桐の人間には何をしようが構わない。と言うも
ので対価は臓硯の魂の劣化を弱める技術の提供と有事の際の肉体を
サラサ自身の人形技術による作製、聖杯戦争で間桐の人間を殺さな
い。

デメリットよりもメリットの方が大きいため取引に応じた。

サラサ・スワツティスの目的が大まかには分かった。

おそらくは自身の聖杯をメインに聖杯戦争を進めたいたのだろう。
その証拠にサラサ・スワツティスの後ろに控えている人物には見
覚えはある。

アイリスフイール・フォン・アインツベルン、第四次聖杯戦争の
聖杯、何らかの方法で再現したのだろう。

自身の聖杯をメインにしたいがためイレギュラーである桜を排除
したいのだろう。

しかし聖杯戦争前に派手に事を起こしたくないため取引を望んだ
と推測している。

「まあ良い。ワシは第六次聖杯戦争に備えるだけじゃ」

「これで懸念材料が一つ消えましたね」

サラサは臓硯が去つたホテルの一室で息を吐くと呟いた。

どうでもいい話だがサラサには桜を臓硯から解放とかよくオリ主がやることをやろうとは一切思つて居ない。

サラサは魔術師だ。

魔術師として次世代に魔術を伝えるために臓硯がやつていることを正しいことだと思っている。

そもそも他の家に口を出す筋合いはないしそれはマナー？ 違反だ。

ついでに言えば普通に人を殺し人形の材料にするサラサは人を弄くり改造するくらい気にしない。

だからサラサには桜を助けるという選択肢は取らなかつた。

しかし考えなかつた訳ではない。

臓硯と取引を結ぼうかと思つた時にそう言えばオリ主つてよく桜を助けるな～、けど直死の魔眼とかルールブレイカとか多いけどぶつちやけ無理じやね？ 最低でも代わりの心臓を用意しないと、と思つた所でそういうればオリ主つて助けた後ライダーと組んだりしてるなと思い桜を助ける代わりにライダーを手に入れようかと思つたという桜自身のことは一切考えていなかつたが、

「聖杯戦争が始まると同時に忙しくなりますから余計な面倒はごめんなんですね」

サラサの元には琥珀から殺人鬼が本格的に動き始めたと言つ報告が入つた。

聖杯戦争が終わつたらそちらの方も動かなければならぬ。

「聖杯戦争ももう始まりますしね」

すでにバゼット・フラガ・マクレミツツが冬木に入つてゐる聖杯

戦争の始まりも近いだろう。

「さて、準備は万端、
てかギルガメッシュが居なければ余裕で私の軍勢は過剰戦力なん
ですよね」

「ヨリヨリまでは順調ですね」

私は現在冬木の別宅に居ます。

別宅と言つても普通の一軒家です。

スワッティス家は別宅をいくつも持つていますが日本のものは私が買ったものです。

とはいっても日本の別宅は他とは違い全て普通に売り出されている物件で魔術的価値のないもの。

まあ日本なんて空の境界、月姫、Fatteの舞台と言つ以外はあまり価値がありませんから、京都とか好きですけど、

閑話休題、

現在私の別宅の一室にはバゼット・フラガ・マクレミッシュが眠っている。

予定通り回収できた。

重傷だつたため田を覚ますのは少し時間がかかるでしょうが、

「さてこれで黒聖杯、ホロウでしたっけ？ というイレギュラー要素は取り除けた。

あとは始まるのを待つだけ、

ほしいものがあるから介入のタイミングは決めてるんですね。それにしても聖杯ね。

私には願いをかなえる願望器具は興味が無いものですが使えはしますよね。

手に入れたら大聖杯からアンリ・マコを取り除いて使ってみます

かね

「さて始まりましたね」

サラサは冬木に放った目で聖杯戦争が始まつたことを確認した。目とはタイプの人物、ただ単純に動物に似せただけの人物、余談だがサラサの作る人物で動物の形をしているのは数が少ない。理由は人物は人の形で人物だから極力人物すべきとサラサが考へているからだ。

サラサは人物を通してランサーとアーチャーを知り、現在はバーサーカーとの戦いを見ている。

「さすがアーサー王と言つた技量ですね。
どう思いますランサー」

「はつ、騎士王なに恥じずその技量は間違いなく超一流でしょう。
しかし」命令をあらばかならずやその首級をあげてご覧にいれましょう」

「まあ今は戦闘の時ではないですが私のサーヴァント以外は聖杯の元に行つてもらわないと困りますから戦闘の時には期待します」
「はつ」

ランサーの返事を聞くとサラサは考へ始めた。

（そう言えば知名度補正の知名度はどの程度から知名度なんでしょうか？

あれでどうか？ 名前を知つてらそこから入るんでしょうか、

なら今の世の中だと第五次のサー・ヴァントはすごいですね。

いまどき漫画とかゲームとか小説とかの影響でアーサー王とかヘラクレスとかクーフーリンなんて小学生でも知ってるでしょうし、逆にメディアとか知らないですよね。エミヤなんか未来のですし、

それ基準ならうちの陣営もなかなかですね。フランケンシュタインとジャック・ザ・リッパーなら名前は知ってるでしょうし、呂布も知ってるかもしれないですし玉藻の前も九尾なら知ってるでしょうからそれ経由で知ってる可能性がありますね。

まあどこからなのかは分かりませんがはたしてナーサリー・ライムに知名度補正はあるんでしょうか？

あれば膨大なんですねけどね）

そんなどうでもいいことを考えているうちにバーサーカーとの戦いは決着が付きそつだつた。

「では行きますか、

ランサーはアーチャーの元へ、

警告をしても攻撃をしてくるようなら仕留めて構いません」

「はつ」

「さてこれは大量の魔力を使うんですけど、ま、田頃から膨大な魔力を宝石に籠めてますからを使えば問題ないんですね。

そのうち研究してみますかね」

サラサは懐から宝石を取り出すと並の魔術師では10人は干からびても足りないほどの魔力が解放された。

「では、転移つと」

サラサが言うとサラサは転移魔術でその場から転移した。

友人にサーヴァントのステータスは魔術師によつて多少上下する
んだから少しさえたほうがいいんじゃない？ と言われ確かにと
思つたので10月3日までにサーヴァントステータスは微変更しま
す。

「やれ、バーサーカー！」

サラサは転移魔法でセイバーとバーサーカーが戦っている場所の上空に現れるとバーサーカーに命を下しバーサーカーはそれに答え己の武器を振り下ろした。

その場で戦つて居たセイバーとバーサーカーは当たる寸前で回避した。

「こんばんは」

自身のバーサーカーが乱入したことの一時的に終わった戦場に重力を加減し舞い降りたサラサはそう言った。

「いきなり乱入するなんてずいぶんじゃない」

イリヤスフィールが言つとサラサは返事を返した。

「それは申し訳ありませんね。

AINZ BELNのマスター、しかし私も彼らには用が会つたので、死なれるとこまるんですよ。

申し遅れました私はサラサ・スワッティスと申します

「あなたがあの」

サラサの名を聞きイリヤが反応を示した。

「ああ、遠坂のマスター、貴方のアーチャーをこの場に何もせず呼んでくれればその首のナイフはどかさせましょ」「…………分かつたわ」

今までサラサが呼び出したアサシンがナイフを首当てていたからだ。

しばらぐするとランサーと共にアーチャーが現れた。

「さて皆さん貴方達は私に命を握られています」

サラサが言つと同時に指を僅かに動かすとマスター3人の首筋が僅かに切れ血が流れた。

「では改めまして」あいさつを私はサラサ、サラサ・スワッティスと申します

「サラサ・スワッティス、何でこんな大物が、最悪じやない」「知つてゐるのか凜」

「サラサ・スワッティス、名門であり現存する魔術師最古の家系、スワッティス家が生み出した今世紀最高と謳われる魔術師、今世紀最高に恥じることなく僅か8歳の時に時計塔が授ける三原色の内の1つ黄の称号を授かり、10歳で封印指定に指定され、12歳の時に時計塔を制圧し封印指定を解除させた怪物、

最近の噂じやすでに根源に到達して魔法使いで有るとか無いとか、

そもそも何でサーヴァントを3体も従えているのよ。イレギュラ

ーすぎ

「とんだ化け物だな」

「化け物とは心外ですね。

そもそもサーヴァントを複数従える方法は複数有りますよ。たとえば3度の命令権をもつ令呪を1度の命令権を持つ3つ令呪に独立させるとか、

話しがそれましたね。閑話休題。

さてここであなたたちを脱落させるのはたやすいんですが、取引をしませんか？

「取引？」

「ええ、あなた方3人の命を助ける代わりに衛宮士郎貴方の持つもので私が欲しいものがあります。

それをくれるならこの場は見逃しましょう

「…………分かった。

ただし殺すなよ

「ええ

士郎の返事に満足げにうなずくとサラサは一体の人形を出した。

「激痛が走り、意識を失うかもしぬませんが死ぬことも後遺症もないでご安心を」

「分かった」

士郎が返事をすると人形が士郎の腹に手を突っ込んだ。

「がつ」

「シロウ！？」

「ご安心を血も出ませんし傷も残りません。

臓器に関しても問題有りません」

少しすると人形が士郎の腹から何かを引き抜いた。

それを見てセイバーが驚愕したがサラサは気にすることなく受け取つた。

「なんだそれ？」

士郎が自身の腹からでてきたものを見て言つたのでサラサは答えた。

「これですか？」

「これこそ名高きかの騎士王アーサー王の聖剣の鞘ですよ
「な、何でそんなのが俺の腹の中に？」

「さあ、大方衛宮 切嗣が埋め込んだんでしょう。

これは第四時時点彼の所有物でしたから

「爺さんを知つてゐるのか」

「おや遠坂のマスターから聞いていないんですか？」

「ああ、彼女の年齢なら知らないのも無理はないですね。

衛宮 切嗣、狙撃、毒殺、公衆の面前で爆殺、1人の魔術師を殺すために搭乗機の撃墜などをし、魔術師殺しと恐れられた男ですよ。先の聖杯戦争ではAINSLYBELLONのマスターとして参加していました。

「そうですよね。AINSLYBELLONのマスター」

サラサは言つとイリヤの方を見たがイリヤは無言でサラサをじっと見ただけだった。

イリヤが何も反応しないでいるとサラサはまた話し始めた。

「では、約束通り私はこれで、
次は戦場で殺し合いましょう」

言い終わるとサラサは現れた時と同じように転移魔術で消えた。

その後イリヤも興が覚めたと言わんばかりにその場を立ち去り今夜の戦闘は終わりを告げた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8134n/>

最高の人形師と人形遣いの才を持つ者は世界を廻る（タイトルは仮です）

2011年10月9日03時14分発行